



サイジヤナル

月刊
23-5・6
第397号

日本サイ科学会 平成23年5月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎・FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎・FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|--|--|--|--|

がんばろう日本!

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

日本サイ科学会

事務局からのお知らせ

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されており、必ず六月5日までに「ご投函願います。(忘れないうちにお早めにお願致します。)

◎5月以降の本部例会、宇宙生命研究分科会は、今後何もアクシデントが起これなければもちろん開催の予定ですが、もし大きな地震や原発事故等で交通やその他問題が起こった場合は、中止のお知らせを公式サイトに掲載、本部の留守電メッセージに入れます。したがってお手数をお掛け致しますが、アクシデントが起こった場合は、例会参加前に必ずサイトあるいは電話でチェックしてください。

五月本部例会のお知らせ

「最新脳科学と透視能力」

講師 赤松 瞳氏
(脳・認知学者)

■内容・TBS最新脳科学&最強超能力ヴィデオ鑑賞 ロシアのクラス風景ヴィデオ観賞

■能力デモンストレーション(透視/リモートビューイング)

例・アイマスクをつけたまま本を読む、体内霊視など

今月号の記事

- ◎事務局からのお知らせ
- ◎五月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎六月本部例会のお知らせ
- ◎創立35周年記念大会の論文募集
- ◎中部サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会六月例会予告
- ◎北陸サイ科学会六月例会予告
- ◎七月本部例会予告
- ◎第13回宇宙生命研究分科会予告
- ◎十一月本部例会報告
- ◎第三五四回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎念力とカオス・アトラクタ

人間の脳はわずかに3〜5%しか使用されていないことは広く知られています。ロシアやウクライナの脳科学研究では、未使用の脳を使用する方法の研究が進んでおり、子供から大人まで超感覚的知覚(いわゆる、超能力)を発達させる驚くべき方法論が実用化されています。生まれながらにして目の見えない子供たちに、脳の視覚視野や中脳の能力開発トレーニング

により、ある種リーダーのような代替視覚手段をもたらすことにより、全盲の人々が、目以外の感覚を使用して読み書きができるようになっていきます。

その副産物として、いわゆる千里眼(リモートビューイング能力)が身につく、肉眼以上の感覚器官で遠くのものや近くのを認知することが可能になります。セミナーで紹介するビデオでは様々のレベルの障害者が超感覚的な能力を身につけて回復している様子を紹介します。また、普通の人々にも同様の脳トレーニングにより、超能力が身につけています。

ロシアやウクライナの大学の研究によると、それらの能力を身に付けた人々は脳の使用パーセントが多い(つまり、未使用の脳が使用されている)ことが実証されています。セミナーでは、脳の進化、それによる人類の進化においてのディスプレイジョン、及び実際体験(例:実際に目を閉じたままイメージワークをする、感覚的にものを見る・知ることの体験など)の機会が得られます。

※本部例会において、女性の熟達

したESP能力者であり、研究者の実演と講演が聞ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●赤松瞳氏プロフィール

1977年、北海道札幌出身

○脳・認知学者「オーストラリア・モナーシユ大学心理学博士」

○ロシア科学アカデミー「IAHD」日本代表

○国際前世療法学会「IARRT」プロフェッショナルメンバール主任講師

1990年日本大学国際関係学部を経て、心理学研究の為オーストラリアに渡る。長年にわたり、豪州、アメリカ、欧州、インドなどで心理学、潜在意識精神世界の講演、講習をしながら主に豪州大学院に於いて個別指導講師を務めてきた。

統合医療的なアプローチで様々な心理療法、代替医療を行い、現在は能力開発トレーニングや障害者教育に従事している。

○アメリカABS「21世紀に貢献した偉大な女性」ノミネート賞

○オーストラリア政府スカラシップ受賞

○脳・認知科学優等学士「クイーンズランド大学」

○応用心理学学士「サウスクイーンズランド大学」

○医療準学士「タスマニアTAFE」

○現所属 株式会社CI総合研究所

日時 平成23年5月14日(土) 午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円 一般 三〇〇〇円 学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と一般の御寄付御礼 (4/8受領分まで)

金六万円也 木村 陽一様 金三万円也 金子 輝夫様

| | |
|--------|--------|
| 金三万円也 | 渡辺 宙明様 |
| 金二万円也 | 鴨川 裕司様 |
| 金一万二千元 | 浪平 博人様 |
| 金一万一千元 | 屋敷 益男様 |
| 金一万二千元 | 原口 和恵様 |
| 金五千元 | 宮前 昭子様 |
| 金五千元 | 匿名様 |
| 金三千元 | 土村 澄子様 |
| 金三千元 | 飯塚 友子様 |
| 金二千元 | 佐藤ひろ子様 |
| 金二千元 | 赤松 洋一様 |
| 金二千元 | 窪田啓次郎様 |
| 金二千元 | 久保田昌治様 |
| 金二千元 | 飛田 洋子様 |
| 金二千元 | 飯見 勇様 |
| 金二千元 | 青木 保夫様 |
| 金二千元 | 奥村 八郎様 |
| 金二千元 | 高木 和人様 |
| 金二千元 | 須崎 康洋様 |
| 金二千元 | 今田 恵子様 |
| 金二千元 | 寺嶋 崇恵様 |
| 金二千元 | 岩谷 好子様 |
| 金二千元 | 田村 賢二様 |
| 金二千元 | 匿名様 |



六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会後、講演会があります。

未知エネルギーの研究と
チャネリング

講師 井出 治氏
(クリーンエネルギー研究所)

著者は、1973年より既存のエネルギーの概念を破った新エネルギーの研究を続けてきました。その結果、昨年(2010年)1月、確信を持てる状態で作動する、超効率インバータの試作に成功しました。

その内容は、本年3月、米国メリーランド州立大学にて発表し、学会幹部メンバーより大いなる賞賛を受けました。著者の研究は、首尾一貫して理論と実験結果との関連を最重視した内容となっている点特徴です。すなわち、最初の米国物理学会の論文、NASAラングレー研究所の論文、およびメリーランド州立大学の論文は、すべて一本の線「未知の第3起電

力」の概念で結ばれています。

また、三番目の論文、「超効率インバータ」の研究は、仕上げの段階において「チャネリング」が果たした役割は大きいものがありました。これには、異星人、地底人、未知の宇宙の意識体、歴史上の偉人の精霊らとの交信によって、得られた貴重な情報が参考になっています。彼らが伝えたものは、他人のコンタクトストーリーや地球人の作った常識とは、かなりかけ離れた情報があり、極めて興味深いものです。

※東日本大震災直後、原発の爆発事故により現在も全面解決の方向が見えない状況ですが、井出氏の装置が早く実用化されれば、原子炉もいらなくなる画期的なもので、是非多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

●井出治氏のプロフィール

1949年 愛媛県生まれ
1971年 立命館大学理工学部電気工学科卒
1973年より、未知エネルギーの研究開始、現在に至る。
1995年6月 米国物理学会の

「応用物理学ジャーナル」に「未知の起電力」の最初の論文を掲載。

1999年12月 NASAラングレー研究所主催の学会において、「未知の起電力」をさらに深く追求した論文を発表。

2011年3月 米国防総省、エネルギー省、NASA主催の国際会議において「超効率インバータ」の理論と実験について発表。
著書 「パンドーラの遺産」。
共著、雑誌記事多数。
山羊座、B型。

※今回は第二日曜日です。

日時 平成23年6月12日(日)

午後1時半～2時 通常総会

午後2時～5時 講演

会場 北とびあ9階902会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

◎日本サイ科学会創立35周年
記念大会の論文・原稿募集

シンポジウムテーマ
「パワースポット」

1976年に日本サイ科学会(前身 日本PS学会)が創立されてから、今年が35周年にあたります。これまで5周年ごとに記念大会を開催しており、本年10月9日(日)北とびあにおいて、「日本サイ科学会創立35周年記念大会」が開催されます。

詳細なプログラムや発表者は今後の「サイジャーナル」でお知らせしていきますが、今回行われるシンポジウムのテーマは近年メディアや書籍で大いに話題になっております「パワースポット」に決定致しました。

日本サイ科学会は1995年に分科会のサイ実測研究会が、中国元極学の張志詳会長を日本に招いて東京や長野県で講演会を催したときに、長野県の長谷村(現在伊那市に合併)にある分杭峠が元極学の基地に匹敵するパワースポットであるという「お墨付き」をいた

だいたことがきっかけで、現在日本でも有数のパワースポットとして分杭峠に多くの人々が訪れております。

そのことも含めまして、パワースポットの現状や科学的な立場で検討するシンポジウムをプログラムのメインテーマに致しました。

そこで会員の皆様からもパワースポットに関する貴重な体験やレポート、科学的な立場からの検証・論文等を募集することになりました。それは当日配布される予稿集や今年度発行の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

9月15日までにA4判(40字×40行)6枚以内で一太郎かワードのデジタルファイルを左記事務局まで添付ファイル送信願います。内容がふさわしいか否かの審査がありますので、ご了承ください。

●原稿送信先
office21@psij.mail-box.ne.jp

中部日本サイ科学会
五月研究集会のお知らせ

会員二名の研究・体験発表

日時 平成23年5月14日(土)

午後1時半～5時

会場 つるまい会館2F

名古屋市千種区吹上1・1・3

052・744・3884

交通 JR中央線鶴舞駅、または

地下鉄鶴舞駅下車、名大病

院北イオン千種店前

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会
五月例会のお知らせ

「東日本大震災と今後の世界について占星学的解釈と予測」

講師 瀬尾 泰範氏
(日本サイ科学会理事)

日時 平成23年5月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
六月例会のお知らせ

「科学と靈性の融合する時代」

講師 サアラ氏

日時 平成23年6月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

北陸日本サイ科学会
6月定例会

第1部 基調講演

「2012年問題とサイ」
講師 阿久津 淳氏

政治・経済等、現代社会になにかと行き詰まりが感じられる今日において、我々はどうしたらよいのであろうか? 科学もまた行き詰っているように思われる。2012年問題の本質とは何であらうか? いかにして現代の諸問題を解決して、明るい未来を築くことができるだろうか?

「2012年問題とは何か?」「2012年問題とサイ」をテーマに2012年問題の核心に迫りたい。

第2部 UFOトークバトル
ナビゲーション

「UFOの最新情報」

竹本良氏

TVでしか見られない二人のトークが目の前で激突! ガチンコトークバトル



「UFO問題と人類の未来」

飛鳥竜一氏×竹本良氏

UFO問題の過去と現在と未来に迫る！

日時 6月26日(日)

午後1時半～5時

会場 金沢市文化ホール3階

「大会議室」

(石川県金沢市高岡町15・1)

講師 阿久津淳氏(日本サイ科学

会理事・科学問題研究者)

竹本良氏(科学問題研究者)

飛鳥竜一氏(フリーランス・

科学ジャーナリスト)

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

お問合せ 北陸日本サイ科学会

TEL 076・234・6634

(ホリスティック健康科学研究所)

七月本部例会予告

なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?
東日本大震災にも関連して

講師 古村 豊治氏

いまは、まさに激動の時代。政治や経済は不透明。また天変地異や大災害、事件や難病奇病も続出してきます。それら難問に対し具体的な対処策を持つ政治家、指導者、宗教家、科学者、医学者は極めて少ないのです。

そんな指導者たちをあてにせず、自分自身で自分や家族、会社を護らなければなりません。そのために、個々人が自分の本来の力に目覚めなければならぬときが来ました。それには「奇蹟力」とでもいう「力」が必要なのです。

「奇蹟力」は、ただ待っている起こりません。奇蹟を起こすためには、人間と宇宙の構造を「直感力」を使い、理解しなければなりません。また「意識力」で能動的に対処しなければならぬのです。

3月11日に東日本大震災が起り、原発事故も加わって日本は有史以来の危機的状況にあります。それらへの最新の対処法を、実技を交えて講演します。

前回も大盛況だった古村先生の本部例会でのしばらくぶりの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●古村豊治氏のプロフィール

昭和30年早稲田大学商学部卒業。

各種会社社長を歴任。船井幸雄先生主宰の直感力研究会講師、高次元波動研究会主宰。時空超越波動法を創出し、今日に至る。高次元研究、フーチ、IF・テストの実践者として著名。全国でセミナー開催。相談屋本舗運営。

著書には、「究極の自己革新」(博文館新社刊)、「らくらく探査力」

「わくわく意識力」(中央アート出版刊)、「悟り力」(知玄社刊)、「成功の宇宙法則」(致知出版社刊)などがある。

※今回は第三月曜日(祝日)です。

日時 平成23年7月18日(月)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第13回宇宙生命研究分科会

第5回 UFO・オーブシンポジウム

本年もまたUFO・オーブシンポジウムを開催します。優秀な講演者には参加者投票によってUFO・オーブ賞を、ユニークな研究者には世話人からマージナルサイエンス賞も・・・内容の詳細は決まり次第公表します。

UFO・オーブ研究に関心のある方は是非お集まりください。またUFO・オーブについてひとこと話したいというヒトもお気軽にいらしてください。

(世話人 阿久津 淳)

日時 平成23年7月31日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円（日本サイ
科学会・サトルエネルギー学会・
太陽の会・国際問題研究会会員）
※会員以外の方の参加も大歓迎

十一月本部例会報告

夢診断と未来予測

講師 秋山 眞人氏

私は日本サイ科学会に来ると古
巢に戻った感じがします。最近中
規模以上の書店に行きますと、一
時期ほどの大きさではないにして
も精神世界関係の書籍コーナーが
できていて、近年この分野に対し
てまた関心が高まっているのだと
思います。

私は14歳のときに、超能力少年
といわれた時期があって、それか
ら36年経ち、今月50歳になりまし
た。本当に精神世界はいくつかの
波を繰り返しながら、すごく大き
な変化をしてきたと思います。あ
の70年代、やはり引き金を引いた

のはユリ・ゲラー氏だと思います。

実はユリ・ゲラー氏は11月11日
に名古屋で三千人くらいを集めた
会場でイベントをやり、直後の昨
日とおととい、企業の社長さん達
を集めた福島のお会でユリ・ゲラー
氏の講演と実演があり、私も通訳
兼解説者として協力しました。

IT業界など最近頭角を現した
企業家なども精神世界分野に大変
関心をもっている方が多く、急激
に会社が大きくなる過程で、やは
り社外や社内の人々の気持ちを讀
み、見事にコミュニケーションの
バランスを取らないと、やはり次
の時代の企業を継続して存続でき
ないわけですね。出羽三山などで
修験道の修行をする起業家もいま
す。これは起業家だけではなく、
一つの分野を極めた人々も、精神
世界分野に興味をもつたりします。
ユリ・ゲラー氏も63歳になるの
ですが、スプーン曲げのパフォー
マンスでも相手にスプーンを持た
せておいて、自分はスプーンの柄
の上面を指先で軽くなでているだ
けで、スプーンは上方にキューっ
と曲がります。そういうやり方を
見て、私は彼も苦勞したんだらう
なと思いました。いろいろ疑われ

る経験をして、できるだけ誤解を
受けないようにその方法に行き着
いたのだと思います。

今日、日本サイ科学会という日
本でも老舗の研究会で私がお話を
するのだということをやりに告げ
たら、これから本当に日本的なマ
インドをもった方々が、精神世界
の分野を掘り下げるということに
大変意義があることだ直感的に感
じるので、是非皆様に本当に奮闘
努力してくださいというメッセー
ジを預かってきました。

私はロシアや中国や米国などい
ろいろな国の超能力者達と会って、
インタビュをしたりパフォーマ
ンスを見ておられます。米国では
CIAにリモートビューイングを
教えた今年70歳になるインゴ・ス
ワンがおりますが、彼は現在、未
来予測の方法論なども教えていま
す。一番弟子のジョー・マクモニ
グルは日本でも有名になりました。
超能力者達が言っている共通点は
「誰の中にもサイキックのセンスは
ある」ということです。

子供達は比較的、超能力を発
揮しやすいのですが、大人になっ
てこれらがすべて消えるわけでは
ありません。能力が絞られてきて、

好きなものにししか発揮できなくな
るといふことなのです。職業的に
チョイスしたものの、自分が好きで
やるうとするもの、相性の合うも
の、志のあるもの、そういったも
のにどんどん超能力の範囲が狭ま
れてきて、かつ非常に実用的にな
まぐ働くようになっていくのだな
と思えました。

そういう意味では超能力という
のは本当に得意な分野で、皆さん
それぞれが無意識にその分野に集
中されているのが自然なのかなと
思ったりもします。しかし、やは
りサイキックな能力は自己の顕在
意識のほうで、「あっ、これがサイ
キックなのだ」と認識をした瞬間
にさらに深くコントロールできま
すし、問題を無意識にゆだねたま
まだと間違ってサイキックな能力
を自分にとって都合な方向に繰
り返し働かせるというような現象
も起こりうるのです。これは本人
にとっては大変苦勞しがちなパタ
ーンでありまして、「逆PK」と申
しますか、想いと反対の方向に超
能力が働いてしまふ、超能力が自
分を自滅させる方向に働かせてし
まうことも起こるので。

これはまた大衆の無意識的な超

能力においても同じことだと思えます。古代東洋では、何か大衆の心の奥底につながっているもの、ユングは「集合的無意識」と名付けましたが、東洋では古くからそれを一つの象徴として「龍(ロン)」、すなわち巨大な龍であると例えしました。龍のシンボルというのは他にもいろいろの意味があるので、しかし沢山ある意味の中で、龍は大衆の集合的無意識の半ば暴走したときの形、躍動感をもってある意味躍り出たときの形を龍に例えたわけですね。

この龍は暴走してしまえば、個人なんかあつという間に押しつぶしかねません。非常に強い力もつています。その反面それを凌駕するように、例えば何か皆の危険を察知して無意識にそれを避けたりと、か、念力を変えていたりとか、そういう希望的側面や善なる側面を強く持っているのです、そのダークな部分がある程度押さえられていてというようなことは言えると思います。でもやっぱり今後そういうバランスが、情報の氾濫によって乱れたり狂ったりする可能性はあると感じています。

これは実はいろいろな能力者達

も同じ危惧を持っているわけですが、例えばインゴ・スワンは予知能力を研究していたのですが、透視能力よりも予知能力の開発の難しさを感じていました。ただ透視能力をもっている人は同時に予知能力をもっており、次第に強まる傾向があります。



ただ問題は予知の場合、そのときの世相、例えば今回の尖閣列島の問題で中国は悪い、日本は正しいというイメージが強くなるので、日本人の希望的観測として「日本は今後伸びる、中国は経済的に崩壊する」というような予言が多くなってきました。

同様にエドガー・ケーシーの「日本は1998年までに、海の底に

沈む」という1930年代の予言がありますが、その時代中国に進出していた日本を衰えさせたいアメリカの白人の集合的無意識の願望が影響したと考えられます。

また1990年代でしたか経済予言がお得意な広瀬次郎氏が、米国大陸が海に沈み、日本が世界の盟主になるという予言書を出しておりますし、最近ときどき来日する「救世主がどこかに現れる」と予言する人物は、日本に來ると「日本に救世主が現れる」と言い、台湾に行くとき「台湾に救世主が現れる」と予言しております。

インゴ・スワンはそういうものを乗り越えないと本当の予知情報は取れないと言っております。大衆の希望的観測や、その世相・時代の希望とかある意味では偏り・偏見・こだわりをまず全部捨てる、本当に未来からやってくる情報が正確にマインドの中に入ってきます。それは難しい作業ではなく、そういうものはまず横に置くと、中出てくる自由連想の中に正しい未来の情報が入ってきます。

「それがどんなに意外なものであっても、きちんと記録につけな

い。そしてそれを体系づけていきなさい。」とインゴ・スワンは言っております。

私も実はインゴ・スワンの未来予測の教本「ノストラダムス・フアクター」を翻訳して1995年に出しております。その頃から、私は未来予測をもっと実用的なレベルに引き上げる必要があると思っております。サイ能力のそれまでの研究成果では、リモートビューイングは一般の人でも短時間で能力者になることができる、ただそれを維持できるかどうかは別問題ですが、さらにそれを上回る研究としては、米国の国防総省および他の各機関が関わったといわれる「マインド・レース」という実験があります。これは透視能力と予知能力が実は並行して同時に働くという性質を逆手にとり、被験者に何を予測しているか教えないで、被験者の未来予測能力の無意識的なデータだけを載せてしまう方法です。これはうまくやると的中度は高いのです。

よく欲が入り込むと未来予測は難しいと言われますが、事実そうなんです。私もいろいろな能力者と共同して、一歩欲が入りやすい

競馬とか宝くじなど連続して二〇〇回くらい実験したことがありません。そのマインド・レースの方法、つまり被験者である能力者に何を予測しているか告げないで、当たり馬券や当たりくじを予測させると、非常によく当たるといふことが分かりました。

しかしながら、これは問題があります。つまり悪用される可能性があるのです。例えば私達もつて誘導されて、私達が知らない間にデータ化されて、取られてしまうということですよ。かつ、そういう未来予測のデータが、一部の問題のある人のマインドや価値観や方向性で使われたならば、これは大変危険なことになる可能性もあるわけです。ただ、そういうものを危険に使うとする人を排除する念力みたいなものも、どうも集合的無意識の中にはあるようです。

昔、ある国の軍部で「イルカ爆弾」の実験を試みたことがあります。イルカは非常に頭が良いので調教しておいて、イルカの体に爆弾を付けて、「人間魚雷」のように敵方の潜水艦に突っ込むようにするわけです。イルカに潜水艦の

形式を覚えさせ、認識させて、自爆させるわけで、成功すれば大変優秀な兵器となります。ユリ・ゲラー氏もその実験にかり出されたのですが、その実験中イルカが本当の爆弾を背負わされると、すぐに体からはずそうとするのに対して、練習用の爆弾のときにはそのまま突っ込めるのです。これは「生き死に」に関わる非常に重要な情報に関しては、どんな生き物でも、ものすごく高いレベルで超能力が働くのです。すなわち個人レベルまたは人類全体レベルでも、「生き死に」に関する情報に関しては、ものすごく正確に普段の生活の中でも察知していることの現れと言えるかもしれません。

私はそれをもっと越える研究をしたいなと思っております。実はこの10年間ひそかに未来を正確に読む方法はないかと模索しておりました。たまたま今から10年ほど前に、ある大手の企業から、携帯電話で何か皆さんの心の糧になるようなカウンセリングサービスができないか、というご依頼を受けました。いろいろの案の中から、毎日見ても一般の方が喜んでもらえるものとして、朝起きて自分の

夢を診断できる「夢診断」のサイトを10年前に創ったわけです。世界中の夢診断のデータを収集して、例えば「蛇の夢」であつたら、ポジティブな解釈とネガティブな解釈（警告的）の両方を載せるのが健全なサイトになると思ひまして、運営しました。

これが当たりまして、この10年間で通算7400万件のアクセスがありました。会員数でいうと二万数千人となり、この人々が10年間にどのような夢を見てきたかという全データの統計が手元にあります。このデータを公開するのは今回が初めてですが、データを取り始めたところ、これは大変なことを見つけたな、と思ひました。

それは毎日数万人の人々がアクセスするわけですが、そのデータには共通点があつたりするわけです。例えば、民主党が政権交代した2009年の初夢は、トップ10位にかなり変動がありました。どんな年も初夢はその年全体の状況を象徴しているのですが、この年は例年百番以下であつたものが、10位に入ってきたりして、何か今年は変だぞと思ひましたら、政権交代が起りました。

また地震など地盤が崩れたりする大きな天災の起こる半年くらい前から、面白いことに歯が抜け落ちたり、歯がぐらついたり、歯が欠けたりする夢が、グーッとトツプに躍り出てきます。「鯰」じゃないんですね。地盤のように普段堅固なものが何か思いもよらない形で崩れていくというイメージを、私達の潜在意識は「歯」に見立てているんですね。

どうも私達の潜在意識は「シンボル」で私達にメッセージを送っているような気がしてならないのです。そのシンボルというのは、えてして環境のことを体に例えたりするクセがあります。よく人の心の有り様を体のシンボルで語る言葉が日常語の中にもあります。「鼻っ柱が強い」とか「胸騒ぎがする」とか「腹に入らない、腹が立つ」のようにです。個人のレベルでも夢のパターンを知っていれば、予測ができるのではないと思ひます。

ちなみに日本人が夢でよく見るシンボルのトップ20くらいを明かします。1位は「車」です。車というものは、自分で運転して自分で移動できるもので、その人の運命みたいなものを表しているという

解釈もありますし、私は戦後の日本経済がやはり車によって支えられてきたという思いが私達の中に強くあることも関わっていると思います。私達は意外と身近なものを夢で沢山見えています。奇異なものを見る頻度は大変少ないです。その後の順位を申し上げますと、②家、③子供、④トイレ、⑤人、⑥水、⑦服、⑧仕事、⑨学校、⑩犬、⑪海、⑫逃げる、⑬電話、⑭友達、⑮雪、⑯猫、⑰赤ちゃん、⑱虫、⑲お金、⑳階段、㉑雨、となります。

この10年間で犬と猫は年々順位を上げています。やはりペットはすごく私達の身近な存在になってきたということですね。「虫の知らせ」と言いますが、虫が唐突に高いのです。例の「中国毒餃子事件」のときには、その前にバナナや三日月や餃子が上位に出てきました。これらを検討していけば、「予知シンボル学」が確立できるのではないかと思います。皆さんも未来予測も含めて、毎日「夢日記」を付けられることをお勧めします。

第三百五十四回関西日本サイ科学会研究集会報告

「最新脳科学と透視能力について」

講師 赤松 瞳氏

とき 平成23年1月15日(土)
ところ 大阪科学技術センター

赤松氏は1977年生まれ。北海道札幌出身。ロシア科学アカデミー(CHYI)日本代表。脳・認知科学優等学士、応用心理学学士、医療進学士。

長年にわたり、豪州、米国、欧州、インドなどで心理学、潜在意識精神世界の講演、講習をしながら主に豪州大学院に於いて個別指導講師を務めてきた。現在統合医療的なアプローチで様々な心理療法、代替医療を行い、株式会社CI総合研究所にて能力開発トレーニングや障害者教育に従事。

◆ロシアやウクライナの脳科学研究 脳と超感覚的能力

ロシアやウクライナの脳科学研究では、生まれながらにして目の見えない子供たちに、脳の視覚視野や中脳の能力開発トレーニングにより、目以外の感覚を使用して読み書きができるようになっていきます。このように超感覚的な能力を身につけるビデオ紹介や、実際に目を閉じたまま、感覚的にもものを見る・知るなどの実際体験が行われました。



人間は通常脳の5%くらいしか使っていないと言われていました。しかし、これらの未使用の脳を使用することによっていわゆる超感覚的能力が目覚めるといふことがロシアやウクライナの研究では解

明されており、そのための教育方法があります。

私たちの脳は、一秒間に4000億ビットの情報処理しているにもかかわらず、その中でも意識的には20000ビットの情報にしか気がついていません。それは脳を通して私たちの肉眼が物理的次元にチャンネルを合わせているからです。

「物質」は、分子、原子、素粒子などでできていますが、脳はその世界を一部認識しており、研究によると、3歳以下の普通の子どもたちは物が透けて見えるという現象を日常に経験しています。しかし、大人になるにつれて、生活に必要なのでそういった情報を脳はカットするようになり、脳は物質的な要素だけをとらえるように成長してしまいます。

一方、ロシアやウクライナの脳科学研究機関では、超感覚的能力(例…透視、念力等)を所有する人たちの脳を調査したところ、未使用脳の活発化、脳の80%以上を使っているということが多数報告されています。同じ脳を持っていながら、私たちと彼らの何が違うのかといえば、彼らが大部分の脳に

「ニューラルネット(脳神経細胞同士の繋がってできる回路のこと)」ができあがっているのに対し、私たちはごく限られた部分だけにニューロンが使用されているということです。

赤松氏は小さいときから不思議体験をしており、人生の哲学的質問—人は何処からきて、何処へいくのか、どう生きるかとか、見えない世界に関心を持っていました。

豪州の大学院で潜在意識の研究をしていました。大学の研究の上司が豪州警察の犯罪心理学者でもあり催眠療法士であったことから、人の深層心理のカウンセリングに潜在意識や精神世界の理解が非常に重要であることを学びました。その頃に超感覚的能力を持つ大人や子供に触れ合う機会がありました。彼女の研究の一部で、臨死体験者のインタビューを行ったり、警察の捜査に関わる超能力者(例:透視能力で人探し操作を行うなど)と出会ったりしました。その結果、前世療法や瞑想方法を含む様々な心理療法を通して過去のトラウマを回復する方法・技術を身につけることになりました。

今回の話は脳科学に基づく透視能力とされているが実際はもっと広い話題となります。よく言われるように人間の脳は3〜5%ほどしか使っていません。しかし超感覚を持つ人は使用するパーセントが高いことが分かっています。

壁を通り抜けるとか物質化現象を行う人の脳は、分子構造まで見えていることがわかっています。物質を分子構造として見た場合、私たちは化学で学んだように、原子、分子の配列を変えることで全く異なる物質が誕生することを知っています。例えば、水をワインにしたい場合、二つの電子配列を変えるだけです。分子の配列を一寸変えれば空気を液体にしたりもできます。そのような分子構造を変えるためには、通常化学反応をさせたり、熱を加えたりすることで行います。

しかし、世界にはそれを意識的に働きかけることでできる能力者や密教修行僧などがいます。そのような人たちは、脳の未開発の分野を使用して、脳の何十%使っていることがわかっています。特定の訓練方法で、未使用の脳を使えばそのような能力を身につけるこ

とが可能になります。

その能力開発方法で、全世界で最も有効で科学的効果を実証しているメソッドは、ウクライナのクリミア半島で、医師アンドレイ・コーマン博士とヴァチエスラフ・ブロニコフ博士によって開発されました。ロシアやウクライナの研究では、17歳以下の子供たちにその能力開発方法を享受したところ、全員の子供たちが約3カ月以内に高い透視能力を身につけています。その子供たち全員は、客観性と正確性をもって目隠ししたまま本を読んだり、壁の向こうにあるものを当てたり、遠隔で物や人を認知することに成功しました。完全に生まれつき全盲であった子供たちでさえ、その能力が身につけています。また、時間はかかっても高齢の方もそういった能力が身についたことで知られています。

さらには、障害者に応用して、目が見えたり、耳が聞こえたりするようになっていきます。ある意味、障害のある人はもともと欠如している感覚器官を代替するための脳が発達していることが多いため、超感覚が目覚めやすいこともわかっています。

赤松氏自身もその能力開発方法のトレーナーであるので、研究会最中にエクササイズも行いました。

■ビデオ紹介■

ビデオ1: 2010年1月お正月番組TBS「最新脳科学X最強超能力」

元障害者(全盲、聴覚障害、身体機能不全など)であるロシア人男性サーシャ・レビット君が紹介される。能力開発を受けた人の例として、サーシャ君は、アイマスクをして日本の取材班がもつてきた絵本の内容を説明する。サーシャ君は9歳で能力開発学校へ通う。サーシャ君によると、見えない世界を見ようとするとときに、まず意識を一点に集中させることで対象物の輪郭や色がぼんやり見え始め、そこにさらにフォーカスすると詳細も次第に見えてくる、という。

ビデオ2: ロシア モスクワの能力開発学校の授業風景

学校のトレーニングでは、代替視力を育てるために、アイマスクを使って視覚をブロックしている。まずは、脳内視力を育て、脳の後頭部(視覚視野)で見るトレーニング

グを行う。脳内視力が育った後には、外部視力が発達する。ロシアでは化学的にエクスターナル・ビジョン (external vision) という (ロシアでいうエクスターナル・ビジョンは、米国でいうリモート・ビューイング [remote viewing] より広範囲の定義で使用されている)。授業では身体周りのエネルギーを感じず練習をしている。それは、バイオエネルギーフィールド (生体磁場) と呼ばれている。気功のようなエクササイズをしている。脳内視力を鍛えるために、瞬間記憶 (カメラ記憶) (photographic memory) とは、トレーニングをしている様子やグリッドと呼ばれる方法を学習している。これらのトレーニングをすると脳内の情報処理がはやくなる。この訓練を行うことで未使用の脳が開発され、超感覚的能力が高まるという。デモンストラーションを行っている女生徒は、一目解剖学の本を見ただけで、その本のページをいとも簡単に読み上げている。夢を見る時や、考える時の脳の解析により、脳科学や医学の根拠に基づいた方法でトレーニングを進めている。

ビデオ3…ドイツのテレビニュースの紹介

ほとんどの受講者が能力開発に成功している。感覚の範囲が拡がり自分の周囲を360の範囲で認識するようになる。言語能力も向上する。このトレーニングを受けた生徒は大学の成績も良くなる。脳のどのチャネルを使っているかの研究を行っている。開発には霊的なメッセージも受けており、チベット密教の聖者の協力もある。人類のバックアップがあつて開発されている。

大人でも習得可能である。17歳以下なら100%向上する。80代でも本人の継続の努力があれば可能である。

今は初歩的研究である。いずれ材料工学とタイアップして材料の開発とか人体内部の研究など応用範囲は広い。

目隠しして合気道を行うこともある。本物の剣での試合も行っている。

■赤松氏による透視実験…参加者から提供された物品16点を透視した■

出題品は、ストラップのついた

小さい瓢箪、飲み物が入っている容器、黄色の表紙に文字のある本、不規則な折り目のついたパンフレットなどであり、赤松氏はそこに書かれた文字をほぼ完全に透視できた (赤松氏は数年の訓練でこの能力を身につけたという)。

ビデオ4…ウクライナの障害者教育センター (AHDセンター)

元米大統領クリントンとヒラリー夫人がウクライナ障害者教育センターを訪問した際のビデオ。ウクライナ国内の代替医療の状況を説明している。

センターにおいては、脳性麻痺の方々の回復実例、眼球のない方が代替視力 (EXV) を得て本を読むことができるようになった実例などが紹介された。

アメリカの超能力の研究は、軍事目的が主であるが、ロシアやウクライナは社会福祉とか障害者補助とか、医学への応用が大事である。米大統領が、創始者の先生らに米国での市民権の移動も含め開発提案があったが、ウクライナ側は断っている。米国の軍事仕様であったリモートビューイング (スターゲートプログラム) ももともと

はロシアの超能力プログラムを基礎にしてスタートしたものである。

ウクライナ障害者教育センターにおいては、もともと人が持っている自然回復能力を向上させるために、気の流れをよくするエクササイズを紹介している。回復実例が紹介された。…脳性麻痺で手足の不自由な子供たちが元気に歩いたり走ったりしている様子、糖尿病の大人や子供の回復、全盲の子供たちが見えるようになり周囲の人物の着衣を当てる、耳の聞こえない子供たちが聞こえるようになる、など。

気の流れを整え、能力開発を施し、心身の回復がなされるだけではなく、結果的に大人も子供も超能力を習得した様子がうかがえた。

■体験会…赤松氏によるエネルギーワークの紹介■

参加者全員により気を感じる実験が行われた。

まず両手をこすり合わせる。これだけで右脳と左脳の繋がりが良くなり、脳の活性化となる。エネルギーボールの作成、エネルギーボールを相手に渡す、気で相手の身体にふれる実験、などが行われ、

大半の参加者は気を感じることができた。

■能力開発方法―脳科学に基づく超感覚の発達段階■

脳の発達段階…

肉眼↓イメージ(想像の世界)↓心眼。

脳内視力(インターナルビジョン)↓外部視力(エクスターナルビジョン)

■訓練方法■

第一ステージ

バイオエネルギー交換の発達

感覚範囲の拡大

右脳と左脳の神経系の活発化

血液循環がよくなり免疫・抵抗力が強くなる

第二ステージ

イメージ育成

瞬間記憶能力

周辺視野の開発

内部データベース開発

時系列情報を記憶する

認識力の強化

脳内視力ニューラルネットがで

きる

第三ステージ

目を使わないで自分の配置が分

かる

闇の中で物を見回す

身体機能回復

体外離脱

ホモサピエンスとして普遍意識

宇宙からの直接の知識が得られる

第四ステージ

バイオコンピュータ・インター

ネット

複数の人のバイオコンピュータ

をつなげたコミュニケーション

■訓練方法習得後■

この訓練方法を行うと、カメラ

記憶、同時に多数のことを行う能

力、超感覚的能力(透視、リモー

トビューイングなど)、次第に超意

識から瞬時に答えを聞き出す、こ

となどができるようになる。日本

に10年前に招待したこの訓練方法

のインストラクターやその子供は、

壁を透視して見たり、遠くにある

本を開かずに読む、失くした新幹

線の新幹車の場所を当てる、学

校に行かず勉強せずとも試験の解

答がわかる、CDやDVDをプレ

ーヤーなしで脳内で再生して聞く

見る、など通常教育ではありえな

い能力を身につけていることがわ

かった。

それだけではなく、ロシア脳科

学アカデミーや大学医療研究機関

の調査によると、能力の発達した

人たちが、体内を透視することで、

医学的病理学的にも見つけにくい

早期のガン細胞を発見したり、遺

伝子、微生物、細胞等の電子顕微

鏡の下でしか見るのでできない

体内状況を正確に当てているとい

う。

■メデイカルダイアグノスティックエキスパート■

体内霊視診断士。直接視力によ

る霊的医療診断を行うエキスパー

トのこと。

ビデオ5・医学博士、脳科学者に

よるレポート

アイマスクをしてビリヤードを

する様子など。眼球のない娘さん

が脳内視力と外部視力の発達で、

見えるようになるケースなど。体

内透視で、欠陥のある遺伝子を修

正してよくなるケースなど。

素晴らしい講演であった。訓練により成果があがるのを脳の活動で確かめている。

超能力の開発が組織だった方法で行われる時代になってきたことを実感させられた。

たまたま本年1月27日の産経新聞に同志社大で脳科学研究科新設の記事があった。全国でも珍しいとのこと、このような新しい分野に早々に取り組まれた先見性に敬意を表する次第である。

当日の参加者は会員12名、非会員25名計37名であった。

今回のカセットテープは2000円です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

5月21日(土) 瀬尾泰範氏「東日本大震災と今後の世界について占星学的解釈と予測」

6月18日(土) サアラ氏「科学と霊性の融合する時代」

(関西日本サイ科学会会長

☆

☆

河野 明夫)

故 関英男先生のサイ関係(+ α)の主要な御著書(在庫のあるもの)

| | 定価 | 送料 |
|----------------------------------|-------|--------|
| 加速教育法(1990:加速学園出版部) | 2100円 | (310円) |
| 加速学習法(1995:加速学園出版部) | 2550円 | (210円) |
| サイ科学の全貌(1991:工作舎) | 1995円 | (210円) |
| グラビトニックス(2000:加速学園出版部) | 1000円 | (160円) |
| 念波(1990:加速学園出版部) | 800円 | (160円) |
| CD:生命と宇宙[講演録72分](1998:船井メディア) | 3000円 | (160円) |
| 電気磁気学[加速教育用](1983:加速学園出版部) | 1340円 | (160円) |
| 謎のオズマ計画 - UFOとの関連 - (1976:USL) | 190円 | (120円) |
| FIVE DIMENSIONAL WORLD(1974:英語版) | 1000円 | (160円) |

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

| | | |
|------------------------------|-------|--------|
| 深宇宙探訪記(上)(1991:加速学園出版部) | 2500円 | (210円) |
| 深宇宙探訪記(中)(1992:加速学園出版部) | 1800円 | (210円) |
| 深宇宙探訪記(下)(1992:加速学園出版部) | 2200円 | (210円) |
| VHSビデオ:オスカー・マゴッチ氏の講演(2h40m) | 3000円 | (300円) |
| VHSビデオ:ティモシー・ワイリー氏の講演(2h45m) | 3000円 | (300円) |

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

御注文はそれぞれ定価+送料の合計料金を郵便局にある郵便振替用紙で以下の口座にお振り込み願います。

口座番号 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会

★郵便振替用紙の「通信欄」に書籍名を必ずご記入願います。

★郵便番号、住所、氏名、電話番号は楷書で読みやすくご記入願います。

(特に番地は算用数字でしっかり書いてください。)

※お振り込みから4週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の電話またはFAX、E-mailで確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

た。これは地球の固有振動数としてのシューマンレゾナンスとほぼ一致している。

光子群の動的な変化を調べる為に、遮光状態のTVカメラのビジコン管(M7075)とメモリー・スコープ(XYレコーダー付き)を用いて実験を行って光子群(念球)の2次元的な様々な動きを記録した。さらに上記の暗缶を用いて実験を行い、記録された時系列変化の最頻値は約100Hzであること、並びに複雑性科学のカオス解析結果から非線形低次元決定論的なレスラー系のカオス・アトラクタ(D2=1.9~2.2)が得られた。フラクタル次元のD2は関与する変数の数を意味しているので、サイ(気)は、生体周りの別の2~3箇所から(チャクラと推定)送念されていると、判断した。他方、メタルPKの進行過程の事象結果として、硬度測定は通常の場合よりもより硬くなる、次により軟らかくなる、是を繰り返す。またひずみ変形を見ると、経過時間(ひずみ硬化)には依存しないで、より変形しやすい、次はより変形しにくい。破断面をみると、延性的つぎは脆性的、等の同一内容と思われる変化を繰り返している。この時のカオス解析結果を見ると、レスラー系のカオス・アトラクタを繰り返し描いている。

なお、上記の実験結果には、写真のポジ(正)像に対するネガ(負)像。並びに時系列変化の正方向変化と負方向変化等の変化を伴っている。これは素粒子を表示するシュレディンガー方程式が虚数を含む事に関係すると考えられる。以上の実験結果から得た様々な念力(マクロPK)の諸性質は、サイ(気)が素粒子群であり、量子絡みあい(QE)を介して伝達されると考える事により、ほぼ矛盾無く説明出来る事が判った。

4. カオス・アトラクタと念力

物質変化の変曲点付近は不安定な状態であり、そこに未知現象が生起している。また、流体の場合の層流から乱流・カオスへの進展過程等と比較すると、物質変化の変曲点でカオス・

アトラクタの分岐が生じていると、判断することが出来よう。

カオスは混沌とも言い、偶然に支配されている。運動は非線形で、複雑で不規則であり、非可逆性を持つ非周期運動なので、結果を予測する事は出来ない。これは念力も同様である。さらにカオスの基本的な構造として、不安定状態に達すると、分岐が開始される事になる、つまり、念力の発生は分岐の開始と一致しており、念力の進行はカオスの進行過程として表示出来ると考えられる。そこで、つぎに、実験・解析が容易なカオス解析から、発生と実験が難しい未知現象(念力)を推定すること、ならびに、両者の比較検討を試みる。

(a) 念力の動的な性質：(a-1) 意識的ならびに物理的(場所的)な条件設定が必要。(a-2) 情報伝達の媒介物、情報処理の手法は不明(推定の段階)。念力は(a-3) 人体から素粒子群(サイ、気)として発生し、球状(らせん)運動を繰り返し、波動的に伝達される。(a-4) 空間的には無限大ならびに無限小迄。(a-5) 時間的には過去、現在、未来まで。つまりサイ(気)情報は瞬間的、距離に無関係に伝達される。

(b) 念力の機能的な性質：(b-1) 人体からサイ(気)を放出。(b-2) 気と物質の相互作用により念力が発生する。(b-3) 意識も物質も共にサイ(気)の属性がある。(b-4) 複雑系非線形の陰陽五行方程式(相生、相克)に従う。(b-5) 太極、八卦、易経の分類に従う

(c) 念力場の形成：念力は意識の働く状態により5種類の場を形成する。(c-1) 平衡・焦点：焦点状の平衡状態であり、昏睡、廃神の意識状態。(c-2) 周期軌道：無意識状態。(c-3) 準周期軌道：無意識状態。(c-4) 低次元カオス・アトラクタ：変性意識状態または特異機能態。(c-5) 高次元カオス・アトラクタ又は意識：ランダムで雑念が多い、通常の意識状態。念力としての未知現象(サイ現象)は(c-4)で生起している。

異常変形(未知現象)の発生点(カオス現象の最初の分岐点)を求める。従来は念力の有無が議論の対象であったので、発生の為の条件は議論された事が無かったように思える。

この種類の実験や検討を繰り返した結果として、次記が得られた。(1)物質の変曲点(不安定点)で未知現象が発生(分岐開始)した。メタルの場合には、降伏点が是に相当している。この実験は、(2)変形という現象を介して、(物理現象)+(サイ現象)、を求めたことになる。(3)(物理現象)+(サイ現象)の時に、つまり外気(サイ)が加入すると、試験片は、通常変形とは異なる現象、つまり「急激塑性伸び」、再載荷重の時に「見かけ上の弾性喪失」(変形がゼロとなる)、除荷重時に急激戻り、が認められた。これは(4)未知現象生起の時に材質が一部僅かに変化させられた(分岐した)事を意味している。(5)これと同じ実験を、材料をアルミ、鉄、竹、木。形状を、丸棒、四角、矩形に、試験機を片持式、単純梁式に、変えてテストして、ほぼ同一の結果を得た。これらから物質変化の変曲点付近(不安定状態)でパルス的な意念の働き(うん、命令)があった場合に、未知現象(サイ現象)の発生・生起が生ずる事が判った。

未知現象生起(局所)の機構を検討する。実験によると、押し合う力の相殺する零点付近(零場)にサイ(気)が集積される事がわかった。数字や幾何学のゼロは単なる空位で現象を伴わないが、物質の場合の零(相殺零)には未知現象生起のパワー源がある。零場には質的な面と量的な面がある。質的というのは、相殺する力の大きさに応じて個体、分子、原子、素粒子というように零場で介在・接触している物質の内容が変化することを意味する。量的というのは、相殺零にはパワーの相違がある事を意味する。例えば物質相殺の $(+10) + (-10) = 0$ よりも物質相殺の $(+1000) + (-1000) = 0$ の方が、零のパワーは大である。つまりパワーの大きな零になるほど、サイ(気)現象が発生しやすくなる事が判明した。

さらに、未知現象生起には零意識が必要になる。瞑想や呼吸をコントロールするなどの方法を用いて意識を変性させる(変性意識状態、ASC)。意識は知性や理性等の常識と言われるものであるが、これを次第に薄めて、無意識に近づける。未知現象が生起する時の変性意識状態を零意識と仮称する。この零意識は意識と無意識の間の抗暗示障壁に存在していると考えている。意識を零意識状態にし、物質の零(相殺)を高めると、両者に共通に存在する零を介して、物と意識の両者が交流し合い、未知現象が生起する事になると判断している。なお相殺零場はマクロとミクロ、右旋回と左旋回、精神と物質等、の変換点の性質を持っている事が判明している。

さらに、この試験内容を透視・念写の場合に適用した。例えば「催眠中、意識を集中させて透視する事により、物理的な光による感光と同じような現象が、遮光状態の写真用乾板に起った」。つまり福来友吉によって1910年に念写が発見された。現象の内容から見て、これはマクロPKの一種であると判断できる。そこで、筆者らは、遮光状態の暗缶内に発光ダイオードと受光ダイオードを置いて透視・念写の実験を試みた。メタルの場合と同様に、暗缶内にバイアス光として既知の物理光を階段状に与えたところ、僅かなパルス状の送念(意念)でも、光としての未知現象が出現する事を確かめた。物理光が受光ダイオードの閾値近くか或値に達した時に、暗缶内にパルスの球状の光子群(素粒子群、念球)が発生した。これはメタルの場合の発生条件と同一なので、同一内容の未知現象(サイ現象)が生起したと見る事が出来よう。

3. 念力現象の成長

実験を続けたところ、バイアス光の無い場合でも念球(光子群)の出現は可能であったが、バイアス光のある場合の方が、よりパルス状になる傾向があった。多くの実験を重ねたところ、パルスの出現の最頻値として約6.7Hzが得られ



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

念力とカオス・アトラクタ

佐々木 茂美 苗 鉄軍

1. はしがき

意識と物質が直接相互作用する現象を念力(PK)という。念力の現象のあることは周知であるが、原因は不明であった。この理由として、念力は変性意識状態(ASC)に関係するが、意識が科学的には不明なので、念力も不明であると考えられていた。筆者らは、永年にわたり念力を解明する為の努力を続けてきたが、最近、ようやくその一部が分かりかけてきた。得られた結論の一部として、(1)念力の発生条件がほぼ判明し、零場が発見された。(2)複雑系科学のカオス・アトラクタ形成・展開の過程と念力の進展とは密接な関係がある。従って、(3)実験が難しい念力現象を、カオス・アトラクタの変化から推定する事が可能である、と判断した。今回は、不完全ではあるが、実験をもとにして念力とカオス・アトラクタの関係を略述する。

2. 念力の発生条件

日本では、1974~1980年代に念力(PK)や超感覚的知覚(ESP)としての超能力有無の真贋騒動があり、世論を二分して社会問題にもなった。しかし、再現性や、因果律を説明する事が困難な為に、結局は否定されてしまった。中国でも1979年に四川省で「耳で字を読む唐雨少年」が発見され、多くの市民の支持を受けて、

特異機能(超能力)は最大に流行したが、法輪功事件を契機にして政府から否定されてしまい、今は、忘れられかけている。最近になり、日本では(2009~現在)パワー・スポットブームがやってきた。全国各所の神社、社寺のパワー・スポット(聖地)には多くの人々が集まっている。これは社会現象であり、心身のパワー(力)の強化を求める人達が想像以上に多い事を意味している。筆者らは、パワー強化や「願い事を叶える」為には、念力の一種を用いる方法が良いと考えている。

はじめにマクロ念力(PK)としてのメタル・ベンディング(未知現象)の生起条件を扱う。メタルは電磁気や雑音等にも安定であり、化学的・物理学的にも安定しており、さらに変形に関係する様々な性質も判っている。単純で誤差が入りにくいアルミニウム材を用いて引張試験を実施した。試験方法として、(a)試験片に僅かに載荷重(分銅)する。同時に被験者(超能力者)が外気(サイ)をパルス的に(うん、と腹気合い)意念して、試験片に与える。その時の変形(伸び)=(物理現象)+(サイ現象)、を求める。次に、(b)として(a)と同様に荷重、意念し、測定を行う。是を小刻みに繰り返す(数回程度)。そして、サイ(外気)現象が(既知の)どのエネルギー段階で加入してくるかを調べる。この様にして、



サイジャーナル

月刊
23-7・8
第398号

日本サイ科学会 平成23年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|--|--|---|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎・FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリステック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎・FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|--|--|---|--|--|

七月本部例会のお知らせ

なぜあなたに大きな奇蹟が
起こらないのか？

東日本大震災にも関連して

講師 古村 豊治氏

いまは、まさに激動の時代。政治や経済は不透明。また天変地異や大災害、事件や難病奇病も続出しています。それら難問に対し具体的な対処策を持つ政治家、指導者、宗教家、科学者、医学者は極めて少ないのです。

そんな指導者たちをあてにせず、自分自身で自分や家族、会社を護らなければなりません。そのために、個々人が自分の本来の力に目覚めなければならぬときが来ました。それには「奇蹟力」とでもいう「力」が必要なのです。

「奇蹟力」は、ただ待っていては起こりません。奇蹟を起こすためには、人間と宇宙の構造を「直感力」を使い、理解しなければなりません。また「意識力」で能動的に対処しなければならぬのです。

3月11日に東日本大震災が起り、原発事故も加わって日本は有史以来の危機的状況にあります。それらへの最新の対処法を、実技を交えて講演します。

なお、参加者全員に古村先生の最新の著作である「成功の宇宙法則」を進呈致します。

前回も大盛況だった古村先生の本部例会でのしばらくぶりの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●古村豊治氏のプロフィール

昭和30年早稲田大学商学部卒業。各種会社社長を歴任。船井幸雄先生主宰の直感力研究会講師、高次元波動研究会主宰。時空超越波動法を創出し、今日に至る。高次元研究、フォーチ、I F・テストの実践者として著名。全国でセミナー開催。相談屋本舗運営。

著書には、「究極の自己革新」(博文館新社刊)、「らくらく探査力」(「わくわく意識力」(中央アート出版刊)、「悟り力」(知玄社刊)、「成功の宇宙法則」(致知出版社刊)などがある。

※今回は第三月曜日(祝日)です。

日時 平成23年7月18日(月)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

今月号の記事

◎七月本部例会のお知らせ

◎御寄付御礼

◎事務局からのお知らせ

◎日本サイ科学会創立35周年記念大会の予告と論文・原稿募集

◎関西サイ科学会七月例会予告

◎第13回宇宙生命研究分科会予告

◎九月本部例会予告

◎十二月本部例会報告

◎第三五五回関西サイ科学会報告

◎第三五六回関西サイ科学会報告

◎念写像の形成過程の分析

※8月は本部例会は休会となりま
す。九月本部例会予告は3頁に
掲載されております。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(6/12受領分まで)

金七千七百円 大川様 風巻様
金一千円 山田 真理 様
金一千円 天野 聖子 様

◎事務局からのお知らせと
お願い

☆本部例会や大会等での運営ボラ
ンティア募集中

受付での資料配付、講演者スラ
イド発表時の電灯操作、コンピュ
ータ操作などのお手伝いをしてい
ただけませんか。当日の参加費が
無料になります。

●左記にご連絡願います。
office21@psj.mail-box.ne.jp

日本サイ科学会創立35周年
記念大会の予告と論文・原
稿募集

テーマ「パワースポット」

プログラム(詳細は次号掲載)
午前10時～12時(敬称略)
特別講演
苗鉄軍 佐々木茂美

午後1時～5時
シンポジウム

前半でパネラーが1人15分位発表
し、後半でパネルディスカッショ
ン(会場参加者も含めた質疑応答)
大会委員長 小牧昭一郎
パネラー(予定)
佐々木茂美 苗鉄軍 久保田昌治
鯨江勇 他

日時 平成23年10月9日(日)
午前10時～午後5時

※開場は午前9時30分です
会場 北とぴあ7階第2研修室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤
羽寄り)の階段を下り改札
口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

日本サイ科学会は1995年に
分科会のサイ実測研究会が、中国
元極学の張志詳会長を日本に招い
て東京や長野県で講演会を催した
ときに、長野県の長谷村(現在伊
那市に合併)にある分杭峠が元極
学の基地に匹敵するパワースポッ
トであるという「お墨付き」をい
ただいたことがきっかけで、現在
日本でも有数のパワースポットと
して分杭峠に多くの人々が訪れて
おります。

そのことも含めまして、パワ
ースポットの現状や科学的な立場で
検討するシンポジウムをプログラ
ムのメインテーマに致しました。
そこで会員の皆様からもパワ
ースポットに関する貴重な体験やレ
ポート、科学的な立場からの検証・
論文等を募集することになりました
。それは当日配布される予稿集
や今年度発行の論文集「サイ科学」
にも掲載されます。

9月10日までにA4版(40字×
40行)6枚以内で一太郎かワード
のデジタルファイルを左記事務局

まで添付ファイル送信願います。
内容がふさわしいか否かの審査は
ありますので、ご了承ください。

●原稿送信先

office21@psj.mail-box.ne.jp

関西日本サイ科学会
七月例会のお知らせ

「オリジナルデザインの正32面
体図象に潜む驚異の浄化パワ
ー 日本各地を巡る『みるく』
奉納紀行に学ぶ」

講師 高尾 征治氏

日時 平成23年7月16日(土)
午後1時半～5時
会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで
※関西日本サイ科学会の八月研究
集会はお休みとなります。



第13回宇宙生命研究分科会

第5回 UFO・オーブシンポジウム

本年もまたUFO・オーブシンポジウムを開催します。優秀な講演者には参加投票によってUFO・オーブ賞を、ユニークな研究者には世話人からマージナルサイエンス賞も・・・。

UFO・オーブ研究に関心のある方は是非お集まりください。またUFO・オーブについてひとこと話したいというヒトもお気軽にいらしてください。

内容

○テリー・トフテネス監督が撮影した作品「ザ・デイ・ピフォア・デイスクロージャー」の上映！
講演者

・山口カール(フォト・アーティスト)「SPIRIT OF MU」
・中津川 昂(サイキック・リサーチャー)「最新UFO情報」
・ロン・薄葉(スピリチュアル・ヒーラー)「オーブからのメッセージ」

・田村良一(エネルギー研究者)「改良アダムズモーター現況報告」

・宮本一聖(宇宙・科学・超常現象研究者)「UFO撮影の現場から」
・アカイ☆コウジ(キヤスター)「エリア5反田から」

・川崎利男(川崎オーブ研究所)「2011年前半オーブ総括」
・福島原発・セシウムオーブ研究所」
・森 義光(M総研所長)「関西UFO事情」

・井出 治(クリーンエネルギー研究所所長)「脱原発と第三起電力」
・森脇十九男(開星論のUFO党党首)「反核開星統合論」
・宮内輝幸(医師)「一医師からみたスキニーボブの真贋」 ほか

★講演者・講演内容は都合により変更することがあります。その点、ご了承ください。
(世話人 阿久津 淳)

日時 平成23年7月31日(日)

午前10時30分～午後5時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通

京浜急行新馬場駅徒歩2分
JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・国際問題研究会会員) ※会員以外の方の参加も大歓迎

九月本部例会予告

『3・11 新文明の幕開け』
～日本人の使命～

講師 鈴木 俊輔氏

先の3・11、東日本大震災は未曾有の大災害であります。しかしこの天譴ともいえる大災害が何ゆえに日本に起こったのでしょうか？ 整然と一〇〇人以上も列を成して食料を求める被災者の姿に、海外のメディアは瞠目しました。

略奪・暴動もないその秩序だった日本人のその姿に世界中が唖然としたのです。そして全ての日本人が今、「自分さえよければいい」という、これまでのワレよしの姿

は払拭され、一億三千万の愛念意識が被災地一点へと集中しました。はつきりいつて、新文明の幕開けなのです。日本人の偉大な意識が覚醒して、その内なるころから、外側の世界は創られます。大きな和とかがいてヤマトと読ませる、その日本人の使命について古神道・言霊からの観点も含めて再認識したいと思えます。

昨年度までサトルエネルギー学会の事務局長をされていて、この分野に知識の深い鈴木氏の御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●鈴木俊輔氏のプロフィール

東京生まれ、芝浦工業大学大学院修了 工学修士。日産自動車中央研究所時代には金属合金設計、セラミックス物性、触媒の研究に従事。ついで多機能金属触媒「バイオカルム」を開発(日本表面処理学会柴田賞受賞)。

1996年(有)テクノクエスト 代表取締役社長 バイオカルムの応用研究と音響技術をはじめとする技術コンサルタントとして現在に

至る。環境計量士・一級建築施工管理技師・騒音公害防止管理者でありこれまでの発明特許は1000件を超える。独自の水の研究、波動装置の研究という科学技術屋である同時に古神道・言霊の研究者でもある。近著に「サトルエネルギーのお話」（静岡出版）、「ことだまの科学」（明窓出版）がある。

日時 平成23年9月10日（土）

午後1時半～5時

会場 北とぴあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

十二月本部例会報告

新たな予防医学を目指して

講師 宇治橋 泰志氏

（免疫整体 二〇二一番）

両国で任意波動発生器、AWGといいますが、電子を活用した物理的な施術法に取り組んでから皆様の「ご理解とご支援により、まもなく足掛け8年になろうとしています。この間約千人を超える方々の施術を行って参りました。

この電子による物理療法の利点は、脳溢血や痴呆症など頭のてっぺんから心臓疾患や足の水虫に至るまで、広い範囲に渡る多くの疾病に対応が可能だということです。手術や投薬、放射線等に頼る近代医学の対症療法は、多くの専門家と高価で大がかりな設備や用具類が必要ですが、AWG施術法では大してそれらを必要としません。それに事故や致命的な副作用は8年間を通して、一切ございませんでした。費用の件ですけれども、効果対費用で考えますと、安価なものといえると思います。

ところで皆保険制度をとる日本の医療費は伸び続けて35兆円に達するといわれ、これは国家予算の実に40%を超えており、毎年増加する一方で、将来がまったく見えない状態です。これを打破するには、全で安価な医療体制をつくる必要

があると思います。それには現医療体制を大きく変革するような新しい発想での医療方法を取り入れることが不可欠だと思います。AWG施術法などの物理療法は、その良い一例だと思っております。そして病気を未然に防ぐ予防医学をさらに発展させることも肝要です。

この予防医学は本日のテーマの一つで、後ほど詳しくふれて参りますが、今までの予防医学は栄養素と運動を指導する、どちらかといえは、お医者さんなど専門家の消極的な方法でした。今後は例えば、外部からエネルギーを与えて改善する物理療法などの積極的で簡単な手法を取り入れることが肝要だと思います。

さて今回はパーキンソン病や子宮体ガンなどでAWG施術法だけで改善された事例等を紹介しながら、合わせてその効果を証明するため、従来と違った角度からアプローチした、疾病に対する新しい理論を、前回に引き続きさらに食い込んでご披露したいと思えます。

新たな予防医学を目指して

(1) 地球の環境問題

皆さんは本年の9月に名古屋で

開かれた「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」をご存知だと思えます。この会議の目的は地球上の多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来に渡って活用するものです。私達の住む地球上の生態系は実に多様性に満ちています。地球上に存在する確認された生物は一七五万種類と言われており、未知なる生物を含めると、三〇〇〇万種類あると言われると、おられます。

これらは地球上の約40億年もの進化の過程で、環境に適応、多様化して同化してきたわけです。それぞれの生命の種は、それぞれの環境に応じて相互の環境を築きながら、多様な生態系を形成し、地球環境と私達人間の暮らしを支えてくれています。しかし、現在の問題は、世界中で多くの野生生物が絶滅の危機に瀕していることであり、ます。

現在一年間に四万種の生物の種が減っていますが、そういう種が大量に減びるようになったのは、一九七五年頃からのことです。それまでは一年間に一種類くらいが消えるだけだったのです。これは恐竜が大量に減びた時期のスピード

よりも早いそうです。その原因のほとんどが開発や乱獲、外来種の持ち込みなど人間の活動にあるわけです。人間は地球生態系の一員として、他の生物との共存を求められているのに、一方的に生物に影響を与え、絶滅の危機を引き起こしている、それはやがて必ず人類に降りかかっている問題だと思います。

日本でもニホンオオカミを怖がってすべて殺してしまいました。その結果現在には鹿や猿等が増えて、様々な問題が生じています。今後地球環境問題や公害問題など環境に関する問題に対して、人類はさらに真剣に取り組む必要があると思います。それは私達の子供や孫達へ物事を継承させたいという誰でも共通の願いからも大切だと思います。

(2) 体内の環境問題

実は地球環境問題と同様に体内にも環境問題が存在しております。体内にはカビよりさらに小さな生命の世界が存在しています。その世界は多形態の秩序で成り立っていて、そこに疾病の主因も隠されているようなんです。しかし残念

ながら現在の生物学や医学の世界では、その世界を全く知らないか、全く無視しております。当時の研究者達もその事実の証明を試みましたが、既存の権威の前では激しい抵抗に遭い、葬り去られてきてしまいました。その一番の理由はこの小さな生命体の世界が、特殊な顕微鏡でないと見えないということだったと思います。では今日はその世界を皆さんと覗いてみましょう。



(3) 体内共生微生物と疾病の関係

①暗視野顕微鏡での世界
病気の原因とは何でしょうか。加齢、偏った食生活、ストレス、睡眠不足、悪い住環境等から体内環境の悪化が生じ、体内に毒素や

老廃物が蓄積します。そこから血液が汚くなる現象となり、それがさらに進むと体内共生微生物の異常が起こるわけです。そして病気の発症が起こるといって、全く新しい発想があります。

パスツールなどが唱えた「病気は病原菌によって起こる」というこれまでの考え方に対して、ペシヤツプやエンダーレンが唱えたのは「疾病の原因は体内環境にある」という考え方があり、私共はこの考え方が正しいのではないかと考えております。

この世界はあまりにも小さすぎて特殊の顕微鏡が必要で、位相差顕微鏡と暗視野顕微鏡があります。暗視野顕微鏡は大変強い光源を乱反射させて、血液の微少な部分まで見えるようにしています。

※暗視野顕微鏡による血液の画像を紹介する

赤血球の大きさは7・5ミクロン(1ミクロン=千分の1ミリ)に対して、血漿の中を動き回る有機体プロテイドの大きさは0・01ミクロンしかありません。

②エンダーレンとガストン・ネサンの理論について

エンダーレンが名付けた血液中の「プロテイド」という有機体を、ガストン・ネサンは「ソマチッド」と名付けております。二人ともこれは生命活動に不可欠なものだと断定しております。

ガストン・ネサンの研究によりまずと、ソマチッドは

1. どんな強酸でも死なない
2. 固形になるとマイナス30度でも、また二〇〇度以上の熱でも耐えられる
3. 5万レムの放射線にも耐えられる
4. エネルギーのコンデンサである
5. ソマチッドサイクルは全部で16形態あり、最初の微少な3形態が健康な状態である

16形態は第一段階の「ソマチッド原型」から、第二段階の「胞子」下第3段階の「二重胞子」までが非病原性で、第4段階以降、バクテリア形態、二重バクテリア形態、棒状形態、二重胞子を持つバクテリア形態、粒状の二重胞子を持つバクテリア形態、球状の細菌形態、

それが破裂して酵母形態、子嚢胞子形態、子嚢形態、菌糸体形態となり、次々と16のかたちに変わっていく。そして変化の最後の菌糸体形態が壊れると、そこから再び小さなたくさんのソマチッドが生まれ出て、その後菌糸状のものが繊維状の葉状体に変化して残される。以上が16段階のプロセスとなるソマチッドサイクルです。

ガストン・ネサンは健康を取り戻すためソマチッドを小さくする方法を考えて、いろいろな薬を試し、楠の樹液から確保したもの(ナフタリン)を薄めて、そけいリンパに打つことで元気を回復させたそうです。

エンダーレンもプロティッドの形態の非病原性から病原性までの様々な変化を観察し、解説しております。結核菌や連鎖球菌、ぶどう球菌も内部から変化して発生すると考えております。

③ 当院が観察した比較血液像

※暗視野顕微鏡による、いろいろな病状に対応した血液中のソマ

チッドの形態を解説する

④ A W G 治療器について

A W G 治療器は任意波動発生器といつて、松浦優之博士がウイルスを撲滅する目的で開発されました。25年をかけて、世界中の学者さんと協力して膨大な実験を繰り返して、低周波で69種類の有効な周波数を発見しました。M A X 20 ミリアンペア、12・5ボルトという安全な弱電を使用しています。

人類は電気(電子)で照明をし、電車を動かし、テレビで画像を表示し、0と1の信号でコンピュータもできたのに、人間には電気椅子しか使われていなかったのです。人間も電子でできているのに、これはおかしいことです。

これは周波数を合わせることができなかつたからで、有効な周波数が分かれば治療や健康維持にも使えるはずです。臨床実験で述べ3万人以上の治療実績があり、副作用も出ておりません。患者さんは電極を貼って横になっていれいいので、気持ちよく睡眠を取られる方も多いです。

A W G 治療器の効果は、血液環境を良くし、新陳代謝を高める、

体内の解毒作用を促して免疫力を高める、副交感神経に働きかけるのでストレスの解消・軽減をする、慢性的な病気の痛みの改善をし、ケガの痛みについては即効性がある、身体の根本から改善するので、病気予防にもなる、等があります。そういうことから考えると、これは自然治癒力の向上によって病気を回避することができるといわれています。特定の周波数を体内にあてることによって、ウイルスのクリスタルゴブレットの皮膜を内部から破壊し、生体細胞は傷つけないという仕組みです。

ガンに対しては、DNAの損傷部に対して免疫力で修復するように働き、マイナスの電気を帯びた周囲に血液中のプラスのヘモグロビンが集まり、そこに電子を当てることによって、ガン細胞を死滅させるといふメカニズムです。

⑤ M R S 施術法について

A W G 治療器は目に見えない電子エネルギーの装置なので、患者さんに不安感が出てくるのですが、これをどのように証明しようかという調べて、ガストン・ネサンのソマチッドを知り、暗視野顕

微鏡で血液とソマチッドを観察することにしましたのです。

暗視野顕微鏡による検査方法の利点は、生きた血液を観察できるので、従来の明視野顕微鏡では見えない血液状態と体内共生微生物を観察できます。

血液の状態を見ることで、患者さんの体調、病状を推測できるところがあるので、病院での検査を勧めめることもあります。

またA W G 施術法による血液の変化を、患者さん本人と共にすぐ目で確認することができます。

以上まとめますと、人間は体内共生微生物と共存している、共生微生物は体内環境に応じて変化する、病気の原因は共生微生物とのバランスが崩れたときに発生する、病気は体内環境を改善させることで回復する、体内環境の改善は血液を変えることにより達成できる、血液はA W G 治療器によっても改善できる、施術効果は暗視野顕微鏡によって確認できる、ということです。A W G 治療器の効果が刻々と確認できるのは大きなメリットだと思います。

(4) これからの医療と予防医学について考える

病気になるたときの願いは、早く改善する、痛くない、身辺のダメージが少ない、副作用がない、安く済むこと、それには体内環境の改善、体内における共生の原理を基本として、それに合った手法が重要になると思います。

多くの疾病の原因は、体内共生微生物等がより安定しようとしてロククオンを起こしていると考えております。体内PHを7・38〜7・40のベストの状態に調整し、適度のエネルギーを与え、最後は共生微生物の力に任せることが重要だと思っております。そのため安全で副作用もなく、安価で効果の大きい方法としてAWG施術法はベストだと考えております。

第三百五十五回関西日本サイ科学会研究集会報告

「脳科学と健康…代替医療の疑問解消か!?」
「4の法則(脳/心/身体/栄養)から考える」

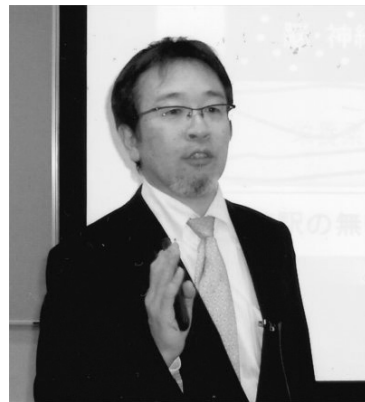
講師 下村 和弘氏
(健康アドバイザー)

とき 平成23年2月19日(土)
ところ 大阪科学技術センター

下村氏は1960年愛知県生まれ。名城大経営管理論専攻。1988年名古屋の総合商社に勤務。健康・環境事業に従事、独自に生体電気測定などを始め、1990年頃から健康アドバイザー。現在独立し、健康関連企業などのアドバイザーとして活躍。「生命場の科学」「電子理論」の研究を基に健康アドバイザーとして全国数千人の健康をサポートし、「4の法則/自然の摂理」などを構築。「脳科学と健康」をテーマに大学など全国各地で講演活動中。

厚生労働省が2000年に「健康日本21」と銘打ち、予防医学プロジェクトの推進を掲げてから抜本的な成果の無いまま10年が過ぎたが、現在の「ストレス社会」を代表とする病んだ時代は、明確な解決策もないまま進展しており、心因性疾患や慢性疾患も増え続けている。これらの社会問題化した

課題に対して、新しい切り口で脳科学の観点から斬新な考察を導き出している。



新聞によると中1の鬱病は10%である。また精神科の数は全国で5144、心療内科の数は3092に達している(2005年)。

原因として社会構造の複雑化やじめの陰湿化が取りざたされているが、はじめは昔からあり、最悪と言われる無視もあった。

しかし、ほとんどの場合、学校や会社へは行っており休むことはなかった。現代ははじめ等により出て行けなくなる事で目立ち、社会問題化している。よって、この「行けなくなる」所に原因が隠れている。

また成人病の若年化も進んでいるが、心因性疾患増加と同様の原因があると考えられる。

現代医学の問題点は病気の原因を考えていない。ガンの手術もガンを取ったというだけでガンを治したとは言わない。

私がかつて測定器LFTやBaを使い、年間1000人程度の測定実験を行ってきたが、同じような症状に対して同じような方法で対応しても効果が違う。

そこで、こうした被験者に対して食生活などいくつかの調査を行った結果、健康を維持するためには「脳、身体(細胞)、栄養、心」の4つの条件を満たす事だと気付かされた。健康だけでなく世の中の事象を検証してみると4つの条件からなることがわかり、以来「4の法則/自然の摂理」として提唱してきた。

基本的に脳が身体に信号を送り臓器や組織、ホルモンや免疫機能は働いているが、ほとんどの症状に対し医師は不調を訴える部位の検査に止め、脳を調べようとはしない。

先進医学の現実をみると、日本の医学、特に基礎医学は遅れている。医療先進国のアメリカ政府の腰痛ガイドラインでは「身体の構造変化と慢性腰痛の因果関係は認められない」とある。

福島県立医科大学(2008年発表)の慢性腰痛者の調査によると骨などの異常が見られるのは15%しか無く、原因究明の結果、腰痛の85%はストレスからくる脳の異常と結論付けられている。

海外では、病気の改善には「身心を制御する技術、信念体系の確立、身と心のバランスが大事である」とハーバード大学医学部でも教育され、またブルース・リプトン博士による医学の常識を変えた考え方がある。

それは、信念は細胞を変えるところである。科学とスピリットの橋渡しをする生物学で、遺伝子は単なる設計図にすぎない。「食と思考」が細胞をコントロールし遺伝子の振る舞いを変えるところという驚くべき真実が証明されている。

アメーバから遺伝子を取ってもそのまま元気に生きている。分裂しないだけである。細胞への影響度は食が1に対し思考が10である。

これは私の研究履歴と一致している。腰痛保有者の大半の骨は正常である事も頷ける。

さらに「老化は病気」というのがアメリカの最先端の考えかたでもある。老化という病気の合併症でいるんな病気が起きている。肉体の若さは脳の若さと密接な関係にあることから脳の老化を改善することで結果として病気が消えるというシンプルな考え方である。

●脳と病気の関係について(脳幹の一部を紹介)

1. 酸化、老化、サビ
2. 24時間のリズムの乱れ
3. ストレス、ダメージ
などが挙げられる。

①視床下部・・・自律神経の中核として免疫、臓器、ホルモン、組織をコントロールしている。

②松果体・・・気エネルギーと関わっていると言われ、マスターホルモンの肩書きを持つメラトニンを分泌する。メラトニンは夕方暗くなってから分泌が始まり、睡眠中3時間くらい続く深

夜3時以降は出にくくなる。夜10時過ぎに起きている3才児が今や半数である。

メラトニンとは

1. 抗酸化物質である。
2. 24時間のリズムや睡眠を促す。
3. ストレスやダメージを緩和する。

このことから、脳細胞の保護薬とされている。分泌は3才から思春期までがピークとされる。

③扁桃核・・・1930年ころから研究されていて一目ぼれやときめき、またイライラ、カチンなどの感情(情動)の時に働く脳だとわかってきた。ストレスの入口と言える。これを除去すると瞬間的な感情の反応が無くなる。使い過ぎると萎縮し、うつ病となる。先の尖っているところがつぶれると統合失調症、精神分裂病となる。

ところで、メラトニンは40才では4分の1から10分の1に減少する。丁度厄年にあたる頃でもある。自律神経失調症、更年期障害、うつ、睡眠障害、かつて成人病と言

われた病気の多くはこの頃から増える病気だった。また60才を過ぎると計測不能レベルまで低下する。

認知症の一般的な原因とされているのは、多発梗塞型とアルツハイマー型として知られ、前者は脳の細かな血管の詰まりによるもの、後者はアミロイドベータタンパクによる脳の縮みとされている。アミロイドベータタンパクの高次構造を修飾することからメラトニンとアルツハイマーが関係している事も報告されている。アルツハイマー患者のメラトニンは著しく減少している。メラトニンは抗酸化作用を持つ強力な神経細胞保護薬である。

メラトニンはフリーラジカルの消去作用があることから脳細胞を守る保護薬と言える。

●血液脳関門について

栄養素は脳には殆ど入らない。血液関門という血管が特殊なフィルターでトランスポーターの存在によるが、メラトニンは抗酸化物質として血液脳関門を通過できる。アメリカではサプリメントとして販売されているが、日本では薬品

分類で認可されていない。メラトニンの実験の多くは牛から採取されていた15年以上前のデータであるため、現在入手出来る化学薬品や植物由来の抽出・乾燥サプリでは同じ効果が期待できない。

●海馬、扁桃核が萎縮・・・痴呆
おこす脳の器官解析！

1996年3月11日東北大学の研究グループによる発表が朝日新聞に掲載された記事の見出しである。3万人の検査の結果から発表されたにも関わらず、認知症は未だ大脳の病気ということになっていく。扁桃核や海馬が原因なら大脳と違い代謝する組織なので改善の可能性はある。実際、ストレスダメージが緩和すれば扁桃核は再生する。松澤大樹氏のアルツハイマー患者の治療データを見ると、進行が止まる94%、改善が始まる79%、元の生活に戻るのが54%であった。

WHOの警告によると、前立腺ガンや乳ガンは、交代勤務者に多い、それはメラトニンの分泌が抑制されるからである。メラトニンが抑制されると性ホルモンの分泌

が進む。またコンビニや読書による460nmの光(蛍光灯、パソコン、テレビ)はメラトニンを抑制する(産総研)。

生活習慣病が成人病と言われていた、精神疾患も社会問題になっていかなかった時代に我が家で勉強するときは電気スタンドが必要だった事を思い出してほしい。

1958年にメラトニンが発見されてから約半世紀を経て天然で液体のままとる対策としてタルトチェリーにメラトニンが多く含まれることが今世紀に入ってから発見された。「米タルトチェリーにはポジティブな結果をもたらす多量のメラトニンを含んでいる」とメラトニン第一人者ラッセルライター博士。

タルトチェリーの成分は、マルチビタミン、マルチミネラル、マルチ抗酸化物質である。「4の法則」すべてにタルトチェリーは当てはまることになる。

前述の細胞に影響を与えるのは思考10、食1の比率からどんなに素晴らしい物を取り入れてもネガティブなイメージで摂取していても効果が少ない。

1960年代にDrモルツにより発見されたセルフイメージの観点から、イメージ力を活用する事は人生を大きく左右することがわかってきた。スポーツの世界ではイメージトレーニングや、プラス思考で、潜在意識を活用するのは常識である。脳はイメージと現実の区別ができないからである。そしてポジティブなイメージ力を簡単にできる方法は「もしも」をつければよい。「もしも〇〇ができたらどうするんだろう?」と・・・。

そして思考は重要だがその源、脳を守っているのがメラトニンであるということ、天然で液体のメラトニンが取れるのは2011年現在タルトチェリーのみである。

1980年頃から心因性の医療施設が急増している。メラトニンが減少してしまう原因を知ればその原因は明らかとなる。

①夜更かしして明るいところにいると分泌は抑制される。

②非ステロイド系の鎮痛剤、アスピリン、イブプロフェンなどは分泌量を概ね4分の1程度に抑えてしまう。

③電磁波がメラトニンを減らす。1980年頃には蛍光灯の進化で家庭内が以上に明るくなった。さらに家電製品が充実しやがて95年、Windows 95の発売以降ますます夜更かしは増えテレビも24時間放映を始めた。脳の保護薬メラトニン不足の時代到来である。

最後にメラトニンに限らず天然成分の多くが、医療認可されていない理由については成分の認可をとっても天然成分はドイツなどでは特許になるが、日本では法律により構造特許が取れないため、膨大な費用と時間が必要にも関わらず独占販売ができず、開発費用を回収することが難しいからである。

☆ ☆

病は気からとよく言われるが、現代生活における脳の不自然な働きがその要因になっているようである。更に老化は当然自然現象であると思っていたがそれもひとつの病気であるという。我々は気の持ち方で健康で長寿の生活ができるようである。

当日の参加者は会員12名、非会員23名、合計35名でした。今回のカセットテープは20000円(送料込み)です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話番号0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

第三百五十六回関西日本サイ科学会研究集会報告

「日本人の生き方と21世紀の未来」

講師 重松 昭春氏

とき 平成23年3月19日(土)
ところ 大阪科学技術センター

古今東西の諸学を学んでも、私達は多くの混乱した意見に支配されて今日まで形成した壮大な地球文明も根本的に変革せずには私達の明日は無いという状況に至っています。

精神世界から「苦」の解決と人

間の進歩をめざした佛教も「縁起」と「空」の二つの次元から私達の現実をとらえようとしながら失敗し、未だに「般若心経」のまともな理解すらありません。

今回は、多年の能力開発の実践的探求から以上の見解に達した重松氏より、問題解決の構図をサイ科学的研究の必要性の問題も含めてお話を伺いました。

重松氏は1930年大連生まれ。能力開発の本質的探究をする株式会社「SLI」代表。意識開発フォーラム「メタワークナウ」主宰。著書「無明の闇を照らす般若心経」(朱鷺書房)

日本の政治家・官僚・学者・マスメディアなどを見ていると、本格的なエリートともいえる人がなかなかいないことに気がつく。

日本には欧米に比べて本格的なエリートを育てるシステムが無いからである。本格的なエリートとは、本格的な生き方の哲学とそれに基づいた戦略を確立して社会に貢献する活動ができる人物をいう。欧米の大学にはそういうエリートを育てるシステムがある。

欧米では本格的なエリートにな

る人物は大学入学後の四年間はまづ伝統的な思想や哲学に触れて生き方の根本を考え、その上で更に大学院で実践的な研究を重ねながら常に戦略的な思考を学ぶ。だから欧米の大学で獲得できる学位の称号はたいいていPhDつまりドクターオブフィロソフィであり、日本語では哲学博士とか学術博士と訳されている。日本にはこのような学位はない。

今の日本の大学で哲学は教養課程の中でほんの一部を学ぶだけであり、哲学は大抵文学部の中の哲学専攻の人がまず学ぶ学問に過ぎない位置づけになっている。

このような差が生まれるのは、日本では欧米の大学の形式だけを残したシステムをつくったからであり、学問的研究の伝統についての深い関心が欠けているからである。

しかも、欧米での学問は、もともと昔から社会の支配階級や王侯・貴族と言われる立場の人が関心をもつものであった。彼らは生き方と戦略を考えることが、自分たちの将来を考えるに当って大切なことであり、その上で、実務については実務的な研究に詳しい人たちが登用するのが常であった。

また、欧米の大学では、思想・

哲学の根本を学ぶのにギリシャ哲学とキリスト教神学の結合したスコラ学を基盤にして、「神」(ゴッド)と称する存在が書いた書物を研究するという形からスタートした。ここにいる「神」の書いた書物とは、一つには「聖書」であり、もう一つは「自然」であった。「聖書」を読み解く技術として尊重されたものは、文法・論理学・修辞学という三つの「自由教科」であった。また、「自然」を読み解く技術としては、天文学・音楽・幾何学・数式を学ぶ四つの「自由教科」があり、両者あわせて七つの「自由教科」(セブン リベラル アーツ)の研究から欧米の大学はスタートしたのであった。

しかも、ここでは「見えない世界」(オカルト・形而上の世界)の研究の伝統の上に、より具体的な「見える世界」(形而下の世界)をとり上げるといって近代までのさまざまな科学研究が発達した。その中で今日、最も古い大学としてはイタリアのボローニャの大学とフランスのパリ大学が有名である。ついこの間のことであるが、パリ大学のシヨシャル教授は

「人間は誤ってつくられた生物ではないが、誤って教育された生物である」と嘆息した。ということとは、長い間に欧米でも本当の人間探求にも問題が生じた事情がうかがわれる。

これに対して日本では、明治維新以後、欧米の大学の形式だけを取り入れた大学教育が生まれた。とはいえ、日本には古くから縄文以来の「古神道」と、途中から伝来した「仏教」が結合して「神仏習合」というユニークな宗教文化が人間の生き方の根幹として形成された。それは自然や人間が一体化して共生と循環をする日本人の生き方を形成し、さらに「共生・共育・共創」を生み出す「場」の文化を発達させた。

ところが、明治維新後の日本の政治家は日本文化のユニークさがないがしろにして、欧米の文化を受け容れるあり方に偏向して「古神道」をゆがめて、キリスト教のあり方をまねて「国家神道」をつくり上げ、他方では徳川幕府の政治の中で重要な役割をはたしていた「仏教」を弾圧して、「廃仏毀

釈」の形をつくりだしてユニークな「神仏習合」の文化を形骸化させてしまった。この流れは、さらに日本が第2次世界大戦で敗北してから、占領軍の洗脳政策を強制されて実質的には独立して自立した国家とはなり難い「日本国憲法」と、日本人に戦争の罪悪感を植えつける「東京裁判」の押しつけと、その上に日本人の精神文化を崩壊させることを狙った「神道指令」によって、いびつな「国家神道」まで放棄させられた。この結果、日本独特の宗教文化は、単なる習俗として続けだけに止まり、日本人の生き方の根本を確立できない現象がどれだけ出現したことが。

とはいえ、日本人の生きている風土のおかげと、日本人の中に古くから受けつがれている多様なDNAと、身土不二の日本食を食べ、古くから日本人の中に受けつがれて多彩に発達してきたハイコンテキストの日本語を日本人が使っている限り、日本人は独特の思考形式を持ち、日本人が形成してきたいわば素質ともいふべきものは、いぜんとして日本人の中に存在し続けてきた。このことよって、

日本は色々なハンディキャップを背負いながらも経済的には驚異的な発達をとげた。



私は長年、人間の能力開発の問題を探究してきた。その過程の中で、私は学習とは何か、教育とは何かを伝統的な見方、考え方にとらわれることなくとらえようとして、人間の可能性は結局、人間の中に働く生命力の発動の問題として、人間とは何か、人間の生き方とはいかなるものかを、探究することから人間の能力開発をとらえようとしてきた。

この探究は、当初、脳生理や催眠をはじめとして、人間の意識とは何かという問題と結びついてな

された。その中で重要なテーマは、人間の自立のあり方を問うことであつた。たとえば、催眠は他者に暗示をかけてもらって、自分の問題を解決しようとして、人間の依存心を生み出し、他方では、暗示をかける人が他者を支配するという傾向を生み出すことで、人間の自立のあり方を阻害することに気がついた。それだけではない。人間の深層意識が、人間の生理・行動を支配する傾向を知り、しかも人間は、自分の存在する社会的あるいは自然的条件の中で、いつも、何かによって洗脳される傾向にあり、そこで得られる「思いこみ」の中で、多くの人が生きていることが明らかになつた。

このことは、この「自分」とは一体何か。何に対して「自分」という言葉を使うのか。その「自分」は、何をしているのか。このような「自分」への問いかけこそは、人間の特質であるだけでなく、問いかけて生み出す意識の本質、秘密とは何か、をもっと深く知りたいたいと思うようになった。このような探求は、いつのまにか、人間の存在の意味、人間の生き方と世の

中の根本構図との関係を知りたいと思うようになり、そのことが、私に「仏教」、とりわけ「般若心経」への関心呼び起こすことになった。そこに仏陀の深い洞察力と智慧を見出さざるを得なかったからである。

このことは、現実の問題として私自身が人生の難問に直面しただけでなく、私に多くの人が、常識では解決できそうもない色々な難問の解決の相談をもちこんできたことと無関係ではない。そして、私たちがこのようになることを、仏陀は、私たちの「無明」によって私たちが「苦」の存在とならざるを得ないことに由来すると解き明かされた。

「無明」とは、私たちが「自分」を知らずそのために「自分」の中に働くこの世の根本理法がわからずそのような「無知」にも気がつかない私たちの意識の未成熟さという。

仏陀は、この世の根本構図を「縁起」と「空」の二つの視点からとらえることを示された。「縁起」とは、この世の現象が多くの変動す

る「縁」の和合によって生成・消滅することを行い、この世の根本構図を、具体的・現象的な視点からとらえる認識を示す。これに対して、「空」とは、この世の根本構図を「縁起」を超える抽象的・本質的視点からとらえる認識を示す。私たちの存在する現実を、この両方の視点からとらえることによって、この世の根本構図を仏陀は明らかにされたのである。

「縁起」と「空」の関係をたとえれば、「空」は大きな川の流れを示し、「縁起」はその川の流れの中で、多数の泡が生成・消滅することに相当する。この「縁起」という現象として出現する個々の泡は、大きな川の流れ全体からみれば皆一つにつながって個々の泡としては存在しない。このように見ることができれば、「空」自体の中には「縁起」上の現象は存在せず、「縁起」上生ずる「苦」も存在しない。

そして「縁起」も「空」を基盤として成立することがわかる。私たちにこのような可能性を自覚させ、私たちの意識を成熟した状況にもたらず智慧として佛教は「般若心経」において「般若波羅密多」

と称する「呪」（ことだま）の実践を説いている。このことを「般若心経」の叙述に素直に従った実践によって体験することができれば私たちにとってこの世に出現するすべての問題は、本来解決を求めていて、これらの問題を通して私たちは人間として進歩する道を歩むことができるという認識に到達する。

ここで必要なことは「般若心経」の叙述にできるだけ素直になつて接してその主題と構成を捉えることと私たちの中に働く意識についての「サイ科学的」理解である。けれども、これまで日本中に示された「般若心経」の理解は、残念ながら「般若心経」を尊重せず勝手な「思い込み」でなされているものばかりで「サイ科学的」理解にもあまりにも無知過ぎるものが多かった。私たちの意識についての「サイ科学的」な理解については今日では世界の医療のトップジャーナリストとして著名なリン・マクタガードが「フィールド・響きあう生命・意識・宇宙」（インターシフト）において「量子真空」の問題として「ゼロポイントフィ

ールド」の研究を紹介していることに注目することができる。

この実践的な探究によって私たちは「自分」と称する存在が量子的レベルから原始生命体・一片の生きた細胞・脳細胞・そして個としての肉体的な存在を超えて、この世のすべてと一つになり得るいわば全宇宙的な全体的な「自分」にまで認識を広げ、深めることができる。そして「縁起」と「空」の関係は、この世の全存在において色々なレベルにおいて「自己相似的」（フラクタル）な関係として捉えることができる。このような認識に至れば、私たちは「なぜ、人を殺してはいけないのか」「なぜ、盗んではいけないのか」「なぜ、嘘をついてはいけないのか」という問題に対しても深く解き明かすことができる。このような認識は私たちが、この世で何をしているのかも深く捉えることができる。

とはいえ現実の私たち日本人はたいてい今のところ「自分」とは何かについて十分な自覚をしていないとはいえない。そのため「縁起」上の個としての「自分」を「自分

と見る「思い込み」から開放されていない。その当然の帰結として私たちは「エゴイズム」に支配され、敗戦以後二十有余年を経過する間に日本人としての「自分」の生き方を自覚していない状況にある。そして日本人の「素質」を維持しながらも、日本人としては劣化した状況にあり「縁起」上の注目すべき「縁」である「マネー」に依存し、「マネー」に支配される人生を送っている。

しかしこのことは何も日本に特有の現象ではなく、今日地球上の全体に見られる。この状況はるか昔からこの地球上において「マネー」という便利なものを中心に置いたシステムを構築して、このシステムの中にできるだけ多くの人を参加させて、この世を支配しようとしてきた国際金融資本の画策によって生み出された。

私たちが今日この地球上に築き上げてきた文明は、一方ではこの地球自然の恩恵にあやかりながら、他方ではこの地球自然を食いつぶし、そこから多くの盗みをしながら、それを地球自然に返すことなく続けてきた文明でありしかもこ

の文明をこのまま維持し発展させることはそのことよって文明の基盤を破壊し、やがて文明のありかたを崩壊させかねないという自己矛盾の活動を続けしかもその中核にマネーを中心にしたシステムよって地球全体を支配しようとする国際金融資本の活動を無視することはできない。

またこの世の人間のあり方を探究する哲学・思想は象徴的には近代の欧米において「自由・平等・友愛」という理念を生み出したが、人類が「自己探究」を深めない限り「エゴイズム」の支配よって「自由」と「平等」は対立する傾向を招き、社会体制的には「自由」を象徴する「資本主義体制」と「平等」を象徴する「社会主義体制」の対立を地球上に生み出した。

しかしながら現実の問題としては「ロシア革命」よって象徴的に生み出された「社会主義体制」は国際金融資本の援助があつて実現したものであり、地球上における「資本主義」と「社会主義」の対立の構図は国際金融資本の地球支配の両建て戦略にほかならない。この全体の傾向は結局、仏陀の眼

から見れば私たちが「自分」を知らず「エゴイズム」に支配される限り「縁起」に依存し「縁起」に支配される傾向として、私たち人間のあり方が、今だに「苦」から解放されないという状況を生み出していることになる。

もし私たちがこの問題を解決しようとするれば、私たちは「自分」を知り私たちを生かす自然と一体化し共生・循環のあり方を構築する必要がある。それには日本人の生き方の可能性が、日本だけでなく地球全体の問題を解決する基盤となることを自覚することが望ましい。日本人が昔から実現していた「神仏習合」の生き方を既に分析した佛教の本格的な理解をベースとして、もう一度構築し直し、その中で私たちの新しい文明を作り上げる根本問題として、地球・自然を食いつぶすことなく、自然と共生・循環できる「自然エネルギー」の活用を図ることが望ましい。その点で既に紹介した「ゼロポインタフィールド」のエネルギーの活用を自覚しているスチーブン・グリア博士の「UFOテクノロジー 隠蔽工作」(めるくまー社)に私

たちは注目することがができる。

☆ ☆

今回は般若心経を基本に広く日本人の生き方を説いて頂いた。日本人の特質に想いをいたし、充実した人生を送りたいものである。

当日の参加者は会員14名、非会員19名、合計33名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話番号0797・22・6425)まで。

今後の予定

7月16日(土) 高尾征治氏「オリジナルデザイン」の正32面体図象に潜む驚異の浄化パワー 日本各地を巡る『みろく』奉納紀行に学ぶー

9月17日(土) 井出 治氏「未知エネルギー」の研究とチャネリング」
10月15日(土) 阿久津 淳氏「20

12年問題とサイ科学的進化」
『PSI Scientific Evolution & 2012』

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

(2) この時のD2は3.82以下になる。また、(3) 指尖脈波のカオス解析からは、交感神経並びに副交感神経が、同時に、次第に増加している。しかし通常人(非訓練者)の場合には、リズムは無く、D2はより大であり、(3)に見られる様な変化は存在しない。なお、以上のD2は、別に、相関次元とも言い、カオスを生み出すに必要な変数(雑音)の数を意味している。また(3)は、集中とリラクセスを同時に進行させる事を意味している。D2の減少傾向は、雑念の数(変数)を減少させる事により意識を集中させ、そして次第に零意識に近づける。リズム変動後の、次のD2の増加は、無意識から来る変数(雑音)の増加を意味するのであろう。また、通常人も訓練すれば(1)~(3)を得る事ができる事が判っている。

5) 未知現象の発生日

念写の発生には零場が必要である。その条件として(1)既存のサイ情報(素粒子群)が残在していない更地(さらち)の場の局所。これは「無」や「零」を意味しているので、新たに、様々な素粒子群(例えば、PSI-spinペア等)が参入・存在し得る。(2)零場の中の零点を境にして、どんな現象でも産出・変換し得る。例えば右旋回と左旋回、拡大と縮小、(+)方向と(-)方向、実と虚、現世と来世、精神と物質、その他。これを、念写の場合でいうと、様々な画像(人物、風景、建築物等)や色彩、書や数字等(サイ情報)への気エネルギーの変換と生起を意味する。具体的な一例として、零場を造る場合を検討する。例えば(+100) + (-100) = 0。単なる数字でなく、要素がぶつかり合う実態の有る場合を想定する。つまり、これに実体の(+10) + (-10) = 0等を追加して、

$$(+10) + (+100) + (-10) + (-100) = 0$$

$$\dots \dots \dots (1)$$

これより、零には多種多様な場合(内容)の有る事が判る。いま(+100)を電子、(-100)を陽電子とし、(+10)を陽の微細粒子((+)オーラ等)、(-10)を陰の微細粒子((-)オーラ)とする。式(1)を書換えてベクトル表示する。電子のベクトル(↑)を(+)とする。この電子

には「反対方向のベクトルの(-)微細粒子(↓)」。此と対になる陽電子(↓)には「微細粒子ベクトル(+)の(↑)」が組み合されている(例、超心理学研究、13-1、pp.8-17、参照)。これらの素粒子を加算させる事により、より安定な状態の素粒子群が形成される事になり、これらの集団を特定な素粒子群(サイ情報、外気)と仮称する。気が集積している場所、つまり「気場」では低線量放射線(ガンマー線)の高い値、通常は0.035~0.045 μ Sv/hr程度なのに、0.09~0.12 μ Sv/hrもの値が測定されている。

量子論によると、ガンマー線等の高エネルギーをミクロの真空中に放射すると、電子と陽電子が対発生してくる、と言う理由から(断層付近の)気場では電子の反粒子としての陽電子の存在する確率が高く、これが未知現象の起こり易さに関係してくる。この陽電子が空気中の電子と作用し合って安定なスピン対になり、此に零意識形成時に生体から放出される極微細粒子(エーテル層、アストラル層等)等と作用して、さらにより安定なPSI-pair群集団を形成する事になる(例、式1)と考えている。なお気場以外でもバック・グラウンドとしての上記の低線量放射線は存在しており、これが式(1)のそれぞれに相当する部分を担当する事になる。このサイ情報(外気)がスカラー波(零の粗密波)を搬送波にして、チャクラ等から放射された微細素粒子群(サイ情報、PSI-spinペア群)と連絡し、共振(共鳴)して、未知現象が生起するのであろう。

零場を形成させる手法は、気(サイ)のカオス・アトラクターが描く軌跡の密度増大に基づく消失(干渉相互作用による消失、窓、空白部、零)を用いる。他方、スカラー波の周波数成分は様々であり、スカラー波は対流や相互作用のある場所・場合に生成し、(+)と(-)が互いに打ち消し合って零となり、粗密波(縦波)として存在する事になる、と判断している。

3) 暗箱内に湧出した光

宮内力、福田豊らはサイ能力者（超能力者、MK）を対象にして、1975年1月～1976年9月の1.8年間、322回にわたって実験を実施した（念写・念電現象の物理学的研究、1977、念写協会）。光センサーにはフォトセル（太陽電池）、記録にはペン・レコーダーを用いているが、現象の有無を主目的にしたので記録は短時間（1秒以内）が多く、実験成功率は約50%であった。さらにポラロイド・フィルムに念写像が写る事とペン・レコが同時に動く事から、暗箱内に量子光が湧出している。フォトセルの一個を閉（黒ビニールで包み込む）、一個を開（通常）にした実験から、暗箱内で光が湧出する事実、そして湧き出した後の光は、影を造る通常の光である事等を確かめた。

一方、暗室内での実験において、放心状態（うつら、うつら寝る）の時、ペンレコの（+）方向微小振動の中に（-）方向の変動が現れた。つまり、フォトセルに負（-）方向出力が現れる様になった。これらが端緒となり、逆方向にも光を湧出させる事が出来るようになった。宮内らは、別に、ポラロイド・フィルム「写れ」、ペンレコ「等閑視」の時は、ポラロイドのみに像が出た（光の湧き出し）が、ペンレコは動かない。これの逆も可能であった。なお2個のフォトセルの受光面を腹合わせにして黒ビニールテープで包み込み、室内光でテストした時、片方に正、片方に負の電流が生じている。

これらから判断して宮内らは能力者の注意の範囲内に対象物が入った時にのみ、サイ「気」が存在させられる（光湧き出し）空間が成立する、と判断した。筆者らのほぼ同種類の実験の場合にも、フォトセルの順方向ならびに逆方向起電力の発生、ネガおよびポジ像の念写像の生起等、並びに暗箱内に指向性の極めて強い光が存在している実験結果を得ている。それらは、気が素粒子群類似で、コヒーレンシーの強い光である事に関係するのであろう、と考えている。

他方、能力者は、はじめは「写れー」と強く、大きく、気合いをかけて統一送念したが、慣れると、腹気合いで、ただ「うん」と呼吸・送念するだけでテストが出来る様になった。

以上の研究結果から、ごく短時間に集中して気を放出している事情からみて、パルス状に湧出させた光は、素粒子群類似で、位相の揃った状態（例、PSI-pair）で、被験者の意念（ASC）に指示されて、出現してくるものと考えている。

4) 念球発生と意識変化

佐々木茂美、小川雄二、苗鉄軍ら（1978～2010）はフォトセル（太陽電池）とデジタルメモリ（メモリースコープ）、カオス解析装置等を用いて暗箱内に発生した念球（光子群）の発生、諸変化、性質等を調べた。念球（光子群）はゆらぎを伴っており、複雑系としてのカオス解析を実施することによって、その性質を知る事が出来る。念球（光子群）のカオス・アトラクターはレスラー系の低次元決定論的なカオスとして表示されており、アトラクターのフラクタル次元D2は、 $D2=1.94\sim 2.25$ であった。

急速でしかも大量に気（サイ）を放出し、未知現象を出現させる為には、呼吸をコントロールする等の手法を用いて（自律神経変化）リラックス集中の状態、つまり知性や理性を薄めて変性意識状態（ASC）になり、そして強く意念する事が前提条件になる。具体的には、雑念を取り去り、集中を強めて意識と無意識を拮抗・対峙させて零意識（未知現象生起時のASC）にするとよい。

気（サイ）を放出させる為の音声的、意識的な条件設定の一例をみる。体内の背骨付近に中脈と言われる気の通路がある。その上に7個（体内は6つ）の脈輪（チャクラ、気エネルギー・センター）があり、体内の気の調和を果たしている。例えば、「六字真言」等、「オン」「マ」「ニ」「ペ」「メ」「ホン」等を発声し、その音声の振動を体のチャクラへ響かせて共鳴を起こす。励起させた共鳴振動は各チャクラの振動となり（固有なカオスの振動数）、これが発生源となり、体の内外に拡散して、気エネルギーの波動となる。訓練上達者の実験結果をみると、六字の音声の順番①-②-③-④-⑤-⑥に対応して、(1)フラクタル次元D2は、 \downarrow 小- \uparrow 大- \downarrow 小- \uparrow 大- \downarrow 小- \uparrow 大、という様に、交互にリズムを伴って変化している。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

念写像の形成過程の分析

佐々木 茂美 苗 鉄軍

1) はしがき

意識と体外にある物質とが、直接、相互作用し合う現象をPK(念力)という。別報では、通常現象に上乗せしてサイ現象を生起させる場合(メタル・バンド、念写)を取扱った。本報は、体外の局所に零場(零点)を作り、そこに未知現象を生起させる場合(例、念写、Thoughtography)について、検討することにした。

2) 気功師の実験

「気功」は主として身体(体内)の医学的な現象を取扱っており、「サイ科学(特異機能)」は精神的並びに体外の現象を取扱っている。しかし、基礎的な部分では共通性が多いと言えよう。中国では、林厚省師の気功治療中の「手の平」から変動リズムのある赤外線放出が、顧函森によって測定された(1977)。これが「気(サイ)」実験・科学研究の発端となり、中国や日本で実験が開始された。例えば、町好雄らはサーモグラフィーを用いて気功師と相手との間の「気」の相互作用を、画像によって可視化している(気を科学する、東京電機大出版、1993)。研究によると、触れずに、気功師の手の熱(血液流)が相手に伝達される傾向がある。経穴(ツボ)には血管や神経が無いのに、相手方の経穴部の皮膚がより敏感に反応して、高温になっている。放出される赤外線は極微弱な60~70 μ Watt程度であり、これ

が搬送波となって1.2Hz程度の気のシグナルと考えられる情報を上乗せしている。また外気放出時には1~5Hzの音も出ている、これは恐らく、血液が血管内を流れる時に、低周波音を生起させた為であろう、と言う。「気」放出へのスイッチは呼吸であり、気功師は呼吸を制御して、自律神経に働きかけている。一方、(-)方向変化(温度低下)の場合があり、さらに静電気や微弱な磁気を生起させる事も出来る等と報告している。この実験・観測結果の理由として、気は素粒子類似のエネルギーであり、皮膚や経穴(ツボ)を介して相手に伝達されたのでであろうと推定している。

河野貴美子らは気功師と相手の脳波を測定している(例、仲里誠毅、気の科学、ナツメ社、2010)。気功を始めると、 α 波が脳全体に広がるが、気功師の脳波は一般人よりも小さい。これは静気功の場合であり、知性や理性を薄める事に関係しているのでであろう、と筆者らは考えている。右脳で気をコントロールしているが、特に自律神経にかかわる前頭葉部分が活発化している。また気功師と相手の気功中の心拍数、血圧、脳波が同調・変動している、等と報告している。これらとほぼ同一傾向の結果を、筆者らも得ている。さらに、硬気功(武術)や念力(PK)として外気を放出する時には呼吸、心拍数、血圧も高まり、脳波の α 波も局部的に大になるのでであろう、と判断している。



サイジャーナル

月刊
23-9・10
第399号

日本サイ科学会 平成23年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|--|--|--|--|

九月本部例会のお知らせ

『3・11新文明の幕開け』
～日本人の使命～

講師 鈴木 俊輔氏

先の3・11、東日本大震災は未曾有の大災害であります。しかしこの天譴ともいえる大災害が何ゆえに日本に起こったのでしょうか？ 整然と一〇〇人以上も列を成して食料を求める被災者の姿に、海外のメディアは瞠目しました。略奪・暴動もないその秩序だった日本人のその姿に世界中が唖然としたのです。そして全ての日本人が今、「自分さえよければいい」という、これまでのワレよしの姿は払拭され、一億三千万の愛念意識が被災地一点へと集中しました。はつきりいって、新文明の幕開けなのです。日本人の偉大な意識が覚醒して、その内なるところから、外側の世界は創られます。大きな和とかいてヤマトと読ませる、その日本人の使命について古神道・言霊からの観点も含めて再認識したいと思えます。

昨年度までサトルエネルギー学会の事務局長をされていて、この分野に知識の深い鈴木氏の御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●鈴木俊輔氏のプロフィール

東京生まれ。芝浦工業大学大学院修了工学修士。日産自動車中央研究所時代には金属合金設計、セラミックス物性、触媒の研究に従事。ついで多機能金属触媒「バイオカルム」を開発(日本表面処理学会柴田賞受賞)。

1996年、(有)テクノクエスト代表取締役社長。バイオカルムの応用研究と音響技術をはじめとする技術コンサルタントとして現在に至る。環境計量士・一級建築施工管理技師・騒音公害防止管理者でありこれまでの発明特許は1000件を超える。独自の水の研究、波動装置の研究という科学技術屋である同時に古神道・言霊の研究者でもある。近著に「サトルエネルギーのお話」(静岡出版)、「ことだまの科学」(明窓出版)がある。

日時 平成23年9月10日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 事務局からのお知らせ
- ◎ 関西サイ科学会九月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会十月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 日本サイ科学会創立35周年記念大会のお知らせとプログラム
- ◎ 十一月本部例会予告
- ◎ 第5回UFO・オーブシンポジウム報告
- ◎ 二月本部例会報告
- ◎ 五月本部例会報告
- ◎ 第三五七回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会秋の大会
- ◎ 未知能力・現象の出現状況(1)

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/15受領分まで)

金一千元 小牧昭一郎様
金一千元 信太 民久様

◎事務局からのお知らせと
お願い

☆本部例会や大会等での運営ボラ
ンティア募集中

受付での資料配付、講演者スラ
イド発表時の電灯操作、コンピュ
ータ操作などのお手伝いをしてい
ただけませんか。当日の参加費が
無料になります。

●左記にご連絡願います。
office21@psij.mail-box.ne.jp



関西日本サイ科学会
九月例会のお知らせ

「未知エネルギーの研究と
チャネリング」

講師 井出 治氏

日時 平成23年9月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
十月例会のお知らせ

「2012年問題と
サイ科学的進化」

Scientific Evolution & 2012

講師 阿久津 淳氏

日時 平成23年10月15日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

会員三名の研究・体験発表

日時 平成23年9月10日(土)

午後1時半～5時

会場 つるまい会館2F

名古屋市千種区吹上1・1・3

052・744・3884

交通 JR中央線鶴舞駅、または
地下鉄鶴舞駅下車、名大病

院北イオン千種店前

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

十一月本部例会予告

心霊現象について

講師 小林 信正氏

今年の三月十一日、東日本では
未曾有の大災害がありました。い
ま日本のみならず世界各地で異常
気象による津波、猛暑、干ばつ、
台風、洪水等々の自然災害に見舞
われています。さらに原発事故は
言うに及ばず、環境汚染や自然破
壊などの影響で私たちの住む地球
環境は急速に悪化し、生命の危機
に晒されています。これは人為的
災害であり、まさに人類が自らの
手で自分の首を絞めるような行為
といえましょう。

一方、政治の混乱、経済の破綻、
教育の荒廃、モラルの低下、家庭
の崩壊など混沌の一途を辿ってい
ます。さらに凶悪犯罪は激増し、
毎年自殺者も三万人を超えている
現状です。

いまは改革、激動の時代といわ
れ、旧来の価値観が打破され、新
しい価値観へと変革する陣痛の時
←(4頁に続く)

★日本サイ科学会 創立35周年記念大会★
(特別協賛：サトルエネルギー学会)

大会趣旨：日本サイ科学会は1995年に分科会のサイ実測研究会が、中国元極学の張志詳会長を日本に招いて東京や長野県で講演会を催したときに、長野県の長谷村（現在伊那市に合併）にある分杭峠が元極学の基地に匹敵するパワースポットであるという「お墨付き」をいただいたことがきっかけで、現在日本でも有数のパワースポットとして分杭峠に多くの人々が訪れております。

そのことも含めまして、パワースポットの現状や科学的な立場で検討するシンポジウムをプログラムのメインテーマに致しました。

(日時) 2011年10月9日(日) 10:00～16:45

(会場) 北とぴあ7階第2研修室

(交通) J R京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端（赤羽寄り）の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※上記会員はサトルエネルギー学会会員も含む

<プログラム> (敬称略)

- 9:30 開場
- 10:00 - 10:10 開会の言葉
- 10:10 - 11:10 特別講演 苗 鉄軍
「生体複雑性に基づいたパワースポットの評価法」
- 11:10 - 12:10 特別講演 佐々木 茂美
「未知能力・現象の出現状況(願い事を叶える科学)」
- 12:10 - 13:20 昼休み
- 13:20 - 16:40 シンポジウム テーマ 「パワースポット」
大会委員長 小牧昭一郎
パネラー発表 久保田昌治 鯉江勇 苗鉄軍 佐々木茂美 小牧昭一郎
(途中休憩15分)

<パネルディスカッション>

- 16:40 - 16:45 閉会の言葉
- 17:30～ 懇親会(参加当日申し込み)

なのかもしれません。それは2012年問題の「アセンション」といわれる次元上昇と符合するものなのでしょうか。

明日が見えない現代、私たちは何を指針に生きてらよいのでしょうか。

人は必ず死ぬ運命にあります。死んだら肉体は灰となり一貫の終わりと考えるか、肉体という衣を脱ぎ捨て霊魂は存続してあの世へ旅立つと考えるか。

「霊魂とは？ 死後の存続とは？ 輪廻転生とは？ 現世の意味とは？」

この問題は有史以来、洋の東西を問わず、文化、宗教、哲学上でさまざまに論じられてきました。この人生最大の命題を解くカギが、いまや宗教や哲学でなく心霊現象の研究にあるのです。

さまざまな心霊現象の映像を試写しながら解説を行い、そこから何を学びとるか、皆さんとご一緒に考えてみたいと思います。

東京キーン局で長年心霊関係も含めた多くの番組を制作されたプロデューサーの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘い

して、是非ご参加ください。

●小林信正氏のプロフィール

日本サイ科学会理事。

(財)日本心霊科学協会常任理事。

JMC相談役。

東京生まれ。旧東京写真大学(現東京工芸大学)技術科、慶應義塾大学哲学科心理学専攻。フジテレビでは主に番組の企画制作に従事し、ドラマ、ワイドショー、ドキュメンタリー、バラエティーなどでディレクター、チーフプロデューサー、制作部長を務める。大阪万博、筑波科学万博などの企画にも携わり、現在は「オーブ」や「特異能力」の研究に努めている。

日時 平成23年11月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第5回 UFO・オーブ シンポジウム報告 (第13回宇宙生命研究分科会)

平成23年7月31日(日)午前・午後とかけて、品川健康センター会議室で開催。緊急来日されたトロール・トフテネス助監督による解説付きで「ザ・デイ・ビフォア・デイスクロージャー」の上映も行われた。参加者の投票から第5回UFO・オーブ賞は井出治氏が受賞され、また異能分野の優れた研究者に贈られる第3回マジナル・サイエンス賞はトロール・トフテネス氏に決定！ 以下は講演内容である。

アカイ☆コウジ(キャスター)「エリア5反田から」

川崎利男(川崎オーブ研究所)「2011年前半オーブ総括―福島

原発・セシウムオーブ研究中―

井出 治(クリーンエネルギー研究所所長)「脱原発と第三起電力」

岩崎士郎(反重力研究者)「USO

800と反重力」

宮内輝幸(医師)「スキニーボブの

真贋」ほか

二月本部例会報告

世紀末的神示と予言の 陰陽道的思考

講師 石川 和孝氏

実は陰陽道(おんみょうどう)というのは元々日本の独特の体系なのです。平安期の天武天皇の時代にできたものです。天武天皇というのは、謎の人物なのです。おそらく日本の人ではありません。大陸から渡って来た人が天智天皇の跡を継いで天武天皇になったと思



われます。

何故かというと、天武天皇の時代に大陸的な文化を大いに取り入れて、いろいろな形造りが行われたのです。たとえば伊勢神宮の20年ごとに行われる遷宮の制度(次回は2012年)は、天武天皇の時代から始まっております。遷宮はなぜ20年ごとに行われるのかということに関して、ある科学的根拠に基づいてやっているのです。

陰陽道というのは天文学であり、気象学であって、いろいろなデータを集めてから、官庁の立場で暦を作ったり占いをしていました。ですから陰陽師(おんみょうじ)というのは、古代日本の官職の一つなのです。

陰陽道というと安倍晴明が有名ですが、呪術家として悪霊と戦う話がでてきますが、実際にそういう事ではなくて、天文学博士の立場だったのです。平安時代というのは世の中が不安定期に入り、京都という所は、特殊なエネルギーをもった土地なので、いろいろな現象が起こり、安倍晴明が亡くなった後、「今昔物語」や「宇治拾遺物語」で神秘化され脚色されて、神秘的な逸話が作られたのです。

ただ宇宙の運行と人間の身体というのは非常に関係があります。現在地球は、温暖化していると言われていますが、今年の冬は暖冬でしょうか、みなさん! 違わないでしょう。だって去年までの数年間太陽の黒点が一度も観測されない日が異常に増えているんですよ。黒点が増えないということは、太陽活動が非常に低下しているということを表しています。ただその効果が地球全体に現れるのは3年後から6年後くらいタイムラグがあります。



太陽エネルギーが非常に低下すると、地球の内部のマントルが膨張してマグマが上昇してきて、地熱は熱くなり、温度が上がった海水も上がってきますが、上空は冷

えているので、雨や雪が多くなり、今年大雪が降ったのもその影響でしょう。

2011年は辛卯(かのと・う)の年ですが、辛は陰陽五行での「木・火・土・金・水」の金(かね)の年となり、金は鉱物も表しますから、火山の噴火や地震も増えます。これが陰陽道的な予測であり、こういうふうな現象が起こるだろうというふうになるのです。

だから私はいろいろな土地に行つて何をするかというと、その土地がどういうふうな地龍で動いているのかを自分の身体を使って観測をしています。地龍(マグマの流れ)や水龍(地下に流れている伏流水)を診て、判断します。それが私の役目だと思っています。

昔は高压電線の下に住むのは避けていましたが、日本はほとんどん電化されて、現在ではどこにいても高压電流の近くにいるのと同じ状態になっています。家電製品やパソコン、携帯電話に囲まれ、そしてオール電化、電気自動車も普及しようとしています。

我々の身体も電子の流れで成り立っており、自然の中で地龍や水龍も電子の流れですから、その流

れを身体で感じていたわけですからこのまま周囲がほとんどん電化されていくと、身体の電子コントロールが狂ってしまうのです。

オール電化の家なんて怖いですよ。取って自分の家族の話をしますが、私の家内がガンになり、明日にでもしれない命であり、今日私は病院から来ているんですね。実は今の家に移ってから4年半で家内のガンが発病したのですが、実はその家はオール電化なんです。そこは好んで購入したのではないのですが、どうしても仕方なくそこを購入してしまっただけですね。

もちろんオール電化で誰でもガンになるわけではありません。自分で電子コントロールができれば、そういう苦難からはのがれることはできます。昔から仙術等いろいろな行法がありますが、ああいっただものは自然界のエネルギーをコントロールする、すなわち自分の身体の中の電子状態を普通に保てるか、ということだと思います。

よく霊の作用といいますが、そういういったものはないですよ。こう言うと霊能者に恨まれますが、霊の作用で人間の身体がおかしくな

ったり、水子の霊がたたると言いますが、一番最初の經典に先祖の霊とか水子の霊とか書いてありませんよ。ああいうものは商業仏教の脅しのようなものです。昔飢饉があったときは、仕方なく子供を間引いたりすることは一杯あったわけで、その水子達がたたっていたら、今の日本人は皆たたられてしまいますよ。

我々がお経は死者にあげるものだと思っていますが、本当はお経は生きてある人のためのものなのです。自分が生きる上において、どうすれば釈迦牟尼仏が最終的に悟りを開いた境涯に立てるかという道程が書かれています。それを死んだ人にかけてどうなりましか。死んだ人に今から修行しなさいと言っているのと同じなのです。我々が肉体をもって修行できるのは三次元の世界です。

古神道と神道の違いについて、仏教の伝来以前と以後の違いだと言っているの書物には書かれています。ところが、古神道の体系というものはないのです。教典ももちろんないですし、何も示すものがないのです。古神道というのは実は新しいのです。これは国学とし

て生まれたもので、賀茂真淵や本居宣長らの国学者によって体系づけられたもので「復古神道」とも呼ばれています。

古神道というのはむしろ、自然神道^①といってもよく、自然が相手のいわゆる「神ながらの道」のことを本来は仏教以前のもの、神の集まる場所^②杜（もり）が神社であったという考え方です。それ以後のいわゆるお社（やしろ）を造ってどうのこうのとなったのが、今の神道と呼ばれるものです。

特に伊勢神宮は、神明造り^③というものですから、神様しか住めないということになっていますね。ところが神魂神社（かもすじんじや）や出雲大社は、大社造り^④といって、これは玄関^⑤があって、階段があって、上にお社があり、そのご本殿の中には人が住めるように区切られています。

出雲大社の場合もご神座というものがありまして、ご神座にお供え物をするときに必ず箸を備えます。出雲大社の大国主命は実際にいらっしゃった方を神様としてお祀りしていますので。

天照大神をお祀りする伊勢神宮は神明造り^⑥といって、「心の御柱」

というものが立っていて、「心の御柱」の周りに五色の絹の織物が巻かれていて、ここに神が宿れている。ご神体は鏡（八咫鏡：ヤタノカガミ）だと言われていますが、鏡はご神体ではないと思いますね。

遷宮^⑦というのは、太陽というのが移動する神なので、その昔は実際に移動させていたんですね。

「元伊勢」というのが全国あちこちにありますが、現在の伊勢神宮に落ち着くまでに、何度も各地を移動しています。

この太陽信仰というのは全国各地にあつたわけですね。この太陽神の先頭になって祭司を司つたのは巫女です。女性しか神様はおりてこないと考えられていたのです。太古の昔から「日の巫女」つまり「卑弥呼」と呼ばれた方が必ず太陽に向かつて、祭司をされたのです。そのとき太陽の光を自分の身体に集光するのにもちいられたのが鏡です。「御神鏡」と呼ばれるものです。

神社や神棚に鏡があるのは、あれは太陽を反射させて自分に集光させるための道具としてあるのです。ですから必ず神棚というのは、太陽の入ってくる東側か南側を向

いていますね。それは何故かというところ、太陽の光をあ鏡に反射して自分のところにもってくるわけですね。

御神鏡はホームセンターなどでも販売していますから買ってきたら、朝皆さんが太陽を背に向けて、鏡を前にして反射した光を女性の場合は胸で受けます。男性は反射した光をおでこ（眉間）で受け取ります。ここに太陽エネルギーを集光することによって、自分の体の中のエネルギーが非常に強くなります。いわば太陽電池のようなものです。

だから昔からの修法の中で「太陽の印」というのがあって、両手の指で三角形を作り、それを自分の額にあててそこに太陽の光を集光させるのが、男性の古神道の行法の一つです。すべて自然のエネルギーをまず入れることが重要です。

特に日の出と日の入りの太陽光はずごく大きな意味合いがあります。日の出のときのエネルギーはこれから先自分の体を活性化しようとするエネルギーです。逆に日の入りというのはこれから自分の体が陰の方向でエネルギーを蓄えるときです。ですから仕事の場合

は仕方がないにせよ、夜中に身体を激しく活動するのは健康にも精神的にもよくないですね。従って夜中というのは、自分の体のエネルギーが収縮されるので、考え方も非常に陰にこもったものになります。

したがって活力をほしいときは日の出のエネルギーを入れなさいというのが陰陽道の行法の中にもあります。また陰陽道では、死者を生き返らせる方法として、夜中の丑三つ時(午前2〜4時)にその人の生命エネルギーを肉体に戻らせて、日の出のときにもう一度その人を還元させる行法があります。したがって我々陰陽師が依頼を受けて重い病気の方などを回復させようとするときには、この時間帯を使って祈祷します。

祈祷というのは、何も神様や仏様にお願いでどうこうというものではなく、要はエネルギーをいかにしてその相手方に届けてやるかということだけです。そのエネルギーの移動をいかにして時空を超えて相手に届けるかについては、いろいろな技術があります。

我々は病氣回復などの祈祷をするとき、よく相手の髪の毛を戴き

ます。髪の毛に生命エネルギーがまだ残留している場合は、回復する可能性があります。人間の身体も、自然ですから、陰陽道の古い文献をたどると「木・火・土・金・水」と日・月という七つのエネルギーの複合体でできています。その複合体の気もついている生命エネルギーがどこまであるかを診断し行法を行ったり、またその人の寿命が分かれます。

五月本部例会報告

「最新脳科学と透視能力」

講師 赤松 瞳氏

※関西日本サイ科学会の一月研究会
集会報告と重なる所があります。

私は脳科学とか潜在意識とかいわゆる心の中の勉強を10年くらいしてきました。一番最初はこういつた精神世界のことはあまり関心がなかったというか、ちよつと疑問深い人であったんですけれど、

オーストラリアで10年間ほど勉強し、大学院で講師の仕事をしているときに、超能力者を警察で雇って、行方不明者を探し当てたり、遠隔透視をさせたりしているのを実際に見ました。私の大学の先生が犯罪心理学や催眠療法の専門家であり、超感覚的な分野の研究もしており、「ポリス・サイキック」と呼ばれる超感覚的能力を持ちつつ警察で働いている人々を私が現場で最初に見たときはびっくりしました。



こういった目に見えない世界とか私達が物理的に捉えられない以上のもので、私達は心とか脳を通して見ることが出来るのではない

かと思ひまして、そこから大学院レベルで研究対象としてやっていくことが出来ないかということ、いろいろな大学の先生方と集まって、いわゆる俗に言う「超能力」といわれる分野を科学的方面から研究することになりました。そういう意味で私も「前世療法」など、人の過去世を見るお手伝いをしたり、将来を見たり、また瞑想やトランスの状態を通して、真意を自分で見つけていただくための誘導瞑想とか催眠療法を行ってきました。

そして今日ご紹介したいのは、ロシアとウクライナにおける研究です。ロシアとウクライナに関しては、心とか脳とか潜在意識とか超能力などの分野に関する研究がものすごく進んでおります。私も世界中いろいろな国に行ってきたのですが、最近非常に霊的なものに目覚めている大人達が多いですね。前世を記憶している人々や未来を見ることが出来る人々、意識で空中から物を物質化する人々、壁の通り抜けができる人々など、そういった人々に私は実際に会ってインタビューをしたり、研究対象にしたりしました。

今日ご紹介するロシアのM

IHメソッドというのは、脳科学とか精神世界とか超能力研究の大変発達しているロシアが旧ソビエト連邦の時代から、国が巨額のお金をかけて研究を続け、完成した方法です。私がロシアに留学したときに実際に見た人々をご紹介します。例えば、目という感覚を使わずにものを見たりする能力を、医療や障害者教育に応用したりしています。

私達は実際、脳の機能の3%から5%くらいしか使っていないというのを皆さんは聞いたことがありますね。ロシアのモスクワ大学やウクライナのキエフ大学の研究によりますと、いわゆる超能力をもっている人々の脳の活性化度を調べてみますと、我々が使っていない部分の脳を使っていたり、使っている脳の範囲が広いということが分かりました。

そして特殊なトレーニング方法、教育方法を施すと、実際使っていない部分の脳を活性化することで脳の使うキャパシティを上げてあげると10%、20%、50%以上の脳機能を使えることになります。科学者達の研究によりますと、念力や透視能力、予知能力等の超能力

力、超感覚的能力は元々皆さんの脳に備わっていて、誰でも訓練を積めば、それらの能力を発揮することができるといことです。

今からお見せするビデオは、実際システムティックで体系だった教育を施すことで、そういう能力を身に付けることができるのですが、それを障害者教育に応用した例です。

●ビデオ紹介

ビデオ1：2010年1月お正月番組TBS「最新脳科学X最強超能力」

「元障害者(全盲、聴覚障害、身体機能不全など)であるロシア人男性サーシャ・レビット君が紹介される。能力開発を受けた人の例として、サーシャ君は、アイマスクをして日本の取材班がもってきた絵本の内容を説明する。サーシャ君は9歳で能力開発学校へ通う。サーシャ君によると、見えない世界をみようとするときに、まず意識を一点に集中させることで対象物の輪郭や色がぼんやり見え始め、そこにさらにフォーカスをするとう詳細も次第に見えてくる、という。」

科学的に脳の後頭部と中脳をうまくつなげてあげてトレーニングすれば、目を使わずとも物を見れるようになるということが分かっています。実際このトレーニングとか障害者教育センターにおいては、全盲の人にトレーニングを施すことで色を認知したりとか、物の場所が分かるようにしたりとか、文字まで見えるようになったというケースが多々報告されています。つまり目ではなくて、脳のとある一部分を使ってあげると、実際に物理的な目以上のものが見えるようになってくるのですね。

例えば、皆さんも普通に暮らしていて「気配」を感じることがありますよね。ですからこちらのトレーニングにおいては、目の見えないうお子さんにまず感じるという感覚範囲を拡げる練習をさせてあげるんですね。そしてさらに色を感じる練習をさせてあげると、だんだん色が見えるようになってくるのです。さらに脳力開発を続けていくと、物の形とか色を認識出来る以上に、細かい模様が見えて、さらには文字まで見えるようになっていっています。

ですからこのトレーニングを受

けることで、先ほどのビデオのサーシャ君は元々目が見えなかったのですが、だんだんと超感覚的にも見えるようになっていって、さらになおかつ物理的な視力も回復したという例です。

そして次にお見せするビデオではロシアとウクライナにおける授業の風景をお見せします。

ビデオ2：ロシア モスクワの能力開発学校の授業風景

「学校のトレーニングでは、代替視力を育てるために、アイマスクを使って視覚をブロックしている。まずは、脳内視力を育て、脳の後頭部(視覚視野)で見るトレーニングを行う。脳内視力が育った後には、外部視力が発達する。ロシアでは化学的にエクスターナル・ビジョン(external vision)という。(ロシアでいうエクスターナル・ビジョンは、米国でいうリモート・ビューイング[remote viewing]より広範囲の定義で使用されている)。授業では身体を回りのエネルギーを感じる練習をしている。それは、バイオエネルギーフィールド(生体磁場)と呼ばれている。気功

のようなエクササイズをしている。脳内視力を鍛えるために、瞬間記憶（カメラ記憶）(photographic memory)というトレーニングをしている様子やグリッドと呼ばれる方法を学習している。これらのトレーニングをすると脳内の情報処理がはやくなる。この訓練を行うことで未使用の脳が開発され、超感覚的能力が高まるという。デモンストレーションを行っている女生徒は、一目で解剖学の本を見ただけで、その本のページをいとも簡単に読み上げている。夢を見る時や、考える時の脳の解析により、脳科学や医学の根拠に基づいた方法でトレーニングを進めている。」

脳を直接使うことで外のものを見たり認識したりする、いわゆるリモートビューイングとか千里眼と呼ばれる能力は、17歳以下の子供達であれば3ヶ月くらいのトレーニングで100%全員ができるようになるというデータが出ています。科学者達が声を揃えて言うことには、このビデオに出ている子供達はごく普通の子供達であり、トレーニングを受けることでこういった超感覚的な能力が身

についています。もちろん17歳以上の方々でもトレーニングを地道に続けていけば、全員が出来るようになっていけると言われています。

●参加者からの質問

「今の訓練でも目を使わないでものを見るとするのは、脳そのものが受容器官でありかつ処理器官になっているのか、目とは別の感覚器官を通して脳が見ているのでしょうか。」

脳そのものが受信する器官として考えてもいいですし、脳以上にいわゆる私達の魂とか意識そのものが見ているという理論があります。実際こちらの教育機関においては、死後の世界や魂的なものや意識が存在するということを前提に教育方法が進んでおります。

元々物理的な器官の脳というのを見てみますと、赤ちゃんとして生まれたときに、まだ身体は未発達なのでどんだん体の器官、臓器が造られていく過程で、目という臓器も脳が成長して染み出して出てきたものが目になっているんです。ですから目は脳と繋がっており、元々目は脳の一部といえま

す。

私達が赤ちゃんのときは感覚器官がまだ未分化の状態で、まだ全部複合してくっついている状態なので、例えば赤ちゃんに音を聞かせるの色が見えています。ですから子供達が描く絵をいうのは、非常に抽象的で目とか口だけを描いたりしますよね。赤ちゃんのときには感覚器官が複合した状態であるいろいろなことを学んでいます。ですから赤ちゃんに物をあげると、まず触って物を認識しようとすると同時に、においても認識しようとし、同時にいろいろなことを学んでいっています。

そうすることで私達の感覚器官が分化していつて脳が成長していくのですが、ここでのMIHメソッドにおいては、私達が元々赤ちゃんだったときの脳と感覚器官が未分化の状態までもつていつて、そしてその部分からまた発達させていくという練習をするのです。ですからにおいを嗅ぐという器官とか、触るといふ感覚範囲を拡げてあげて、そうすると私達が小さいときに誰でも超感覚的能力が発達していたと思いますが、その部分に戻ってさらにトレーニングを

続けていくと、そういった感覚を戻せるということなんです。

ビデオ3：ドイツのテレビニュースの紹介

「ほとんどの受講者が能力開発に成功している。感覚の範囲が拡がり自分の周囲を360の範囲で認識するようになる。言語能力も向上する。このトレーニングを受けた生徒は大学の成績も良くなる。脳のどのチャネルを使っているかの研究を行っている。開発には霊的なメッセージも受けており、チベット密教の聖者の協力もある。人類のバックアップがあつて開発されている。」

大人でも習得可能である。17歳以下なら100%向上する。80代でも本人の継続の努力があれば可能である。

今は初歩的研究である。いずれ材料工学とタイアップして材料の開発とか人体内部の研究など応用範囲は広い。

目隠しして合気道を行うこともある。本物の剣での試合も行っている。」

●赤松氏による透視実験

実験に先立って、目を覆うアイマスクを多くの会場参加者に穴などないか点検してもらい、赤松氏が部屋の外に出た後、長机の上に参加者から提供された物品20点をきれいに並べてから、赤松氏にアイマスクをして部屋に入っていた。

出題品は、扇子、リップスティック、双眼鏡、カロリーメイト、櫛、キーホルダー、定期ホルダー、パワーストーン、手帳、本、五千円札、お守り、写真等。

赤松氏は右手を上げて、アンテナのように前にかざしながら、端から一つ一つ見える物の特徴を述べながら、参加者が目で見ても何か分かる物は、それぞれの物の名を具体的に当てました。参加者から見ても何かよく分からない物はその見える形や質感の特徴をかなり詳細に述べました。定期券の持ち主の小さい文字での名前と電話番号まで読み上げたのは驚きでした。

透視実験が大成で終わった後、参加者から「どういうふうに見えるのか」という質問に対して、「集中力を要しますが、一つずつ顕微

鏡で焦点を合わせるようにして、だんだん詳細が見えてくる」ということでした。赤松氏は数年の訓練でこの能力を身につけたということです。



私はまだインスタラクターになって経験は浅いほうですが、私の先生方とかM I Hメソッドの第3段階目の授業を卒業した方は、例えばアイマスクをつけたままで、本棚にある本を直接手にふれず一字一句、すべての内容を読むことができません。それくらいの集中力とかフォーカス力とか脳のトレーニングを受けると、間違わずに全部見えるようになるんですね。

ですからリモートビューアーがいたら、書類の文章も読めますし、もっとトレーニングを積むと、物質の分子構造、原子構造、さらに素粒子の世界まで見えるように

なります。透視のエキスパートの方々が、例えばキエフ大学の材料工学科で雇われて、物質の分子構造を透視することで新しい材料を作り上げることに取り組んだり、さらに空気中の分子構造に意識的に働きかけて、空のコップの中に水を出現させたりすることもできます。

普通の化学の実験で、原子の配列や分子の配列を熱や力を加えたり化合することで変えて、新しい物質ができたりしますが、私達の意識も実はエネルギーなんです。ですから意識というもののエネルギーの使い方を学ぶとちよつとだけ押すことで念力、スプーン曲げが可能になったり、新しい物質を意識的に作ることも出来るようになるのです。

ビデオ4：ウクライナの障害者教育センター（IAHDセンター）

「元米大統領クリントンとヒラリー夫人がウクライナ障害者教育センターを訪問した際のビデオ。ウクライナ国内の代替医療の状況を説明している。

センターにおいては、脳性麻痺の方々の回復実例、眼球のない方

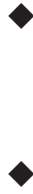
が代替視力(BV)を得て本を読むことができるようになった実例などが紹介された。

アメリカの超能力の研究は、軍事的が主であるが、ロシアやウクライナは社会福祉とか障害者補助とか、医学への応用が大事である。米大統領が、創始者の先生らに米国での市民権の移動も含め開発提案があったが、ウクライナ側は断っている。米国の軍事仕様であったリモートビューイング(スターゲートプログラム)ももともとロシアの超能力プログラムを基礎にしてスタートしたものである。

ウクライナ障害者教育センターにおいては、もともと人が持っている自然回復能力を向上させるために、氣の流れをよくするエクササイズを紹介している。回復実例が紹介された。：脳性麻痺で手足の不自由な子供たちが元気に歩いたり走ったりしている様子、糖尿病の大人や子供の回復、全盲の子供たちが見えるようになり周囲の人物の着衣を当てる、耳の聞こえない子供たちが聞こえるようになる、など。

氣の流れを整え、能力開発を施し、心身の回復がなされるだけで

はなく、結果的に大人も子供も超能力を習得した様子があるが、なぜこういうすごい教育方法が今まで日本とか英語圏に伝わらなかったのでしょうか。実は米国からもこのメソッドを開発した先生方を招聘して、教育センターを建て、病院も造って、米国民民として遇すお話もあったのですが、先生方がその意図を透視したところ、軍事や戦争の方向に使うことが見えたので、お断りすることになったのです。



第三百五十七回関西日本サイ科学会研究集会報告

「誰でもできる」

一日でできる気の活用」

講師 芳野 武人氏

とき 平成23年4月9日(土)
ところ 大阪科学技術センター

芳野氏経歴

TY(とつてもよいもの)ネットワーククラブ主宰。上海中医薬大学認定漢方診断士。中医薬養生指導士。エゴスキュー・ジャパン認定セラピスト。バンクシア・フィットネス(THD)講師。人呼んで気の達人。



気全般について

気とは何か。気の付く言葉を考える。

中国では? インドでは?
ハワイでは? アメリカでは?
気の特質・形で動く、言葉で動く、意識で動く
などのお話と、気の活用技術を実践して頂いた。

「気」を扱うにはコツがある。それは

1. 「気」の性質(特質)を知ること。
・ ・ ・ 見えなくても性質がある。
2. 同じ方向性を目指す仲間を作ること。
・ ・ ・ 同じ方向を持った仲間と一緒にやると、ひとつのエネルギーの場ができる。シンクロニシティ(共時性)と気づきが高まる。
3. 時代が「気」を認識したことに気づくこと。気が使える時代になり、気は市民権を得た。気の世界では100匹目の猿現象は始まっている。以前できなかったことが簡単にできるようになった。
4. 楽しみながらやること。ワイワイ楽しくやると高い気とパツとつながる。

これらを認識して、練習をしていくと1日で「気」が扱えるようになり、1ヶ月も経つと気の使い手になる。

ここで先生の指導により全員実技を行う。

両手を身体の前に出し、両手の爪どうしを合わせて1分間ほど擦

る。両手を5cmほど離して合掌の形を作る。両手を頭の上へ上げ、ひじを曲げて、両手の間に気のボールを作り頭の上に置く。

これら4つのコツについて
1. 「気」の性質(特質)を知ること。
性質の前に、少し「気」について考えてみると、日本語には「気」の付く言葉が非常に多くある。辞書には1,000以上もある。

天気・電気・空気・気候・気象・高気圧・低気圧・陽気・陰気・運氣・精気・気性・元気・病気・気持ちが良い・気がいい・気をつける・気がつく・気が狂う・気が散る・気が多い・気がめいる・気が短い・やる気・気をもむ・根気：等々。

「気」の付く言葉は、日本人にとっては昔から身近なもので、気づかぬままに日常的に使っている。

「気」を辞書(広辞苑)で引いてみると、

イ 天地間を満たし、宇宙を構成する基本と考えられるもの。
ロ 生命の原動力となる勢い。
ハ 心の動き・状態・働きを包括的に表す語。

二 はっきりとは見えなくても、その場を包み、その場に漂うと感ぜられるもの。

ホ そのものの本来の性質を形作るような要素とある。

分かるような分からないような表現である。

では、外国では気をどう扱っているか。

中国：気と書いてヒまたはチと呼んでいる。中国古典の哲理である陰陽五行説では、一切の万物は陰陽二気により生じ、森羅万象は、五行（性質の異なる五つの基本的なエネルギー）の関係によって起こる、としている。

インド：プラーナ（生命の元）と呼んでいる。これを取り入れて70年間飲まず食わずにすごした人がいると言われる。

ハワイ：マナ（聖なる気）と呼んでいる。ホ・オポノポノのハの呼吸法を行うと呼吸と一緒に入ってくる。ヒマラヤ聖者が行うものにもよく似た呼吸法がある。

アメリカ：サトルエネルギー。見えない微細な力の総称として呼んでいる。

このように、いずれの国においても、気はエネルギーとして扱われている。

もう一度、広辞苑を引いて気を読み返してみると、

「気」は、「もの」にも「心」にも「場」にも「生命」にも一切のものに關与しているエネルギーとして浮かび上がってくる。そうしてみると、「天気は天のエネルギーの状態」「電気は、いなびかり（電）のエネルギー」「空気は空間のエネルギー」「病気はエネルギーが止（病んだ状態）」「元気は元々のエネルギーの状態」と解釈するとだんだん分かり易くなってくる。

気はエネルギーなのでエネルギーの特徴を掴んでおこう。粒子性と波動性という二つの性質をもっている。

波動性の特徴として、①優位は劣位をコントロールする。言い方を換えれば高い気が低い気をコントロールしていく。②フィードバックの法則。良い気を出せば良い気が返り、悪い気を出せば悪い気が返ってくる。憑依現象はフィードバックの法則から見れば、じつ

は発信者が悪い気を出したものが返ってきただけである。これを防ぐには高い気とつながればよいのである。さらに付け加えれば高い気とつながって地中深く導けばよい。一種のアースである。ざっとこんなことを頭に入れて、「気」の性質に触れてみる。

気の性質（特質）

1. 気は形で動く
2. 気は言葉で動く

このことを参加者に〇リング法で確認してもらった。相手を罵倒する言葉は自分に返る。

洗心の言葉を使うのがよい。

3. 気は意識で動く
意識を向けたところへ気は流れる。
悲惨なテレビばかり見ていると体調を崩す。

ここで全員実技を行った。
気のボールを作り頭の上から下へ降ろすのである。

この時、色（光）をイメージするのが効果的である。

白 黄金（バランスがとれた時）

黄金律（三次元としてバランス）
気は、形、言葉、意識、以外にも光・色・音・香とも共振共鳴する。

気が流れてから、血液が流れ、リンパ液が流れるのである。

ここで芳野氏はかなり時間をかけて、参加者全員に対して一人ずつ気の流れを良くするクリーニング作業を行った。

三次元の肉体から出る気が大事である。

基礎となる必要なものは体を動かすこと（体操）であるが、それには、エネルギーを消耗する体操（ラジオ体操など）、とエネルギーを取り入れる体操とがある。云うに及ばず、エネルギー（気）を取り入れる体操が重要である。

気をだす方法

1. 言葉 ありがとうございます
などの関先生の言われた洗心の言葉がよい。

2. 意識、イメージ 思い
（宇宙の中心からの）白光が自分の頭に燦々と降り注ぐ。

気は手からも出るが目からも出る。

実際全員で行い、レモンに気を入れて味の変化が起こることを全員確かめた。

またオリンピック法による確認も行った。

気を入れるには、手で入れる、目に入れる、イメージで入れる、の三つの方法がある。例えば食物にエネルギー順位の高い気を入れると味が変わる。

聖書では神が人(アダム)をつくらうときに息吹から出る気で作った。味はまろやかとなるのが多い。風呂にやるとよい。酒、ワインにも効果がある。ジュードカリバン量子力学学者、考古学者、ヒーラーは「癒しは超物理的な因果性という段階から始まりエネルギーとなって流れ始める。」といっている。心と身体と宇宙をつなぐもの、それが気である。そうすれば想いが実現する。

☆ ☆

気が身近なものであることについてわかりやすい説明があり、さらに気を出す実験、その気を感じる実験、また味を変える実践で気が出ていることを体験することができ、また各人の体の気の回路をクリーニングして頂いた。今後更に自分で応用を深めたい。

当日の参加者は会員14名、非会員13名、合計27名でした。今回のカセットテープは20000円です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

9月17日(土) 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
10月15日(土) 阿久津淳「2012年問題とサイ科学的進化」

PSI Scientific Evolution & 2012、
関西日本サイ科学会会長

河野 明夫



<サトルエネルギー学会主催 '11秋の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ>

秋の大会テーマ 新生(神聖)日本が世界を変える (大会委員長 米田 晃)

講演・実演者(予定) 倭 瑠七、森 美紀子、添谷 まり子、帯津 良一、
(敬称略) 根岸 秋吉、天野 聖子、神矢 真悟、植田 睦子

日時：平成23年10月8日(土) 開場12:00 開演12:50 終演18:40

会場：(財)修養団SYDホール JR「代々木駅」徒歩5分(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み要領】 FAX 03-5730-6451 サトルエネルギー学会 シンポ大会係

FAX記載項目：氏名・住所・TEL・チケット枚数・合計金額

料金：予約料金：サイ科学会員・サトル会員価格同一 ￥4,000 (一般予約￥6,000)

【振込先】 お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振込み先：00170-1-196569 サトルエネルギー学会

主催：お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450

E-mail infomation@subtle-eng.com

の反応も返ってこないはずです」、と書いてある。

- (5) 身体まわりに「生体磁気」を発生させる能力のある事で有名なTS師の、ご自身による未知能力講演会が2010年2月20日に開催された(サイ科学会月例会)。感銘を受けたが、一部分のみを報告する。(5-1) 携帯が発する電波や、物を叩いた時の音に、つまり、物に乗せて気を飛ばすとよい。(5-2) 気が出る時は、両耳が聞こえなくなる。(5-3) 植物への気の注入は、水を介して行う。一般に、水にカルキが混入している場合には注入出来ない、しかし植物灰を入れるとカルキは取れて注入できる。(5-4) 何も感じていない時に外気が注入される(無念無想)。(5-5) 外気がくると、耳鳴りがする。また腸が痛くなる。(5-6) 気について水と音は大切である。(5-7) はだか火(燃す)があると、気は動きやすい。(5-8) 暗いと身体が動いている感じになる。速度大の乗り物は苦手である。その他。
- (6) 研究者と能力者(訓練による)を兼ねているHA師からロシアやウクライナに於ける未知能力開発学校、並びに実習・訓練の報告・講演があった(2011年5月14日、サイ科学会月例会)。感銘を受けたので一部分を報告する。(6-1) 意識集中により、未使用の脳部位を使用する事(5から80%)による非眼視覚(透視、RV)開発訓練である。(6-2) 感覚を磨く為に「めかくし」をする。(6-3) 音を色でみる。文字や図形を感覚でみて答える。つまり、形、色、模様などを感じ取る。(6-4) 感覚の焦点を絞り込むと、分子、原子、素粒子等視覚の範囲を越えて見えてくる。(6-5) イメージで見る、または感覚的にみる。(6-6) 訓練として、チャクラや生体エネルギーの流れを手かざしで調整する。オーラはその人自身であり、指紋のように、個々別化されている。(6-7) 脳科学研究として国の助成金を得て、通常科学として、体系化がすすんでいる。17才以下の子供はほぼ100%が可能である。病院や学校で訓練しており、障害者訓練にも応用されており、HA師はインストラクターでもある。講演や

紹介されたビデオをみると、中国が実施している気功や、催眠を用いた我々の能力開発の訓練と、基礎的な部分では、共通性があり、又は同一であるともいえる。

- (7) 来日中の趙偉、干永昌、張永詳の3名の気功師をお願いして、練功中の生体の電気特性として脳波、皮膚表面上の機械振動(MV)、経穴のポテンシャル(本山式AMI)を測定した(佐々木茂美、小林泰樹、サイ科学、1989、12-1、pp.17-24)、結果として、外気放出時には経絡系は平衡安定化し、大脳や皮膚などではリラックスと緊張が同時に進行する傾向にある。気功師と受け手間の変化をみると、経絡系では送り手と受け手の間でシーソーゲーム状の電気ポテンシャル変化があり、気功師は、揺すぶりをかけて受け手の気を流通させている様子が推定される。また自律神経変化は経絡系とは別である事が判った。さらに受け手の外気放出時の機械振動(MV)をみると、高並びに低周波域まで拡張し、さらにパワーもより大になる傾向があることが判った(ibid、12-1、pp.25-32)。

4) 検討と考察

上記を纏める、(a) 心理的な条件が重要である(1、2-1、2-3、2-4)。(b) 無意識(シーター波)に関係する(2-1、2-2、3、4、5-2、5-4、5-5、5-8)。(c) 感覚とイメージが重要(2-2、2-3、2-4、2-5、6-1、6-2、6-3、6-5)。(d) 意識や感覚の集中が必要(6-1、6-4、7)。(e) 縦波(音)や横波(電磁波)を搬送波として伝達する(5-1、7)。(f) 生体エネルギー(チャクラ)やオーラ(エネルギー層)に関係する(6-6、7)。(g) 水や活性化(火)に関係する(5-3、5-7、5-8)、事がわかる。以上より、未知現象生起には心理的な条件設定が必要であり、リラックス集中を行い、意識を薄めて変性意識状態(無意識に接近)となり、体内の生体エネルギーを活性化して、音や電波を仲介(搬送波)して、気を放出している、と推定する事が出来る。

生命体の先頭にあると言われる人間は肉体(物)と心(意識)を持ち、マクロな物質世界で生活している訳であるが、この奥には、物質を構成するミクロな素粒子の世界があり、理性や知性としての意識(常識、心)の奥にはこれを支える無意識層や集合的無意識層の世界がある。これらの奥の世界は、我々の住む世界とは別の異質の世界なので、常識では推定する事すら出来ず、また「見えず、聞こえず」なので、再現性や因果律が成立し難い面がある。しかし、真の満足は無意識層を浄化することにあると言う意見もある。奥の世界を構成する「素粒子と無意識層の相互間の作用に、どの様な機構が隠されているのか」、「それらをどの様に究明するのか」、「人々の幸福と、それらは、どの様な関係にあるのか」が問題になる。

著者らは、これらの問題を取り扱いたいと希望している。一例として、人々の集合的な意識(無意識)と感情は、ランダムに放出される素粒子に働きかけて、そのランダム性を壊し、秩序化する事実のある事が判り、地球規模(約100個所)の意識・感情調査プロジェクト(GCP)が、今、進行中である。これは集合的な精神(無意識、感情)と物質(素粒子)の相互作用を調査している事を意味している。

まれではあるが、我々が直接経験する現象の一つにマクロPK(念力)である。研究によれば、この未知現象の根底には素粒子と無意識層の相互作用の存在が推定されている。さらなる機構の解明や証明には、数多くの事実や実験結果が必要である。しかし、上述したように、未知現象はまれにしか生起しないので、個々の事例は貴重なものとなる。

3) 未知能力生起の事情

福来友吉(1910)によって透視・念写が発見された(紘福来超心理学研究所報告、No.I、昭和36年)。

- (1) 心理条件が微妙に影響するので、信頼され、好意をもって貰う為に、いろいろの面で努力する必要がある(その他、文献参照)。
- (2) 実験(1974～2010年)の条件設定として、著者らが知り得た事例を略述する。ただし、記憶が不完全の場合もあると思う。(2-1)実

験者や立ち会い人の意識(無意識)が実験結果に現れることがある。つまり、MK師の念写テストの際、例えば「3枚目に上から下方向に光を入れる」と、実験者が念じ、誰にも話さないでおく。これがMK師(功能者)に反映して、その通りの結果が得られた。別に2回経験した。なお福来実験の場合にも同一内容の結果があった(福来著書、参照)。(2-2) 実験者が計画・希望するような結果を、被験者が感じ取って、その様な結果を出してしまう。つまり実験者が変わると、同じ実験でも結果が変わる場合がある(例、宮内力と佐々木茂美)。他の場合も含めて、(2-3) 実験を成功させる為には、動機付け、納得して貰う、なんの為に、等を理解して貰う(例、研究目的、物を貰う。約束を果たす、興味を持って貰う、ああそうか、等)。(2-4) 実験者と被験者間にラポール形成が有るとよい(恋人同士間の状況)。(2-5) 勇気づける(ほめる、びっくりする)。(2-6) リラックス集中が必要。実験の雰囲気緊張していると、サイ(気)は出てこない。例えば、知らない人が1人加わると(周りに)、雰囲気が変わり、サイ(気)は出てこない。談笑しながら、4～5時間程度も待たせると、実験者と監視人のみんなの気がそろい、サイ(気)は出てくる様になる。

- (3) 政木和三師は、様々な未知能力を保持していた(サイ科学、32-1, pp.186～7)。昼間の普通の生活(言動)でも、意識(常識)と無意識(幻覚、夢)を併置している発明者・未知能力者の雰囲気を持っており、常識と非常識が同居している行為があったと思う。また本人は「私の脳はいつもシーター波だ、シーター波が重要だ」と述べていた。
- (4) TBSテレビ未知能力取材班が4年間(1990～3)にわたって報道した番組「ギミア ぶれいく」等で活躍した少年、少女の一人、T.Tちゃんの透視時の様子が「人体科学会NEWSLETTER, No.5, 1996, p.36」に報告されている(治部真里)「そのときのT.Tちゃんの目は、瞳が開いているのにもかかわらず、まるで何も映っていないかのようでした。たとえ目の前で手をふったとしても、何



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

未知能力・現象の出現状況(1)

佐々木 茂美

1) はしがき

未知現象は精神(感情)と物質に関係しており、その出現(生起)はまれな事象なので、観測・経験した事実を「データ・ベース」として歴史に残すべきであると考えております。未知能力を保持している未知能力者並びに関係者は、保持する様々な事実並びに観察した事実等を公表して戴きたい、とお願いする次第です。

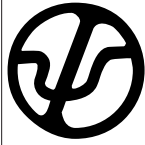
「心を科学する博物館の設立準備委員会」では、事業の一部として、「未知能力のデータ・ベース化」を実施しております。今までは主として研究者と未知能力指導者が登場しておりましたが、これからは気功師や未知能力者(功能者)にもお願いし、さらにお許し頂ければ国単位にまで範囲を広げさせて戴きたいと考えております。一方、重要ではありますが、論文に書き難い問題、例えば「準備、雰囲気、感情、仕草、思い、等」因果律や再現性にそぐわない問題も重要であると思います。本稿では、筆者らが知り得た「未知能力と未知現象の出現の状況」、「その検討と解釈」等を記述することに致します。

2) 問題の存在

近代科学は何時、どこで、誰でも、何回やっても、同じ結果が得られると言う再現性と因果性を基礎にしている。我々の住む生活空間

は、縦、横、高さから成るマクロな3次元空間であり、時間は昨日、今日、明日と言われるように「時間の矢」(一方向に)として、流れている。作用や機能としては、エントロピー増大(無秩序化)への方向性をもって、基礎になっているのは、古典的と言われる物理学や電磁気学等である。約400年も昔の17世紀のデカルトによって、物と心を分けて解釈する二元論が提案された。それ以降の現在にいたる物質科学は、意識(心、精神)面を除外して、我々に空前の進歩と繁栄をもたらし、多くの人々は衣、食、住の基本的欲望の満足をほぼ満たす事が出来る様になってきた。

しかしこれで総てが充分できるかと言うと、そうではなく、心と物のバランスが必要である。心底からの「安らぎ」や「リラックス」等、優しさと精神面の充実が求められることになる。真の満足と幸福は、精神面を充足する事によって得られる、と言われている。例えば我が国において心の傷害、雇用、その他様々な理由から自殺する人達が年間3万人以上もいて、しかも壮年層が多く、これが13年以上も続いている、との事である。他方、別の面を見ると、これらとは異なり、微生物や植物ならびに動物や人間等の生命体は、生きると言う目的に向かって成長するというエントロピー減少(秩序化)への方向性等を持っている。つまり、生命と物は別である事がわかる。



サイジャーナル

月刊
23-11-12
第400号

日本サイ科学会 平成23年11月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|--|--|--|--|

十一月本部例会のお知らせ

心霊現象について

講師 小林 信正氏

今年の三月十一日、東日本では未曾有の大災害がありました。いま日本のみならず世界各地で異常気象による津波、猛暑、干ばつ、台風、洪水等々の自然災害に見舞われています。さらに原発事故は言うに及ばず、環境汚染や自然破壊などの影響で私たちの住む地球環境は急速に悪化し、生命の危機に晒されています。これは人為的災害であり、まさに人類が自らの手で自分の首を絞めるような行為といえましょう。

一方、政治の混乱、経済の破綻、教育の荒廃、モラルの低下、家庭の崩壊など混沌の一途を辿っています。さらに凶悪犯罪は激増し、毎年自殺者も三万人を超えている現状です。

いまは改革、激動の時代といわれ、旧来の価値観が打破され、新しい価値観へと変革する陣痛の時のなかもしれません。それは20

12年問題の「アセンション」といわれる次元上昇と符合するものなのででしょうか。

明日が見えない現代、私たちは何を指針に生きてらよいのでしょうか。

人は必ず死ぬ運命にあります。死んだら肉体は灰となり一巻の終わりと考えるか、肉体という衣を脱ぎ捨て霊魂は存続してあの世へ旅立つと考えるか。

「霊魂とは？ 死後の存続とは？ 輪廻転生とは？ 現世の意味とは？」

この問題は有史以来、洋の東西を問わず、文化、宗教、哲学上でさまざまに論じられてきました。この人生最大の命題を解くカギが、いまや宗教や哲学でなく心霊現象の研究にあるのです。

さまざまな心霊現象の映像を写真しながら解説を行い、そこから何を学びとるか、皆さんとご一緒に考えてみたいと思います。

東京キー局で長年心霊関係も含めた多くの番組を制作されたプロデューサーの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

今月号の記事

- ◎十一月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎事務局からのお知らせとお願い
- ◎十二月本部例会予告
- ◎第14回宇宙生命研究分科会予告
- ◎関西サイ科学会十一月例会予告
- ◎関西サイ科学会十二月忘年の放談会のお知らせ
- ◎一月本部例会予告
- ◎六月本部例会報告
- ◎六月通常総会報告
- ◎第三五八回関西サイ科学会報告
- ◎第三五九回関西サイ科学会報告
- ◎未知能力・現象の出現状況(2)

●小林信正氏のプロフィール

日本サイ科学会理事。

(財)日本心霊科学協会常任理事。JMC相談役。

東京生まれ。旧東京写真大学(現東京工芸大学)技術科、慶應義塾大学哲学科心理学専攻。フジテレビでは主に番組の企画制作に従事し、ドラマ、ワイドショー、ドキュメンタリー、バラエティーなどでディレクター、チーフプロデューサー、制作部長を務める。

大阪万博、筑波科学万博などの企画にも携わり、現在は「オーブ」や「特異能力」の研究に努めている。

日時 平成23年11月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(10/10受領分まで)

金十万円 佐々木茂美 様
金六万円 木村 陽一 様
金一万五千元 佐藤 禎花 様
金二千二百円 カリー山口様

◎事務局からのお知らせと
お願い

☆本部例会や大会等での運営ボランティア募集

受付での資料配付、講演者スライド発表時の電灯操作、コンピュータ操作などのお手伝いをしていただけませんか。当日の参加費が無料になります。

●左記にご連絡願います。

office21@psjmail-box.ne.jp

十二月本部例会予告

忘年会も兼ねた会員の体験
意見発表と討論の会

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心霊現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらをテーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

今回最初にまとまって何か発表したい方一、二名に20分位ずつで口火を切って頂いて、引き続き出席者の皆様から自由に発表して頂きます。

皆様の中で、ご自分で撮った不思議な写真、VHSテープ等もお持ちでしたら是非ご持参してください(VHSテープやDVD等をお見せしたい方は、装置予約のため早めに事務局にお知らせ願います)。

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。また、ご自分では気が付いていないのに、思いがけない超能力を発揮する方もおられるかもしれません。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。で、気楽にご参加願います。※最初にまとめて発表したい方は、事務局にメール、またはFAX願います。

日時 平成23年12月10日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ8階805会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 一〇〇〇円

第14回宇宙生命研究分科会

第5回 アセンション・シンポジウム

日時 2011年12月21日(水)

午後6時～9時30分

会場 品川健康センター会議室

(品川区北品川3・11・22)

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

一般会費 五〇〇円

会員会費 一〇〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太

学)

陽の会・国際問題研究会会員)
※会員以外の方の参加も大歓迎

マヤの長期暦が終焉を迎える2012年まで、泣いても笑ってもあと1年！世界の政治体制は2012年にガラリと変更します。2011年は東日本大震災、台風12号の猛威、円高等々でニッポンも混乱を極めました。激動の時代にあつて、我々ニッポン人はどうなつてゆくのか？ そういった問題を見据えて、今年もまたアセンション・シンポジウムを開催します。皆さん、どうぞふるってご参加ください。

◆ ◆

関西日本サイ科学会
十一月例会のお知らせ

「菅原道真公の知られざる秘話、篆書(てんしよ)の持つパワー、たつ(龍・竜・辰)の字の不思議」

講師 塩小路 光孚氏

日時 平成23年11月12日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

関西日本サイ科学会
二〇一二年忘年の放談会

非会員の方も大歓迎です。
十二月の研究集会はお休みです。

日時 平成23年12月10日(土)

午後5時30分より

場所 山海倶楽部

06・6443・0209

※大阪市西区京町堀1・4・3

TCF肥後橋ビルB1階

※参加ご希望の方には会場案内図をFAX等でお知らせ致します。

参加費 四五〇〇円

※12月7日(水)までに、事務局木村までお申し込み願います。
0797・22・6425

◆ ◆

一月本部例会予告

縄文スピリットでサバイバル

講師 ミッツィ植田氏

3・11以降、これまでの生き方・物の見方・価値観が劇的に変化しました。今こそ日本人がDNAの中に持っている真の「日本人魂(スピリット)」の底力を発揮するときにきました。

これからしなければならぬことは「サバイバル」です。自分の生存を他者に依存するのではなく、農地の確保、水の確保、汚染されていない食料の備蓄、サバイバルに必要な情報を共有できるコミュニティへの参加など、「自給自足」のライフスタイルに転換することが、生き抜くために必要不可欠です。

戦争もなく、思いやり・分かち

合いで共存共栄の社会を1万6500年も継続した「縄文スピリット」の智慧に学び、日本人がこの原点に戻ればサバイバル可能です。マヤの予言、八ヶ岳山麓の縄文遺跡、リモートヴェーイング、直観力の鍛え方などを紹介しながら、これからの生き方について提言します。

※マクモニーグル氏とも親しく貴重なお話が聞けると思いますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●ミッツィ植田氏のプロフィール
(株)UIC 代表取締役
・インターナショナル・ハグ協会 会長
・京都市生まれ。大学を卒業後、渡米。シエフィールド航空学院卒。独自に開発した脳力アップ法で、米国の「自家用飛行機パイロット」「地上教官」免許を異例の2カ月で同時スピード取得。

米国FAA連邦航空局の最難関国家試験と言われる「運航管理者免許」日本人女性初の合格者。コンチネンタル航空で運行管理者としてオペレーション業務に携わる。現在、教材開発、通訳、翻訳、

作家活動を行うかたわら、「脳力開発セミナー」「超英語法セミナー」「リモート・ヴェューイングの手法を使った「直観力養成セミナー」などを開催している。

著作に「マクモニーグルが語るリモート・ヴェューイングの世界」、「ハミシンク入門」、「浄化準備」、「覚醒準備」、「あなたも残り5%の成功者になれる」、「ミッツイの夢がかなう7つのステップ」、「DVD「チャクラ この神秘なる輝き」覚醒へのレインボウ・ブリッジ」、「CD「自宅でできる簡単イルカセラピー」、「ミッツイの「夢がかなう」魔法の音」

日時 平成24年1月14日(土)
午後1時半〜5時
会場 北とぴあ7階701会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

六日本部例会報告

未知エネルギーの研究とチャネリング

講師 井出 治氏
(クリーンエネルギー研究所)

今日は私が3月の震災直後に出席した米国のメリーランド州立大学のほうで、最近できたインバータの結果を発表してきましたので、前半はその内容を中心にお話し、後半はチャネリングのお話をします。

※最初に以前開発していた「エーテルエンジン」の動画を紹介する。

3月に私が出席した国際会議「Space Propulsion and Energy Science International Forum 2011」は米国の国防総省やNASA、エネルギー省、空軍研究所がバックで主催する宇宙航空関係の学会です。ちょうど一年前に知り合いの何人かにインバータを公開実験した時に、知り合いの一人からこの国際会議を紹介していただいたのですが、早速アブストラクトを

投稿しましたら、3日も経たないうちに是非とも発表しろという返事が来ました。

会議は3月15日〜17日開催で、私は16日のメイン発表の時間帯で発表させていただいたのですが、外国人の発表は私とドイツ人の二人だけでした。ご存知のように3月11日は東日本大震災があったのですが、日本を出発した13日はぎりぎり電車が動いてくれて絶妙のタイミングで出発できました。



発表するまでが大変だったので、アブストラクト投稿の後、ドラフトペーパー(簡単な論文)を9月までに提出せよと来て、何とか間に合わせたら、アクセプト、すなわち「あなたの論文は受け入れられたので発表してOK」が来

ました。その後メールでの質問が大量に来てそれに対応しましたが、その中で「効率は何?」という質問がありました。私はドラフトペーパーの段階では一〇〇%以上の超効率(Hyper Efficiency)のことを隠していたのですが、そのことを伝えて、「この内容で学会発表できるか?」と問い合わせました。「いったいどういう方法でどんな機械を使ってそういうデータを出したのか?」と詳細に聞いてきました。それにきっちり答えることで「発表はOKだ」と言ってきました。

日本サイ科学会は別ですが、日本の通常の学会でしたら、超効率を言った時点で、一〇〇%拒否されるでしょう。ここが日本の学者のダメなところで、アメリカの学会はしっかりと詳細を問い合わせきて、納得すれば最後にOKを出すのが、偉いところです。

私の論文のタイトルは日本語訳すると、「Positive EMF」で駆動されて、なおかつ過渡現象との相互作用によって、駆動される超効率のインバータですが、こういう内容で堂々と発表できるのが、アメリカのすごいところです。

インバータというのは直流電

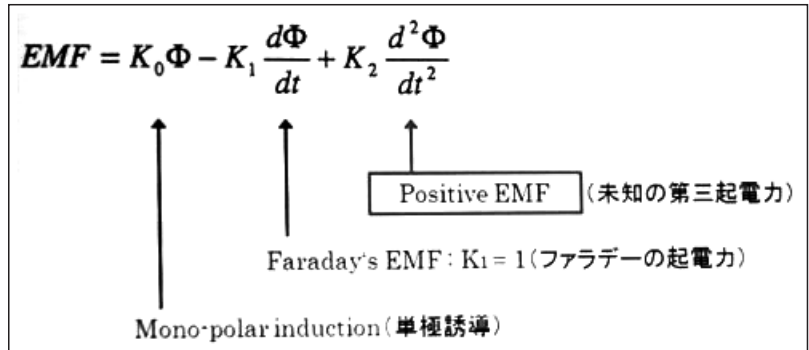
源を交流電源に変換する装置で、我々の日常使っているパソコンや携帯電話や他の電気製品のほぼすべてに入っております。

私のインバータの特徴は、高速のスパイク波と反発磁場を使い、過渡現象と過渡現象を重ね合わせて駆動することで、現在は通常のインバータの4倍の効率が出ています。

"Positive EMF"という言葉は、私の創りだした起電力の概念として、私の最初の米国応用物理学会の論文に出てきますが、「特殊な磁場構造をもった共振回路において非常に異常な電圧が発生する」という内容の論文です。この中で私が言いたかったのは「未知の"Positive EMF"が存在する」といことです。

"Positive EMF"は正(+)の起電力すなわち入力電流と同一方向であって、ファラデーの逆起電力とは逆方向となりファラデーの起電力からは独立しております。

通常のEMF(起電力)はイギリスの科学者マイケル・ファラデーが電磁誘導として発見したものです。我々が現在使用している電気はすべて、ファラデーの電磁誘



導の法則から造られたものです。水力・火力・原子力発電であろうと、自転車灯の発電器であろうと、車の発電器であろうと、すべてファラデーが一八〇年くらい前に原理を見つけたものを、いまだに使用しております。皆さんも聞いて意外だと思われるかもしれませんが、

これまで発電方法には何一つ進歩がないのです。ファラデーはもう一つ大事な起電力である「単極誘導」を発見しました。ファラデーの電磁誘導の実験装置は現在でも、イギリスの大英博物館で保存されています。イギリスやアメリカでは重要な科学的発見をしたものを、すっかり残しております。日本もその精神は見習ってほしいものです。

"Positive EMF"の論文をアメリカの応用物理学会で発表しました。NASAのラングレー研究所からも案内がきましてこちらでも発表してくださいということ、ちょうどそのとき、この「非線形電磁誘導理論」というものを創ったばかりだったので、渡りに船、ということ、早急論文を出しました。1999年12月にサンタバーバラに行つて、発表してきました。

この2回目に発表した論文は「ファラデーの起電力とは独立した起電力が存在する」という内容です。なぜここまで言ったかというところ、1回目の論文で見つけた"Positive EMF"には法則性があるということを見つけたということが大事であり、もう一つのポイントはファ

ラデーの法則は、磁束の時間による一次微分なのですが、"Positive EMF"は磁束の時間による二次微分以上にあたるのではないかと思います。

上図のファラデーの起電力のK1の数値は1となりますが、ファラデーは単極誘導も発見しており、これまで見つかっていない起電力はこの2つだけなのです。私はこれに対して起電力はこんなものではなく、ファラデーの起電力のもうひとつ上の高次項に符号が+の第三の起電力があるのではないかと、これを仮定すると今まで出てきた現象が説明できるのです。

ところが起電力はこんなものではなく、さらに磁束の三次以上の微分がマイナスとプラス交互で続く無限級数となるのではないかと、この仮説を出しました。自然現象はリニア(直線性)ではなく多くが無限級数でより精密に説明されます。

二次微分以降は未知の起電力となりますが、私が非常に興味をもっているのは、プラス方向の第三の起電力であり、これをうまく引っ張り出すようにすれば、すなわちこれを使う発電機を創れば「永

久機関」ができるということですが。以上がNASAのラングレー研究所で発表した内容です。

この後、私は「エーテルエンジン」の研究をストップしました。というのは、モーター系は機械損失が生じるのでやっかいな問題となります。それを消すために、完全にスタティックな状態で発電機ができないだろうかということで、それを追求したのが二〇〇〇年以降やっている研究です。

やり始めた直後に120%以上の効率が出たのですが、再度実験すると再現性がないのです。それでも一度甘い汁を吸ったのでもう止められないということで続けたのですが、100%出るか出ないかのすれすれの状態が9年間続きました。そして2009年に110%の効率がコンスタントに出るようになり、「やった!」と思ったのですが、その後また出なくなつて、ガツクリしたのです。そういうことが何回か続いた後、一昨年の12月の終わりに、大きく頭の切り替えを行い、特別な方法で行けそうだと分かり、昨年1月の初旬にすべてのものが完成しました。

その状態は今でも続いておりまして、まだどんどん発展しております。今回だけは再現性が一年半以上続いております。

後半は家内を通して交信したチャネリングから得られた情報です。それは別宇宙の異星人と別空間の何種類かの地底人などです。宇宙人は4、5種類と交信しています。最近受けて面白かったのは銀河連合から来た宇宙人です。漫画みたいな話ですが、まともなメッセージを載せております。宇宙に「意識体」からもメッセージを載せます。

来てうれしいものとうれしくないものがありますが、一番うれしいのは「聖母マリア」の聖霊です。よくカトリックの教会などにある絵画のなよつとした感じではなく、目鼻立ちがはっきりしていて、えらも張っていて耳がとんがっています。

とにかくいろいろな存在が来ますが、私の研究に関係する人ではニコラ・テスラやボルタ電池のアレッサンドロ・ボルタ、また聖霊レベルでは、白龍、黒龍、青龍、白蛇など、坂本龍馬や私の先祖ら

しいのですが河野水軍の武士なども来ました。

チャネリングと関係してここ一年で経験した不思議な、あるいは面白いお話をします。先日京都にお花見に行ってきたのですが、銀閣寺の近くにある、私が学生時代によく散歩した「哲学の道」でのお話です。家内と二人で歩いていたら、前のほうに可愛い白い猫がいたので見ていたら、猫が疎水の中を見つめていたので、ちょっと声をかけたら猫独特のツンとして、向こうを向いてしまいました。家内に「じゃあ行こう」と行って歩いていたら、家内が「あつ猫がついてくる!」と言ったので、「えつ」と私が見た瞬間、私の足もとでその猫が消えてしまったのです。

家内がちよつと不気味になつて、ホテルに向かい夜くつろいでいたら、二条城の人柱(男)がやってきました。悪い怨念をもっているわけではないのですが、「二条城には来るな」と言っていました。猫の件も聞きましたら、「京都では物の怪も一杯いるのでそんなことは当たり前だ」と言っていました。

私は昔からUFOをよく見るのですが、数日前にまたオレンジ色

の月の大きさをくらいのUFOを家内と見まして、チャネリングしている宇宙人に、「あれは君のか?」と聞きましたら、「いや違う」と言っていました。私はチャネリングをしている聖霊の誰でも崇拜しているわけではなく、友達感覚でつき合っております。日本人はすぐ何でも崇拜してしまうのは悪い傾向で、民度が発展しないのです。

また昨年夏のことですが、夜中に洗面所の壁にかけてあったドライヤーが勝手にスイッチが入って回り始めたので、家内に何か変なものが出ていないか見てくれと言ったら、別に悪い感じはしないということ、洗面所に行つて、関係ないスイッチを触ったら、ドライヤーがオフになったのです。

ちよつと不気味になつて、仲のいい聖霊に聞いてみたら何も言わなかったのですが、最後に宇宙人に「君がやったのか?」聞いたたら、「夏の夜の納涼だ!」と答えたのです。そういう付き合い方をしているのですが、「面白いでしょう!」ときどき彼らは存在の証拠を3次元の世界に出してくるのです。

私の今回の研究に関しまして、宇宙人、地底人が関わっているの

ですが、すぐそばで私の実験を見ているのが分かったのは、帰宅してチャネリングのメッセージを受けたときに、「この部品が壊れているよ」と言われて、翌日研究所へ行ってみると、確かにそこが壊れているのです。ただ、宇宙人も地底人も私の疑問や問題に対して、答えをそのまま言うことは絶対ありません。答えにつながるようなことを婉曲的に言うことはありますが、やはり本人が自分で答えを見つけないとつまらないことが分かっているからです。

六月通常総会報告

◎平成22年度本部事業報告

1. 会員の現状(平成23年5月末)

日現在)

| | |
|------|------|
| 維持会員 | 7名 |
| 正会員 | 202名 |
| 学生会員 | 29名 |
| 準会員 | 58名 |
| 賛助会員 | 1名 |
| 合計 | 297名 |

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「第21回全国大会」を含み、計12回の集会を開催した。

◎本部例会・大会(敬称略)

期日 講演者 講演タイトル

平成22年

4月10日(土) 根本泰行「映画『ウォーター』にみる水の真実」

5月8日(土) 堤裕司「レイライ」と富士塚信仰」

6月20日(日) 久保田昌治「水とは・・・水は生体内では勿論のこと自然界でも今我々が考えているよりはるかに重要な働きをしている。」

7月10日(土) 木下次男「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足・・・ UFO学について」

9月11日(土) 浪平博人 苗鉄軍 小林泰樹「感じられるサイエンス」

10月10日(日) 第21回全国大会

シンポジウム「2012年問題とサイエンス」

11月14日(日) 秋山真人「夢診断と未来予測」

12月12日(日) 宇治橋泰志「新たな予防医学を目指して」

平成23年

1月8日(土) 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2月12日(土) 石川和孝「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」

◎分科会

宇宙生命研究分科会

2010年

7月17日(土) 第11回「第4回 UFO&ORBシンポジウム」

12月21日(月) 第12回「アセンション・シンポジウムⅢ」

3. 総会

平成22年6月20日

北とぴあ701会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成22年6月20日

北とぴあ701会議室で開催

5. 本部理事会

第154回～第161回を4月、5月、7月、9月、11月、12月、1月、2月と8回開催した。

6. 出版物「サイ科学」第32巻 第1号を発行した。「サイの広場」は「サイ科学」と

合本した。

「サイジャーナル」第390号から第396号までを発行した。

◎平成23年度本部事業計画

・10月に創立35周年記念大会を開催する。シンポジウムテーマ「パワースポット」

・月例会を8回(5、6、7、9、11、12、1、2月)開催する。

・本部理事会、全国理事会評議員会を開催する。

・サイジャーナルを6回発行する。「サイ科学(＋サイの広場)」を発行する。

・公式サイトを運営する。

・「心を科学する博物館」の資料を整備する。

・その他

◎活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。

・インターネットの公式サイトやメイリングリストを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を

深める。

- ・ 地方からも講師を招く。
- ・ 理事や若手の幹事(理事候補)、評議員を増やす。
- ・ その他

● 地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木 康二

◎ 平成22年度事業報告(敬称略)

平成22年

(会場は5月、6月以外は仙台市青年文化センター)
4月10日 総会及び第172回研究会

「平成21年度事業報告、平成22年度事業計画」

「量子テレポーテーションでPsi能力を発揮する!」佐佐木康二
5月3日「念写実験会」佐佐木康二(福来心理学研究所との共催)
(情報・産業プラザ)

5月4日「仙台瞑想会H22GW研修会」への協力(超能力発揮実験)(情報・産業プラザ)

6月12日 第173回研究会

「ソウルメイトや因縁がわかるアルゴリズム」佐佐木康二(旭

ヶ丘市民センター)

8月12日「念写実験会」佐佐木康二(福来心理学研究所との共催)
8月14日 第174回研究会

「さわらぬ邪霊にタタリなし

霊の『物理』」佐佐木康二

10月9日 第175回研究会

「地球は類魂だった! UFOと2012年問題」佐佐木康二

12月11日 第176回研究会

「カルマの結び目を『リーマン予想』で解く」佐佐木康二

平成23年

2月12日 第177回研究会

「方位は、神様の価値観の現れだった」佐佐木康二

◎ 平成23年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちの出来るだけ深く探求して、誰でも本来的に持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成

果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化―「念写計画」等の開発、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証(福来心理学研究所との共同研究)、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究

4. 講演会等の開催

「念写実験会」、「大震災と意識の歪み」等のテーマで8月に講演会を開催する(福来心理学研究所、仙台瞑想研究会と共催)

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究所との共同事業)及びビデオ資料等の閲覧サービス・管理

◎ 平成22年度事業報告

研究集会Ⅰ

日程 平成22年4月10日(土)
会場 つるまい会館
内容 丹羽氏、小川氏、高田氏、磯部氏、山田氏発表(22名の参加)

研究集会Ⅱ

日程 平成22年9月11日(土)
会場 つるまい会館
内容 会員3名の発表

◎ 平成23年度事業計画

内容 会員数名の研究・体験発表を中心に出席者で勉強会を行う。
日程 第1回 平成23年5月14日
会場 つるまい会館
第2回 平成23年9月予定
会場 つるまい会館

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎ 平成22年度事業報告(敬称略)

平成22年8月29日(日)
「ダウジングとは何か?ダウジングから医療ダウジングまで」堤裕司(日本ダウザー協会会長、日本エネルギー医学協会理事)

中部日本サイ科学会

会長 山田 哲三

◎平成23年度事業計画

平成23年6月26日(日)

第1部 基調講演「2012年問題とサイ」阿久津淳

第2部 UFOトークバトル

ナビゲーション「UFOの最新情報」竹本良

ガチンコトークバトル「UFO問題と人類の未来」飛島竜一×竹本良

講師 阿久津淳先生(日本サイ科学会理事・科学問題研究者)

竹本良(科学問題研究者)

飛島竜一先生(フリーランス・科学ジャーナリスト)

平成23年度の計画につきまして、6月、11月、3月の予定。

関西日本サイ科学会

会長 河野 明夫

◎平成22年度事業報告(敬称略)

平成22年度は下記のように8月、12月を除き、22年4月(347回)から23年3月(356回)の10回開催した。参加者は会員124名非会員223名合計347名で、非会員が伸びている。

平成22年

4月17日(土) 吉田信啓「最新資料の石造遺跡のサイ科学的比較考察」

5月15日(土) 鶴田光敏「幸福への波動」

6月19日(土) 天野聖子「自己実現は大いなる自己(真我・高我またはハイヤーセルフ)との対話で達成できる」

7月17日(土) 林和也氏「言葉は天からのおくりもの」

9月18日(土) 北村皓一「日本建国の神々とユダヤ」

10月30日(土) 古村豊治「なぜあなたに大きな奇跡がおこらないのか」

11月20日(土) 浅川嘉富「UFO・パラレルワールド・アセンション」

平成23年

1月15日(土) 赤松瞳「最新脳科学と透視能力」

2月19日(土) 下村和弘「脳科学と健康：代替医療の疑問解消か!?」4つの法則(脳/心/身体/栄養)から考える」

3月19日(土) 重松昭春「日本人の生き方と21世紀の未来」

◎平成23年度事業計画(敬称略)

平成23年度は下記のように8月と12月を除き、23年4月(357回)から24年3月(366回)の10回開催する予定である。

平成23年

4月19日(土) 芳野武人「誰でもできる一日でできる気の活用」

5月21日(土) 瀬尾泰範「東日本大震災と今後の世界について占星学的解釈と予測」

6月18日(土) サアラ「科学と霊性の融合する時代」

7月16日(土) 高尾征治「オリジナルデザインの正32面体図象に潜む驚異の浄化パワー」日本各地を巡る『みろく』奉納紀行に学ぶ」

9月17日(土) 井出治「未知エネルギーの研究とチャネリング」

10月15日(土) 阿久津淳「2012年問題とサイ科学的進化『Scientific Evolution & 2012』」

以降11月、1月、2月、3月研究集会開催予定。

九州日本サイ科学会

会長 金子 輝夫

◎平成22年度事業報告

九州部会としての事業は行いませんでした。

◎平成23年度事業計画

世話役を得て、できましたら講演会をと思っております。

●平成23年度日本サイ科学会役員構成(*印は新任または改選)

会長 佐々木 茂美

理事長 浪平 博人

顧問 窪田 啓次郎、品川 次郎、西條 一止

地方会長兼理事

東北日本サイ科学会会長

佐佐木 康二

中部日本サイ科学会会長

山田 哲三*

北陸日本サイ科学会会長

佐藤 禎花

関西サイ科学会会長、副理事長

河野 明夫

九州日本サイ科学会会長

金子 輝夫*

理事(常任理事を含む)

阿久津 淳、大木 高伸、

大谷 宗司*、久保田 昌治、

小林泰樹*、小林信正、小牧昭一郎、佐々木律子、志賀一雅*、志村則夫、徳永康夫*、中島敏樹*、鯨江勇*、本間修二、前田知則、苗鉄軍*、渡辺宙明*

幹事
飯見勇、吉田一美

評議員

薄葉達夫*、占部浩一、加納愛信、鴨川裕司*、小久保孝行*、佐藤ひろ子*、杉立繁、高橋至誠*、谷口五月*、飛田洋子、前田稔*、三浦良江*、屋敷益男

監事

和田守央*

- (1) 本部役員・理事会は会長、理事長、顧問、常任理事、幹事によって構成される。
- (2) 常任理事は月1回開催される本部理事会に出席できる理事を示す。
- (3) 常任理事の選出は、理事の自己申告による。

〔平成22年度決算報告〕

| 収入 | | 収入 | |
|-----|-----------|--------|-----------|
| 項目 | 予算 | 項目 | 決算 |
| 会費 | 2,000,000 | 会費(正) | 1,469,000 |
| 例会 | 300,000 | 会費(学生) | 168,000 |
| 寄付 | 400,000 | 会費(準) | 261,500 |
| 本・他 | 200,000 | 会費(維持) | 200,000 |
| 繰越金 | 2,477,739 | 会費(賛助) | 50,000 |
| 合計 | 5,377,739 | 入会費 | 42,000 |
| | 例会収入 | 例会収入 | 509,000 |
| | 本会寄付 | 本会寄付 | 528,000 |
| | 本・他 | 本・他 | 186,630 |
| | 広告料 | 広告料 | 0 |
| | | 前年度繰越金 | 2,477,739 |
| | | 合計 | 5,891,869 |

| 支出 | | |
|------------|-----------|-----------|
| 項目 | 予算 | 決算 |
| ジャーナル発行 | 700,000 | 699,330 |
| 会誌発行 | 300,000 | 393,876 |
| 人件費 | 1,500,000 | 1,531,000 |
| 例会会場費 | 100,000 | 127,320 |
| 講師謝礼 | 200,000 | 190,000 |
| 事務用品 | 200,000 | 103,967 |
| 郵送・配送料 | 100,000 | 65,870 |
| 通信費 | 100,000 | 77,224 |
| 会議・打合せ | 80,000 | 85,907 |
| 交通費 | 60,000 | 45,700 |
| 事務所維持費 | 110,000 | 106,543 |
| 郵便・銀行振込料 | 20,000 | 22,770 |
| 予備(予稿集印刷代) | 100,000 | 117,680 |
| 来期繰越金 | 1,807,739 | 2,324,682 |
| 合計 | 5,377,739 | 5,891,869 |

〔平成23年度予算〕

| 収入 | | 支出 | |
|-----|-----------|----------|-----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 会費 | 2,000,000 | ジャーナル発行 | 600,000 |
| 例会 | 400,000 | 会誌発行 | 350,000 |
| 寄付 | 400,000 | 人件費 | 1,530,000 |
| 本・他 | 200,000 | 例会会場費 | 120,000 |
| 繰越金 | 2,324,682 | 講師謝礼 | 200,000 |
| 合計 | 5,324,682 | 事務用品 | 150,000 |
| | | 郵送・配送料 | 70,000 |
| | | 通信費 | 80,000 |
| | | 会議・打合せ | 80,000 |
| | | 交通費 | 50,000 |
| | | 事務所維持費 | 110,000 |
| | | 郵便・銀行振込料 | 20,000 |
| | | 予備 | 100,000 |
| | | 来期繰越金 | 1,864,682 |
| | | 合計 | 5,324,682 |

◎ 基幹論文賞・功労賞表彰
● 基幹論文賞
東京都 佐々木 茂美 殿
昭和5年2月11日生

本会は定款細則第18条により総会の議を経て 貴下の研究活動に対し基幹研究賞を贈り 感謝の意を表します

平成23年6月12日

日本サイ科学会
会長 佐々木 茂美

● 功労賞
河野 明夫 殿
(4) 表彰：年次大会時の総会で受賞者を決定する。

研究活動：「相殺零場の発見」
2 要素間に零を造り、変曲点まで活性化して不安定状態を造ると、未知現象が発生しやすくなる事を発見した

学会賞

(1) 目的：本会の理念にふさわしい学術研究、実践活動に対して授与する。

(2) 対象：論文、著書並びに実践活動にたいして。

(3) 選考方法：

(3・1) 自薦または他薦とする。

(3・2) 顧問、会長、理事、専門家で審査の上、理事会で受賞予定者をきめる。

(4) 表彰：年次大会時の総会で受賞者を決定する。

あなたは日本サイ科学会会員(関西日本サイ科学会会長、日本サイ科学会副会長、理事)として 永年にわたり研究と啓蒙活動にご尽力されました

本学会の輝かしい発展はあなたのご努力におう所が大であります

よって日本サイ科学会功労賞を
贈り表彰し感謝致します

平成23年6月12日

日本サイ科学会

会長 佐々木 茂美



第三百五十八回関西日本 サイ科学会研究集会報告

「東日本大震災と今後の世界に
ついて占星学的解釈と予測」

講師 瀬尾 泰範氏

(日本サイ科学会理事)

とき 平成23年5月21日(土)
ところ 大阪科学技術センター

瀬尾泰範氏は1951年静岡県
生まれ。京都大学工学部卒業後、
航空会社、民間の研究所、予備校
講師を経て、1991年才能開発
研究所を設立。

心理学、占星学による個人の才
能・感性・運勢診断を行い、また
すべての人が持つ心の潜在能力の
研究と開発を進める。日本サイ科

学会理事。

著書「来たるべきアクエリアス
の時代」(潮文社)、「自分の隠れた
才能が見つかる本」(ソフトバンク
パブリッシング)



今回関西日本サイ科学会からお
話しを戴いたときは、「2012問
題」をメインに、世界に対する海
王星の影響力の観点から今後の予
測をさせていただくつもりでおり
ましたが、「3・11東日本大震災」
が起こり、いろいろ調べまして、
世界に対する天王星の影響力の観
点からお話しさせていただくこ
とになりました。

私は以前から関東大震災がいつ
起こってもおかしくないと思つて
覚悟しておりましたので、東日本
大地震が起こつてビルの上層階が

大揺れしたとき、予備校で授業を
していたのですが、「あっ、来た
な!」ということでもパニックになら
ずに、ビルの倒壊もないと判断し
てその部屋におりました。

しかし1時間後くらいに携帯の
ワンセグで見た津波は予想外のも
のでびっくりし、またその後報道
された福島原発事故は自分の恐
れていたことが起こってしまった
ので非常に不安になりました。

工学部の出身である私は、以前
から原子力発電にも興味をもつて
いて、調べれば調べるほどその危
険性を知り、京都大学原子炉実験
所助教の小出裕章先生の本を読ん
だとき、原子力のプロが「原発は
止めなければいけない」という主
張をしているのを知って、その思
いを強くしました。

要するにどんな装置でも事故や
故障の起こらないものはなく、原
発が事故つたときには、誰もそば
に近づけなくなるので、修理がで
きず、コントロールが効かなくな
るのはエンジニアであれば誰も想
像がつくことで、その危険性がと
つもないということを知れば、
原子力発電はできないはずだ。

事故云々の前に原発の放射性廃

棄物の一〇〇%安全な処理ができ
ないので、普通人の理性で考
えても原子力発電は始めてはいけ
ない技術なのに、お金をジャブジ
ャブまかれて、誰も止められなく
なつてしまったというわけです。

これまでも「もんじゅ」や「柏
崎刈羽原発」など重大な事故も含
めて原発事故は何件も起きており
ますが、その重大性は正確に報道
されておられません。

今回犠牲になつた多くの皆様
には大変申し訳ないのですが、日
本人がこれだけの犠牲を払つて、世
界に原子力発電がNGであること
を知らせることになつたと思いま
す。

運命学の基本原理を4つにまと
めますと一つ目は、「パーソナリテ
イ(性格、才能、習慣)が運命をつ
くる」というもので、なぜ西洋占
星学で運命が分かるかと申します
と、パーソナリティの診断に優れ
ているからです。才能診断に関し
ましても、私は「ハーモニクス理
論」を研究していきまして、そこ
から創ったオリジナルチャートで才
能の診断もできます。

二つ目は「人間は潜在意識にお

いて、自分がいつも思っているような人間になる」というもので、三つ目の「内面(心の世界)が外面(現実社会)に反映する」と合わせると、四つ目の「いつも未来を強くイメージしながら、生きる人間はその通りになり、そうでない人間は周囲の人々と環境に振り回される」という法則になります。

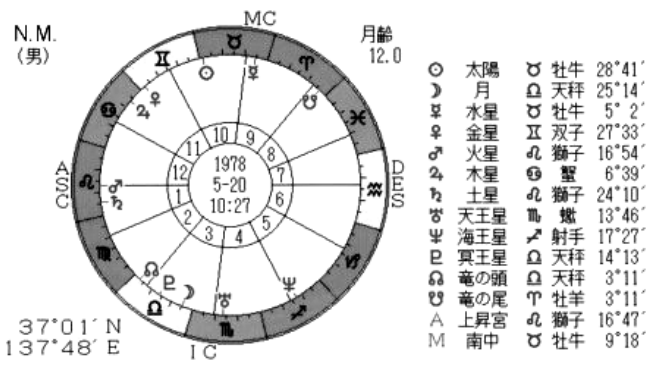
要するに潜在意識では外に働きかけるPK(念力)を四六時中、出していますから、はっきり「こうしたい」というイメージを出している人は外界にそれが形成されることになり、そうでない人は周囲に流されることになります。

以前歌手の永ちゃんがCMで「未来をイメージして今を生きているか?」というメッセージを發していましたが、人間はいつも自分の未来を描いて生きなければいけないよ、と言っていると思うのですが、案外人間は周囲任せになつてしまふので、気をつけなければなりません。

西洋占星学の本格的なホロスコープ診断について概略をお話しします。

「ホロスコープ」とは日本語で

「出生天宮図」と呼ばれており、地球中心で周囲に12星座のある円形チャートの内側に、その人の生年月日、出生時刻、出生地から計算された太陽系の星の位置を割り振つたものです。



ホロスコープ診断に使われる要素は、大きく分けると4つあります。
1. 太陽、月を含めた太陽系の主要な星達10個と上昇宮(ASC)、南中(MC)等の感受点

- 2. 春分点(春分の日)に太陽が来る黄道上の位置)を基準にした12星座
- 3. 上昇宮(出生時における東の地平線にある星座)や南中(黄道の最上方ポイント)を基準にした12ハウス
- 4. 星や感受点同士の地球中心からみた特定の相互角度(アスペクト)

※「黄道」とは正式には地球から見太陽が通る天空上360度の大円ラインで、10個の星達はほぼ黄道の近辺を移動しています。

以上4つの要素はすべて、診断を受ける方のホロスコープに入っております。その人のパーソナリティ診断の柱は、

- 1. 星達や感受点などの星座にあるかでパーソナリティの各要素(気質、性格、情緒性、行動面、コミュニケーション能力、男性性、女性性、等)の特徴がつかめます。
- 2. 星達や感受点が12ハウスのどこに入るかで、人生における自己表現の方向性(仕事、勉強、研究、恋愛、結婚、家庭、遊び、経済等)が分かります。

3. 星や感受点同士の形成するアスペクト(特定の相互角度)をみることで、より詳細なパーソナリティと運勢が診断出来ます。ホロスコープが人によって千差万別となる大きな要素です。

私は12星座というのは、地球の地軸が23度30分傾いていることにより太陽と地球の相対的な位置関係から生じる地球の周囲の12種類の波動をもったオーラ場だと考えております。その12種類のオーラ場のどこから各星達の光線が来るかということで、それぞれのパーソナリティが千差万別になると考えております。

また12星座には「支配星」と呼ばれる「大家さん」にあたる星が一つあり、その星座の性質と近い10個の星達が割り振られています。今日お話しする外惑星に関しましては、天王星が水瓶座、海王星が魚座、冥王星が蠍座を支配しています(水星、金星は2つの星座の支配星となります)。

巷で「星占い」と呼ばれるものは、実はその人が生まれたときに、太陽がどの星座にあるかで「○○星座生まれ」が決まるわけです。誕

生時に太陽が入る星座の性質は、その人の性格の土台となるもので、それだけでもある程度のパーソナリティ診断はできますが、本格的な診断は太陽系の10個の星と2つの感受点がどの星座にあるかもみることになります。

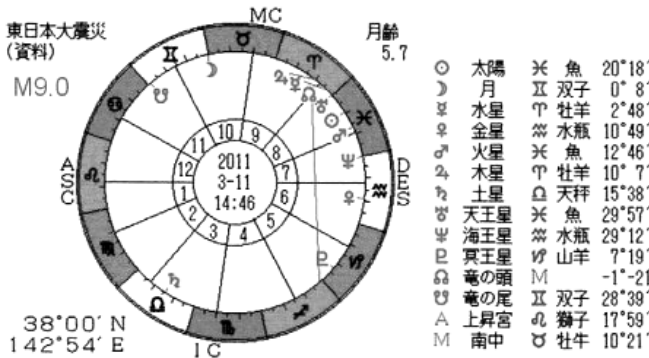
ところで、東日本大震災のときのホロスコープを描いてみてびっくりしたのは、天王星がほぼ春分点(牡羊座の0度)に入った時点で起こっております。春分点はホロスコープの12星座の起点となるポイントであって、天王星は84年で12星座を一周するので、すごく希なタイミングで大地震は起こったことになります。

天王星は水瓶座を支配しておりますが、天王星の影響力が強い方は個人については、人と違うことをしようとする個性の強い方、たとえば発明家とか科学者にもよくみられます。

天王星の世の中に対する影響は数年持続するブームや突然の出来事、事故や地震に関わることが多いのです。

過去のいくつかの大地震で見られる天王星の配置を調べてみます

と、天王星が他の星と、ほぼ同じ位置に来るときに起きやすい、また天王星が他の星とハードアスペクト(地球中心で90度、180度の相互角度)を形成するとき起きやすいことが分かっております。



さらに東日本大震災と同様、19世紀以降の天王星が春分点近辺にある時期を調べてみますと、3期間連続で大地震が起きています。
・1843年4月20日、天王星が

牡羊座に入り、4月25日に十勝沖地震(M8・0、死者46人、厚岸に津波)が起る
・1927年3月31日、天王星が牡羊座に入る少し前、3月7日に奥丹後地震(M7・3、死者2925人)が起る
・2011年3月12日、天王星が牡羊座に入り、前日3月11日14時46分東北地方太平洋沖地震(東日本大震災M9・0、死者行方不明者2万数千人)が起る

天王星の世の中に与える影響力について過去数十年に日本に起こったブームについて、分析してみました。

天王星は一つの星座を約7年かけて通過しますが、その影響力は突発的・先鋭的で世の中をひっくり返す力があるので、ブームなど比較的影響力が見えやすいのです。

たとえば1975年から天王星は蠍座に入りましたが、1981年射手座に抜けるまでの7年間で、1974年のユリゲラー来日をきっかけに、超能力、超常現象ブームが起り、1976年に日本サイ科学会が創立されました。欧米

では、ニューエイジ運動が広まった時期でもあります。蠍座は陰に隠れたものを探したそう、見えないう力・見えないものを探求しようとする欲求と能力がある星座です。この時期の私の思い出としては、佐々木茂美先生が教授をされていた電気通信大学の大学祭に行ったときに、当時話題になった「スプーン曲げ」のできる子供達も何人か来ていました。彼らにいろいろ質問したのですが、皆UFOをかなり間近に目撃しているのを見て、驚いたのを覚えております。

そのことについて私の解釈としては、他の進歩した惑星から来た「宇宙人」が人類にこういう能力があるのだから戦争ばかりしていいないで、こういう分野の研究をしないか、ということではないかと思いました。

さらに1977年には、今後占星学の診断で重視されるようになるであろう、「キロン(ケイロン)」という星が、土星と天王星の中間の軌道で発見されております。キロンは一言でいえば、「サイ」の星で私のホロスコープでも東の地平線上にきています。

1981年から1988年まで、天王星は射手座を通過し、この期間日本はバブル経済まった中で、いけいけどんどんでした。射手座の影響力の強い方は冒険が好きで経営者になる方も多い星座です。

1988年から1995年まで、天王星は山羊座を通過し、この期間に日本はバブル経済が崩壊し、世界はソビエト連邦が分裂し、ベルリンの壁が崩れ、東欧の社会主義国が資本主義国に転換しました。山羊座はホロスコープの中で、社会を象徴し、また制限と抑制の星でもあり、山羊座の影響力の強い方は、社会における地位や立場を重視します。

一番注視してほしいのは、1996年から2003年まで天王星は自分が支配している(サッカーで言う「ホーム」にあたる)水瓶座を通過しました。この期間皆さんも記憶があると思いますが、世界的にインターネットが普及した時期です。特に21世紀に入り、多くの女性もインターネットを使うようになり、楽天などのインターネット通販も伸びた時期です。

支配星が天王星である水瓶座は、革新力と個性尊重、通信・エレク

トロニクスを象徴し、水瓶座の影響力の強い方は、縦の人間関係よりも友人等、横の人間関係を重視するタイプです。

2003年から2011年まで、天王星は魚座を通過し、この期間にスピリチュアルブームが起こりました。最初に占いの細木数子氏、そして霊能者の江原啓之氏、美輪明宏氏のオーラの泉、パワースポット、パワーグッズ、私もブースを出したことがあるスピリチュアル・コンベンションなど、魚座が象徴する分野が改めて人々の関心を引き起こしました。

2011年3月12日から始まる天王星が牡羊座を通過する期間は、2018年～2019年まで続きます。日本では初頭で東日本大震災が起こりましたが、その後世界的に目立つ現象は、アフリカのアラブ諸国で始まった民衆による独裁者の追放です。

ここからは予測が入りますが、そのために前回天王星が牡羊座を通過した1927年から1935年の期間の日本と世界の歴史をみてみます。前年の1926年に昭和天皇が即位、1927年に蒋介石の上海クーデターがあり、19

28年日本では治安維持法改正、特別高等警察(特高)設置、そして有名な世界経済恐慌が1929年から始まります。1931年満州事変、1932年上海事変、日本では五・一五事件、1933年ドイツにヒトラー内閣が成立し、ナチスのユダヤ人迫害が始まります。日本は国際連盟を脱退しています。

この時期日本と世界は第2次世界大戦に向かって、対立を深めているのが不気味ですが、天王星の牡羊座通過の影響力を考えますと、牡羊座の戦闘的な特質から、社会の中での闘争や世界における戦争、大いなる経済混乱などネガティブ面での心配もあります。また今回の東日本大震災のように、自然の大災害を引き起こすきっかけもつくります。

牡羊座は12星座のトップにあり、身体で対応するのは「頭」なので、天王星がそこに入るといふことは、いい意味でも悪い意味でもこれまでの世の中の仕組みや秩序をひっくり返すパワーをもっていることになります。

海王星の影響力を考える前に、冥王星が自分の支配星座、すな

わちホームである蠍座を通過した(冥王星の最高のパワーを発揮した)1984年から1995年の期間について、考えてみます。

この時期、新興宗教が盛り上がった時期で幸福の科学やオウム真理教が会員を大幅に増やした時期です。1985年に出版した私の著書「来たるべきアクエリアスの時代」でも、いくつかのテーマの中で宗教も詳しく取り上げております。

さて、海王星が自分の支配星座である魚座に一旦入ったのが、今年(2019年)の4月4日から8月5日までで、一時水瓶座に逆行した後、2022年2月3日から2025年3月30日まで約13年間継続して魚座を通過します。

この海王星がホームを通過し、最高のパワーを発揮する期間における影響力を、西暦701年以降、1862年まで8回あった海王星魚座通過期間における日本と世界の歴史を分析してみます。

- ① 701年～716年
- ② 865年～879年
- ③ 1029年～1043年
- ④ 1192年～1207年
- ⑤ 1356年～1371年

- ⑥ 1520年～1535年
 ⑦ 1684年～1698年
 ⑧ 1847年～1862年

これらの期間から共通の事象を分析しますと、①～⑧のすべての時期において、古い国家体制が瓦解し、また世界史においてもかなり重要な新しい国家、新しい政府が生まれています。

また③、⑥、⑦の時期には宗教を土台にした集団のパワーが強く、政治的なパワーを発揮しています。

⑦、⑧の時期に代表されるように自然科学の父と言われるニュートンの『万有引力の法則』の発見から本格的な科学が発展し、ダーウィンによる『種の起源』から、聖書を離れた進化論が始まったように、科学・文明のエポックメイキングがありました。

以上を鑑みますと、占星学的に判断して、2012年以降2025年までに以下のことが始まり、日本と世界を変えていくことになると予測します。

◎人々が現在よりもっと精神的なもの、見えないもの、スピリチュアル面に目を向けるようになり、真の生き甲斐を求め、利益追求で

はない社会的な活動に多くの人が赴くようになる(現在特に米国でその萌芽が見られる)。

この期間前半は人物・組織とも玉石混交だが、後半に本物が残っていく。

◎科学・技術も現在のエコ志向がもっと高まり、自然エネルギーだけでなく、空間エネルギーも含めた画期的エネルギー発生技術が生まれる。それは、車や航空機等の移動手段に大きな変革を生み、さらに人間型ロボットである「ヒューマノイド」のエネルギー供給にも使われ、日本では少子化による労働力減少を補うヒューマノイド社会が先行する。

日本における人口減少↓労働力減少、老人・障害者介護問題の解決がされる。

◎現在の脳科学に対する関心が発展して、人間の潜在意識、潜在能力への関心と研究が大きく進展する。装置の開発や実験によりそれらが科学的に実証され、一般の人々の理解と訓練・応用が進む。

医学も心身一如の把握が進み、ホリスティックな方向性により先進的な装置も開発されて、予防医学体制が進む。

一般の人々が使える脳力開発装置、予防・治療装置が種々開発され、信頼・認知を得る。

◎多くの国で国家、政治体制が揺らぎ変動し、新しい国家、政治社会形態が模索され、先進国から変革が起こる。中国や北朝鮮の政治体制も変革が起こる。

テロや動乱も続き、完全な世界平和まで道は遠いが、共存共栄が模索される。

☆ ☆

占星学について詳しく話して頂いた。現在の自分だけを考えると星と未来とは関係ないように思ってきたが、別の観点からすれば、未来の事項も含めて全ては決定されており全宇宙は全て関わりあっているのかも知れないとも思ってくる。

当日の参加者は会員15名、非会員17名、合計32名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。

ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

第三百五十九回関西日本サイ科学会研究集会報告

「科学と霊性の融合する時代」

講師 サアラ氏

とき 平成23年6月18日(土)
 ところ 大阪科学技術センター

サアラ氏は宇宙の記憶を持って生まれ、14才で宇宙人とコンタクト、予知透視能力が全開。17才で出会ったマスターの指導で自己回帰の道にシフト。その後、スピリチュアルな人生を提案する Super Life Gallery を設立し主催。精神世界の科学で奇跡を起こす zero point を開講。今後の地球に関する情報会などを開催。

著書「宇宙セントラルに吸い込まれる地球 アセンションの超しくみ」ヒカルランド。

古代文明の神官達は天文学者、数学者であり詩人であった。物事の探求を科学と霊性の二つの方法で行ってきた。シュメール文明でも歳差運動の周期の26000年

を知っていた。やがて科学と霊性の分離により科学技術を失い貧しい生活になる。

これからは科学と霊性が融合する。それは貨幣経済が人にチャンスをもたらすと共に真実から遠ざけるからである。イエスや仏陀の世界は科学的宇宙観である。

☆ ☆

私サアラは宇宙人の意識を持って生まれてきている。今は宇宙人であるということが大っぴらに出来る時代になった。

朝起きたら8kg痩せていたこともあるなど一般の方と肉体的にも多少違うところがある。

現在ET、ソウル、ワンダラーと呼ばれる人が地球上に10億人以上おり珍しい存在ではないが宇宙人の意識に目覚めているかどうかは分らない。

私の場合生まれた時から生まれる前の意識を持っており、視覚聴覚の意識が一般とは異なる。

小さい時は三次元世界よりも四次元世界がはっきりしていて、天女、マリア、ヨゼフなどが仮の姿で毎日現われ、一緒に遊んだり、

教わったりしていた。ほかの人には見えないので周囲は私が何をしているか分らず困っていた。

三次元の世界ははっきりわからず、よく物につまずいた。母もはっきり分らなかったので家族でない人と手をつないで、迷子になったこともある。

ある年代まで育ったある日からスイッチして三次元世界の方がはつきりし、四次元世界がぼんやりしてきた。それから普通の人間としての人生になった。今は両方の世界になれている。



私のことを似非科学者という人もいるが、そういわれるひとに「水からの伝言」の著者江本氏がおり3月に話したが彼はすばらしい。二人で話した結論は人間一人ひと

りのパワーは素晴らしい。ということであった。

かつてここにムー大陸があった。人が記憶していることは実際にあったことでありやがて証明されるであろう。

それらのことを催眠術をかけられて喋りだすことがある。人の小脳の中の情報は大腦よりも大量にあるからである。

過去にはムー、レムリア、アトランティスなどの時代があり、やがて歴史に現われるシユメールチグリス、ユーフラティスと続いた。

一般にははじめの時代はイメージでは素朴な感じを持つが、そこにはすばらしい文明があった。

その時代にはコンピュータ制御された水の灌漑施設等もあった。私は古代エジプトで行をする家系に38回生まれており、この記憶は明確に残っている。

当時巨大なホストコンピュータがあり手許にはパソコンはあり、画面はホログラム3Dで空中に出る。パソコンは今のものより小さくしかも只であった。

当時脳科学も進んでおりピラミ

ッドの壁画の中に脳の手術の絵や頭に電極をつけて治療しているものなどが見られるが、それらに混じってパソコンらしきものが見られる。

教育システムは今とは全然違っており皆が優秀であった。

中世になると逆に退化した感じである。地球には1億3千年前からいろんなグループの宇宙人が沢山降りており、中には地球人を支配しようとするグループもあり、目的達成のため暴力なども使って実験している。ただ宇宙には善悪の基準・判断はない。正義をふりかざすと誰かが傷つく。

レムリアでは精神性が高く、所有の概念はなかった。物欲が無く、スピリチュアルな面が高く科学の探求を行っており科学とスピリチュアルは一体であった。

アトランティスではエコノミストが主となり、経済性と科学を追求している。

天体や自分の外側は自分の素粒子と共振することを知っており、宇宙を知り、自分を知るために科学、天文学が発達し、天体を観察して自分の将来を予測していた。

やがて所有している者は誰か。労働と対価の問題を作り、一部の者が権力を持つことになる。

中世までは科学と霊性の間は分れていなかった。当時の支配者である教会が科学書を制約し禁じていた。

デカルトの二元論は科学とは何か。科学者はどうあるべきか、疑う眼を持つこと、実験による裏づけ根拠の必要性を論じ、それからそれまで融合していた科学と霊性が分離する。

このような流れが科学を無機質な味気ないものにしてしまった。これが江本氏を似非科学者としてしまうような流れに繋がる。

アンダーグラウンドの世界では種々の技術が開発されているが中々表にでない。フィラデルフィア実験では時間空間の瞬間移動実験があり、中には火星への移住者を見たり、地球製UFOの見聞もある。

フリーエネルギーの技術も実用に近づいているが、それら将来の技術が開発されると困る人が居り、

そのグループが開発を妨げている。

本来小学校から量子力学を教えるべきである。ニュートン力学は日常に出会う重力の世界の問題であるからことさらに教える必要はないだろう。

量子場と重力場は根本的に異なる。宇宙の世界は量子の世界であり、面白い振る舞いをする。実験して結果を出すのは膨大な装置が必要で金がかかる。

量子の世界観は仏陀も教えている。量子場はニュートン力学の世界ではない。電子は波の性質を持ち分身の術のように同時に存在しているが人が観察すると粒になる（今の私は霞のような電子を見ることができる）。

夫々の人生において未来は別々のタイムラインがあり、それは今ここにある。

自分の意識でタイムラインが変わる。移動もある。自分をどう思うかによって自分が影響されている。自分はきれいだと思うか思わなくて見た目によいと思うか思わ

ないかによってタイムラインが変わる。

つまり日々の考え方で生活が異なってくる。夫々の意識が支配する世界である。

自分はどのような人生を送ろうとしているのか。どのようなタイムラインを取ろうとしているのか。悔いの無い生活を意識することが大事である。

☆ ☆

今回は質疑応答の時間が充分あり、いろいろな質問が出て皆さん満足しておられた。その中でも生まれ変わりに当たって数人の魂がミックスされて生まれてくることもあるという話が印象的であった。サアラさんがエジプトで生まれ変わった時は魂のミックスはなかったということである。

サアラさんは見た目には一般の人と同じであるか。過去の転生前の出来事、四次元世界のことなどを日常生活のように語られていた。時代の変化が身近になってきたことを感じたことである。

なお当学会の創始者である故関

英男博士は論文で「科学と宗教は一致するものであること、人は宇宙の創造主または宇宙の頭脳センターでコントロールされていること」とについて述べられている。

当日の参加者は会員17名、非会員52名、合計69名、手話通訳2名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。

ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

11月12日(土)塩小路光孚氏「菅原

道真公の知られざる秘話、篆書

(てんしよ)の持つパワー、たつ

(龍・竜・辰)の字の不思議」

12月10日(土)忘年放談会

1月21日(土)檀上洪司氏「スピリ

チュアルの世界を探るー潜在意識から宇宙意識へ」

2月18日(土)徳永康夫氏「宇宙か

ら見た般若心経」

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

けない中性の素粒子群が必要である。中性というのは(正、負の和が零)を意味する。上の5)の(5)から推定出来る様に、発功時の経穴からは電子(光子、 e^-)、チャクラからは(微細身素粒子、オーラ)が放射されている。これらのパルス状放射が、周辺にある γ 線(低線量放射線)と作用して、(c)として、陽電子(e^+)を生み出し、経穴から放出される電子(e^-)、とこの陽電子(e^+)が組み合わされて中性のサイ(PSI-pair)を形成する、と考える事にした。なお、これの裏付けとして、念力(PK)の生起しやすい気場(外気集積地)として知られている断層などでは、高い低線量放射線(0.12Sv/hr程度)が測定されている。またそこにはバックグラウンドとしての低線量放射線(0.04Sv/hr)もある。経穴(主として光子群)からパルス状に放出される電磁波(光子、 e^-)は、不確定性原理により、極短時間(Δt が小)の時は、エネルギーは極大(ΔE が大)となるので、 γ 線を駆動して陽電子(e^+)を産み出す事は可能であろう(γ 線からの対生成)。さらに、これらの裏付けとして、自然環境の中で、比較的安定に存在し得る素粒子は電子(e^-)である。そして、これらの諸変化は極短時間(Δt が極小)に行われるので、見かけ上は、経穴(e^-)やチャクラ(微細身エネルギー)から、サイ(気、PSI-pair群)が放出される様に見えるのであろう。つまり、経穴やチャクラからは中性(零)としてのサイ(気)の放出・吸収があると考えている。このサイ(気)は、電子、陽電子、微細身素粒子から成り、これをPSI-pair群、PSI-spin群と呼んでいる。換言すれば、低線量放射線として環境に存在している γ 線の消失に関係する陽電子(e^+)と経穴から放出される電子(e^-)とを組み合わせたもの、さらに是をより安定化する為の陰性ならびに陽性の極性を持つ微細身素粒子(エーテル、チャクラから放出)がPSI-pairを取り囲んで、より安定なサイ(気、PSI-air群)を形成している(総合和で零)。さらに、微細身エネルギー(オーラ)は零意識状態の生体のチャクラ(エネルギーセン

ター)から発功時により多く放出されると判断している。

以上、発功時の経穴(e^-)やチャクラ(微細身素粒子)からは、見かけ上、中性の外気(サイ、PSI-pair群)が放射されており、これが(b)として直接原子の原子核に作用して、 γ 線等の高エネルギーを放出させている、と考える事が出来よう。

7) 零場の形成方法

アルミ板(メタル)の引張り試験片に載荷重方式で力を加えて、念力(PK)生起のエネルギー条件を求める為の実験を行った。試験中の試験片の念力生起の局部には、相殺零場が形成されている。相殺零場とは、内力(発生する内部力)と外力(外から加える載加重の力)とを拮抗対峙させた局部の接触点で零になる範囲(部分)を言う。実験によると、載荷重を次第に大にしてゆき(零が大になる)、試験片の性質が変わる変曲点(降伏点)に達すると、未知現象が生起しやすくなる事がわかった。載荷重方式というのは、オモリ(分銅、荷重)を一つ、一つ載せて、力(荷重)を加算することであり、いくら慎重に行ったとしても、載荷重の瞬間の衝撃力が試験片に作用する筈である。静的な力とこの衝撃力の比は、最大で2~3倍もある。つまり静的に作用させる場合の内力よりも2~3倍もの余分な力が試験片の内部に生じ、これを補うために、局所の内部では、2~3倍の衝撃に反発する力が発生する。この衝撃反発力が零点における未知現象生起に関係すると判断している。これを、二要素間に生ずる摩擦の場合に置き換えて考えてみる。摩擦力に対する逆方向摩擦力が、もし、これが負性の時は、乾性摩擦つまり反対方向摩擦となり、現象をさらに進行させる方向に摩擦が働くことになる。これに類する現象が、念力の進行する過程にも影響する。同様に「ゆらぎ」又は「カオス」にも関係する、と判断している。

(むく)、サイコロ板の原子の価電子数、アルミ板の原子核の影響、アルミを基準とした時の銅や銀の原子核の影響。鉛、ヘキサメチレンテトラミン、二酸化ウラン等との比較検討、ならびに原子核の安定度との関係。これらの多項目にわたる系統的な実験と解析から、結論として、サイは原子の中の原子核に作用して同位元素としての不安定な中性子からエネルギーを得ていると結論した。つまりPKの対象物質の原子核の中から念力生起の為のエネルギーを得ていると結論した。

(4) 中国人体科学会誌の編集局長のRunloong ZHUらは「人体科学における最新の進展状況」の題目で、18年間にわたる中国人体科学会の研究状況を報告している。本稿に関係した部分のみを紹介する。発功に伴う生体からの放射を、(4-1) 特異放射と(4-2) 気功外気放射に分類している。結果として、(4-1) では、IL700型放射線検知器を用いて直接感知したところ、幾人からは、360MHz(最大値1GHz)の電磁波が測定された。また熱ルミネセンス線量計(Type FJ-369)では、最大放射線量として、120mRをえた。(4-2) として赤外線、高エネルギー粒子、静電気、磁気等が測定された(ISLIS, Vol.17, No.2, 1999, pp.244-263)。

(5) 電子(光子群)等の放出が認められた。

(5-1) 新技術開発事業団(生物フォンプロジェクト)の宇佐史らの報告によると、気功師の発功に伴って鋭いパルス状の生物フォトンが計測された(1989年、日本・人体科学会設立総会)。

(5-2) 上記の(4-2)参照。

(5-3) 日本念写協会の宮内力、福田豊によると、MK師を被験者にしたとき、暗箱内にパルス状の物理光の湧出しが認められた(1977、念写。念電現象の物理学的研究、日本念写協会)。

(5-4) 日本サイ科学会の佐々木茂美、小川雄二らによると、MK師を被験者としてサイ実

験を行ったとき、暗缶内に光子群(念球)のパルス状発生が生じた(サイ科学、Vol.2, No.1, 1977, pp.7-14)。

以上から、発功した時の気功師の皮膚から間欠パルス状の電磁波の放出があった、と判断する事が出来よう。

6) 実験結果の検討と考察

以上の5)の(1)~(4)の実験結果は、放射線エネルギーとマクロPKとは関係が深い事を暗示している。しかし、マクロPK生起の際に、被験者の生体からガンマー線(γ 線)程度の非常に強い放射線が放出される、とは考え難い。しかし、現実の実験では、推定できない程の高い値のエネルギー値が測定されている。これをどの様に判断すべきか? 結果として、念力(PK)は原子核崩壊(原子変換)並びに放射線エネルギーに関係していると考えことにする。周知の様に、放射性物質は、原子核の中に余分な中性子を含み、不安定な状態にあり、自然の環境条件下で β 線や γ 線などのエネルギーを放出して安定化する。これを原子核崩壊(自然崩壊、原子変換)という。また、ガンマー線の生成・消滅には約500keVのエネルギー変化が必要であり、ふつうは、3通りの方法を用いる。一つは(a) 一對の電子(e^-)と陽電子(e^+)を対衝突させて γ 線を生成させる場合、並びに、(b) 不安定な原子核を励起させて γ 線エネルギーを放出させる場合。これとは別に(逆に)、(c) γ 線をミクロの真空中に放射したときに電子(e^-)と陽電子(e^+)が対生成される場合、のある事が知られている。マクロPKの場合には、(b)の原子核の励起と(c)の陽電子(e^+)の生成がおもに関与しており、これを駆動させるのにサイ(外気)が必要である、と考える。原子核は陽子と中性子からなり、球状で(+電位)をもつ。そして、外側にあって、(-電位)の壁の役割を果たす雲状の電子に囲まれて、一つの原子として存在している。従って(b)のように、外部(外側)から原子核を励起する為には、(-電位)の電子雲の抵抗を受



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

未知能力・現象の出現状況(2)

佐々木 茂美

5) 生体からの外気放出

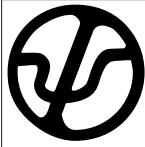
零意識状態(現象生起時のASC)に入った時の能力者の経穴やチャクラ(エネルギー・センター)からは、未知現象生起時に、パルス状の様々な電磁波の放射が測定されている。

(1) 上海原子核研究所の顧函森は、有名な趙偉気功師が発功・放射した時の外気信号のエネルギー分布曲線を、フィルターによって赤外線から紫外線までを除去した放射線計量器(シンチレーターと光電子増倍管から構成)を用いて計測した。結果として、放出された放射線は1~9eV範囲内の約4.2eVにピーク値を持つエネルギー分布である事が判った(1986年9月19日~22日、上海、第1回国際気功セミナー)。

(2) 中国科学院高エネルギー物理学研究所の陸租蔭は、1987年に、高名な嚴新気功師を被験者として、放射性物質の原子核崩壊速度と外気の関係を知る為のテストをした。体外の物質「不安定な中性子を持つアメリカシウム241」に外気を直接放射してその変化を調べた。ただしAm241の半減期(自然放出により、1/2に崩壊する)は458年であり、 α 粒子(ヘリウム)、 β 線(電子)、 γ 線(電磁波)として、59.6keV(26.4+32.2eVなど)を放出してネプツニウム237(Np237、半減期 2.2×10^6)に変化する事が判明している(陸租蔭

の説明)。テストは87年9月10日(第1回)と10月6日(第2回)、発功は各20分、各1,2,3,4次テスト、合計32試行であった。結果を見ると、原子核の崩壊速度は(正)側または(負)側に変化している。一般には、崩壊速度は不変であると言われているが、発功・放射によって自然崩壊とは別の崩壊速度の加速並びに減速の変化が生じている。

(3) 外気(サイ)が直接PK対象物に作用したと考えられる場合がある。念力(PK)の対象となる物質を構成する原子核の中の子が、被験者の意念に従ってエネルギーに変換されてマクロPK現象が生起した、と考えられるものを紹介する。スウェーデン人のH.Forwaldが、米国のDuke大学で1950年代に行った16mm角のサイコロ投下のマクロPK実験が、超心理学会誌に印刷・報告されている。実験は、サイコロを落としながら被験者が念力を作働させ(精神統一して念じる)て、落ちる場所を決める、という内容である。多数回行われた実験結果にはt検定などの統計処理が実施されており、サイコロに働く念力をエネルギーに換算して表示している。PKの結果に及ぼす影響因子として、木材(赤ぶな)を用いた時のサイコロの表面の粗さ、そのサイコロに貼り付けるアルミ板の厚さ、サイコロ全体をアルミにした場合



サイジャーナル

月刊
24-1・2
第401号

日本サイ科学会 平成24年1月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎ FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎ FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|--|--|--|--|

年頭のご挨拶

会長 佐々木 茂美

謹賀新年 あけまして おめでとございます。本年がよい年であります様に、お祈り申しあげます。



昨年をふりかえってみると、問題の多くは、三陸沖を震源とする3・11の東日本大震災によつて与えられたと言えます。想像を絶する程の大変な1年でありました。被害を受けられた方々の一日も早い復興をお祈りし、同時に、犠牲になられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申しあげます。

千年に一度と言われるM9・0の大地震が3月11日(金)に、三陸沖に、発生した。岩手、宮城、福島県では多くの家屋が崩壊し、続いて押し寄せた10m余の大津波によつて流出し、行方不明や死亡者は約2万名を数えており、これに伴つて多くの避難者が出た。約10万名を数える自衛隊員による援助活動、米軍の「ともだち作戦」、各種のボランティア活動等があった。さらに引き続き福島原発事故による放射線放出、被曝による健康不安、放射線避難民、汚染による風評被害など、未曾有の大災害であり、これらはいまも続いている。

震源地近くの東北地方の住民は、M5以上の二〇〇回以上を数える余震の為に、いつも身体が揺れている感じがしたり(心身がおかしく成る)、または電気(計画停電もある)、水、食料、通信、ガソリン、移動・搬送手段、など多くの生活ラインを失い、心底からの惨めな思いを経験した。特に放射線汚染についての情報不足と

※1、2月の本部例会予告と3月の宇宙生命研究分科会予告は、2頁以降に掲載されております。3月の本部例会はお休みとなります。

今月号の記事

- ◎年頭のご挨拶
- ◎御寄付御礼
- ◎一月本部例会のお知らせ
- ◎事務局からのお知らせ
- ◎関西サイ科学会一月例会予告
- ◎関西サイ科学会二月例会予告
- ◎二月本部例会予告
- ◎第15回宇宙生命研究分科会予告
- ◎七月本部例会報告
- ◎第三六〇回関西サイ科学会報告
- ◎第三六一回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎未知現象を発生させる(注意)

不正確、並びに風評被害は多大の不安と心配を呼んだ。朝、起きるとすぐにTVニュースにかじり付き、安心したり、あるいは不安を募らせたりした。いまでも多くの市民は、本当に大変な思いをしている。除染、放射廃棄物処理、低線量被曝の健康への影響などに英

知を結集してあたって戴きたい。近くにある現実面をみると、低線量被曝地の校庭や樹木等をいくら除染しても、他県に避難した子供は帰りがらない場合があり、さらに或家庭では福島産の水は飲まない、食料も食べない場合もあるという。低線量被曝の生命に及ぼす影響の研究促進が望まれる所以である。他方、原発事故に関する政治の対応は重要である。我が国のこれからのエネルギーの生産、管理、消費。電力の需給等の政策をどの様にすべきか。原発に代わるエネルギーの開発と供給が早急に望まれている。電力が不足する場合には、現在の我々の生活程度を切り下げること、ならびに物造りの拠点が海外に散らばり、産業空洞化が進む事等が懸念されている。

大震災以外の記憶にのこる「陽」の面をみる。6月の日本では、スーパーコンピュータ「京」864台のすべての設置が完了し、性能の世界一が奪還されたと言うニュースが飛び込んできた。7月には「なでしこ・ジャパン」が世界のPK戦で米を破り、W杯を獲得したという快挙があり、9月になる

と、光よりも速い素粒子が観測され、相対性理論の矛盾が議論され、物理学の根底が覆される可能性がでてきた、と報道している。

大震災以外の「陰」の面として、3年前のリーマンショックが持続したり、夏のギリシャの債務不履行等がある。これらが欧州諸国に波及して、大変な不景気風を世界中に吹き込んでいる。その他、中近東等の政治不安がある。つぎに異常気象としての天災を見る。初夏には、50年に一度と言われる大雨によるタイの大洪水があり、首都バンコク中心部付近まで浸水した。夏には猛暑と干ばつ、10月にはトルコの大地震(M7.2)。日本では関西を襲った台風。新潟や福島の大雨による洪水被害があった。一方、我が国の教育の荒廃、モラルの低下、円高、デフレ、雇用減少、少子高齢化、年金の不正受給と消えた高齢者などの家庭崩壊。社会を覆う不景気風。凶悪犯罪の増加、経済外交面の国際的地位の低下、等々があり、それらは現在も進行中である。

サイ科学会として我々は何を為すべきか？ が、学会の東京役員

会でも議論された。新エネルギー、水、UFO、死後の世界、意識など。対処の方法として、実用性と関連させる、ゲーム感覚を取り入れる、若い会員を増やす、等の意見があった。論議は多様であり、何れもサイに関係した重要な問題である。

さらに小生は、(1)新エネルギー源、(2)スカラー波(ゼロの縦波)、(3)サイを用いた放射線の有効利用、の研究を提案したい。それぞれの現象の性質、測定法、メカニズム、正の面と負の面、等を国の協力を基にして(可能であれば)進めていきたい。また原発事故に関係するものとして、(4)放射線を有益な電気エネルギーに変換する。(5)原子核の崩壊速度(状況)をサイ(中性、ゼロ)に依って制御する。(6)ラドン温泉など、低線量放射線の人体への作用の研究促進。つまり「毒薬を生命源に転換する」ことを提案したい。具体的にはサイジャーナル等で議論をする予定にしたい。会員の皆様が、本年も宜しくご指導とご協力をお願いします。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(12/10受領分まで)

金三十万円也 品川 次郎 様

一月本部例会のお知らせ

縄文スピリットでサバイバル

講師 ミッツィ植田氏

3・11以降、これまでの生き方・物の見方・価値観が劇的に変化しました。今こそ日本人がDNAの中に持っている真の「日本人魂(スピリット)」の底力を発揮するときにきました。

これからしなければならぬことは「サバイバル」です。自分の生存を他者に依存するのではなく、農地の確保、水の確保、汚染されていない食料の備蓄、サバイバルに必要な情報を共有できるコミュニティへの参加など、「自給自足」のライフスタイルに転換することが、生き抜くために必要不可欠です。

戦争もなく、思いやり・分かち合いで共存共栄の社会を1万6500年も継続した「縄文スピリット」の智慧に学び、日本人がこの原点に戻ればサバイバル可能です。

マヤの予言、八ヶ岳山麓の縄文遺跡、リモート・ヴェューイング、直観力の鍛え方などを紹介しながら、これからの生き方について提言します。

※マクモニーグル氏とも親しく貴重なお話が聞けると思いますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●ミッツィ植田氏のプロフィール

・(株)UIC 代表取締役
・インターナショナル・ハグ協会 会長

京都市生まれ。大学を卒業後、渡米。シエフィールド航空学院卒。独自に開発した脳力アップ法で、米国の「自家用飛行機パイロット」「地上教官」免許を異例の2カ月で同時スピード取得。

米国FAA連邦航空局の最難関国家試験と言われる「運航管理者免許」日本人女性初の合格者。コンチネンタル航空で運行管理者としてオペレーション業務に携わる。

現在、教材開発、通訳、翻訳、作家活動を行うかたわら、「脳力開発セミナー」「超英語法セミナー」「リモート・ヴェューイングの手法を使った「直観力養成セミナー」などを開催している。

著作に「マクモニーグルが語るリモート・ヴェューイングの世界」「ヘミシンク入門」「浄化準備」「覚醒準備」「あなたも残り5%の成功者になれる」「ミッツィの夢がかなう7つのステップ」、DVD「チャクラ この神秘なる輝き」覚醒へのレインボウ・ブリッジ」、CD「自宅でもできる簡単イルカセラピー」、ミッツィの「夢がかなう」魔法の音」

日時 平成24年1月14日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

◎事務局からのお知らせとお願い

☆本部例会や大会等での運営ボランティア募集中

受付での資料配付、講演者スライド発表時の電灯操作、コンピュータ操作などのお手伝いをしていただけませんか。当日の参加費が無料になります。

●左記にご連絡願います。

office 21@psi.mail-box.ne.jp

関西日本サイ科学会
一月例会のお知らせ

スピリチュアルの世界を探る
潜在意識から宇宙意識へ

講師 檀上 洪司氏

日時 平成24年1月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分靫公園内
会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会
二月例会のお知らせ

宇宙から見た般若心経

講師 徳永 康夫氏

日時 平成24年2月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分靫公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

二月本部例会予告

サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介

講師 小林 正典氏

(茨城大学)

平成23年度の論文集「サイ科学」に掲載させていただきました二編の論文を分かりやすく紹介します。

一つ目はタイトルが「ミツバの種子の発芽に及ぼすDC・AC混合磁場処理水の効果」ですが、ミツバの種子の発芽に及ぼす磁界の影響に関するものであり、周波数7・8 Hz シューマン共振と地磁気とに関連した研究で、水の記憶と関連したことを紹介します。

二つ目はタイトルが「ゼロ場と特異等ポテンシャル線の図形の性質」ですが、点電荷がつくる静電場の中のゼロ場に関するものであり、そのゼロ場の点をとおる等電位線の実に均衡のとれた美しい図形を紹介します。そしてできれば、電気や磁気を使わないう宇宙エネルギーをとらえる実験を試してみたいと考えています。

※現在茨城大学の教授をされており、関英男先生や佐々木茂美先生の論文も沢山読まれて、従来科学とサイ科学の両方の視点をもっておられる興味深いお話になると思いますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●小林正典氏プロフィール

昭和22年6月新潟県佐渡島に生まれて、佐渡高校、茨城大学工学部電気工学科に学び、修士、助手、講師、助教授として現在電気電子工学科教授。電気磁気学、電磁界理論、マイクロ波工学、磁気生物学、水の磁気処理、宇宙エネルギーなどを研究。1981年工学博士(東京工業大学)。

関英男様ご著書を勉強中。黄金比のピラミッドのパワーはすごい。

日時 平成24年2月11日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ8階902会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

第15回宇宙生命研究分科会

第5回ヒポクラテス・シンポジウム

ヒポクラテスは西洋医学の祖。品川の桜を眺めながらの、健康シンポジウム！ 激動の2012年で如何に健康を保つか？ 皆さん、健康第一でいきましょう！

日時 平成24年3月31日(土)

午後1時～5時30分

会場 品川健康センター会議室
品川区北品川3・11・2203・5782・8507
交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

J R 京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円
会員 一〇〇円(日本サイ

科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・国際問題研究会会員)

※会員以外の方の参加も大歓迎

七月本部例会報告

なぜあなたに大きな奇蹟が起らないのか？

東日本大震災にも関連して

講師 古村 豊治氏

今回日本サイ科学会でのお話は2回目なのですが、今初めて私のお話を聞く方もいらっしゃると思いますので、ちよつと自己紹介を兼ねて、五六分お話しさせていただきます。

私は博士でもありませんし、何の肩書きもありませんが、私が一番大切にしておりますことは、どんなことであろうと、再現性があることはどんなに今の科学で説明できなくとも、採用しております。それがどういふことかと申しますと、今は常識が昔と全然違っています。昔の常識というのは、いわゆるニュートン、デカルトの300年前からの合理主義でありま

すが、今はほとんど量子力学の世界でして、今からお話すること何か変なお話だとか、何か宗教のようだ、と思われたら、その方々は今日からパソコンも携帯電話もみんなお止めになってください。それらは全部量子力学の原理から生まれているわけですし、ニュートン、デカルトの合理主義だけでできているわけはありません。

しかし何故それが分からないかと申しますと、大学でいわゆる文系ではなしに理系の方に行かれた方でも、やはりその専門のところに行っていないと、量子力学的なことは分からないのです。したがって、あくまでも常識で考えたら、「何だ、それはオカルトじゃないか!」ということになってしまっているのですが、ところがそのオカルトが正しいという時代に今入っている、ということをお話に申し上げておきます。

それで私は何をもって正しいかと申しますと、先ほど「再現性」を挙げました。たとえば私がたまたまあることをやってみてうまくいったときに、あなたやってみてごらんと言ったってできなかったら、それはおかしいということになります。誰でも

もできるということが再現性があるということになります。これが一番正しいことだと私は理解しております。



そこで私が特別皆さんよりもういふ面であるいろいろなことが分かるのかということをお話に申し上げておきます。だれでも自分の中に「本質生命体」というものがあるわけですね。この「本質生命体」から情報を得る方法を「フーチ」と言ったり、「オーリング」と言ったりしますが、私どもは「IFテスト」と呼んでおります。「オーリング」は通常何かに触れて、判断しますが、「IFテスト」は「イメージフィングテスト」の略で、アメリカにいるA子さんの胃について診

断する場合は、「A子さんの胃」をイメージすれば、「オーリングテスト」ができる方法です。

振り子を使って診断する「フーチ」というのは中国の呼び方で、日本でも古事記の時代からあり、「天津金木(あまつかなぎ)」といいますが、西洋では「ペンジュラム」と呼んでおります。これらの答えはどこから来るかと申しますと「本質生命体」から来ます。

したがって「本質生命体」のことを、ある人は「サムシンググレート」、またある人は「ハイアーセルフ」、さらに「神」や「仏」と呼ぶ人もいます。言葉はなんであれ、あなたの奥に本物があるということとです。

ここからの答えが「フーチ」であり、「IFテスト」なのです。それでは「IFテスト」は誰でもできるのか、と申しますと、実は皆さんの心にゴミがかぶっているのですね。「本質生命体」からの情報がゴミによって、曲げられてしまっています。ですから、これらのゴミをすべて取れば、全部正しい情報を受けられます。

ゴミにあたるものは、たとえば憑依とかノイズとか過去世のカル

マというものです。ノイズの種類は、心の中にあるエゴ、色欲、怨念、トラウマや常識などで、これらのものがすべて取ることが大切です。

ところで、量子力学ではすべてのものが波動であって、かつ粒子であるといっております。すべてのものの大元である素粒子は人間の意識に反応します。たとえばガンも素粒子でできておりますから、人間の想いからガンを消滅させることもあり得ます。

仏教でも「すべてのものは、唯心所現である」といっております。「この世の中はただ心が現れるところ」ということです。キリスト教では「汝等欲するものあらば、すでにそれを得たりと信ぜよ。しからば汝はそれを得ん。」といっております。

今後のお話をしますと、2011年から太陽フレアが猛烈に大きくなっており、来年再来年もさらに大きくなっていく可能性ががあります。マヤの預言の新しい解釈として、「コルマンインデックス」、またインターネット掲示板やブログなどディスカッションサイトか

ら言葉を収集解析するプログラムで膨大な情報を瞬時に解析し、未来を予測する未来予測システム「ウェブボット」、日本の「日月神示（ひつきしんじ）」、さらに「聖書の暗号」から未来を総合的に判断しますと、80%当たっております。

この4つから今後を占いますと、今年（2011年）の10月、来年の12月、再来年の8月が非常に厳しい時期となっております。実はこれらの予言が今年の3月が非常に厳しいと出ていたので、私も「フーチ」で調べましたら、その通りと出たのですが、「3・11東日本大震災」が起こりました。

これらはノイズがなければ、本質生命体の答えでみると、すべて分かってしまうのです。私はゼ口から発想するのはなかなか難しいのですが、誰かが言い出したことがどの程度当たっているかはすべて分かれます。

なぜかと言いますと、私は遠い過去世から何回も「フーチ」をやっていたのです。それで「フーチ」を始めたら人様よりは同じ時間でもほとんど上達し、今年で30年になります。

また私はビジネスを40年やって

おりましたので、答えの出ないことをやるのは大嫌いで、精神世界のおたくみみたいなのは大嫌いです。やったら明日答えが出る、ということしかやりません。したがって私が今日お話ししたやり方で答えの出ないということは絶対ありません。

東日本大震災以降の政府や多くのメディアの発表は大東亜戦争当時のラジオ放送「大本営発表」の如くであります。

たとえば原発事故で東京電力が「節電」を訴えましたが、インターネットのキャッシュで昔のホームページを見れば過去の電気の供給量が分かれますが、原発なしでも余裕のある供給をしているのです。数年前の原発事故でも検査のため一年間くらい多くの原発を止めていた時期がありました。節電しろという話は出ませんでした。東京電力が「節電」を訴えるのは、原発がないと夏も暑くて大変ですよ、と原発を押しさえないのです。

私の方で皆さんに是非分かってほしいことを申し上げます。

一つは「一承頭命（いつししょう

けんめい）自然法爾（じねんほうに）に頑張ると事は成る」という言葉ですが、私の造語の「一承頭命」の「一」は「すべて」という意味、「承」は素直に受けるということです。「あなたに起こった事は過去世から今生まですべて自分に責任があることなので、そうであればすべて文句を言わずに素直に受けましょう！」ということ。す

「頭命」は、そうすると命が顕現するということになります。「自然法爾に」ということは「すべて神様にお任せして」という意味で、「ごてごて言わずにニコニコ笑っていると事が成るよ」という意味です。すべてこれで解決している人が非常に多いのです。

二つ目は「何事にもとことん感謝すること」が非常に大事であり、ツキに恵まれるということは、心にノイズがなかったら、自然に起きてきます。

「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？」の答えは、宇宙銀行への貯金が足りないからです。たとえば道を歩いていてゴミがあったら自分で掃除して誰にもほめられないということ。ほめて

もらったら貯金になりません。過去に貯金を沢山してあると、奇蹟が起きやすいのです。心がノイズだらけで貯金もしてなければ、奇蹟は絶対起こりません。

宇宙銀行の貯金はどうしたら増えるか？ 反対給付を求めない行為をじゃんじゃんすることです。自分が困った、困ったといってどうにもならないときに、それをほっておいて誰かのためになることを一生懸命やってあげていると、自分のほうも急にうまくいくのです。これからは「give & give」の時代であり、それどころか「give & give & give more」で行動してください。将来を「フーチ」で調べてみると、2020年あたりには地球もすばらしい時代が来るでしょう。

「虚の問題」というのがあり、この世の中で時空圈的に波動的に病気等問題が解決していても、三次元に結果が現れるのにタイムラグがあるので、「ダメだダメだ」と思っていると、再度問題を造ってしまうので、注意してください。



第三百六十回関西日本 サイ科学会研究集会報告

オリジナルデザインの準正32面体図象に潜む驚異の浄化パワー 日本各地を巡る「みろく」奉納紀行に学ぶ

講師 高尾 征治氏

とき 平成23年7月16日(土)と
ところ 大阪科学技術センター

高尾氏は1943年6月24日生まれ(68歳)、1966年3月、九州大学工学部化学機械工学科卒、1983年月工学博士取得(九州大学)、2007年3月定年退官。現在所属・哲科学・技術研究/TAKAO代表、著書『宇宙生命三都物語』、Ecoクリエイティブ(2009)

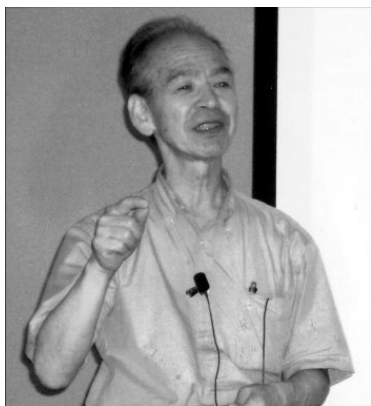
高尾氏には当会で左記のように過去二回講演して頂いている。

2004年9月11日「なぜ自然に原子転換が起きるのか」

2008年11月22日「言葉(意識エネルギー)には水中希薄元素濃度を変えるパワーがある」

共同研究者の安藤は独自に準正32面体平面図絵画を描いており、それは農産物の生育に優れた効果を生み出している。また、昨年来からそれを日本各地の聖地や神社に奉納してきた。

その結果、周辺の奉納・埋設海域での巨大渦の発生など不思議な現象が観測されるに至った。それらの科学的理由を高尾の螺旋ゼロ場情報量子反応理論から解き明かされた。



15、16年前から自分の専門・化学工学とは別に物質世界とのかねあいで精神の世界の研究を哲学的に進めることになり、「弁証法的物神一元論」という新しい哲学的世界観を世に送った。

それ以来、大学の他の教室に持つていっても門前払いされるようないろいろな技術、特に改質機能水や難分解性の有機物質の常温分解技術に関する相談を数多く受けるようになって今や十数社になる。

例えばICP(水の中の極微量元素濃度の測定器)により浄水器の前後での変化を測定することで原子転換の事実をつかみ、自然に起きる原子転換を説明できる理論を「量子水学説」として体系化している。

宮崎県の安藤昭三氏は、佐川急便の九州支部を立ち上げた経営者でもあった。

3年前の福岡でのあるイベントに参加し初めて顔をあわせたのであるが、その後、観音様の指示により言われるままに作った図面を持ってきた。それが準正32面体の図面であった。

図について特定の部分を朱色にせよとか中心を黄金にせよなどと指示を受けたという。

この準正32面体はダビンチのスケッチにもあるもので重要な意味があり、高尾の量子水学説のニュートリノに言う形態波動共鳴説の

基礎になっている。ここでは、その形態の中心がゼロ点で五角形には反ニュートリノが共鳴集積し、六角形には正ニュートリノが共鳴集積し、周囲の炭素原子と反応すると仮定している。

同僚の久留米高専の藤先生の研究室に在籍していた高倉氏は、現在、フロンティアアカーボン(株)の副社長になっている。高倉氏はフラーレンの製造技術をつけているが、普通は5000円/gするフラーレンを1/10の500円で大質量生産する技術を開発したことで知られている。ニュートリノ形態波動共鳴説は彼の講演を聞いてひらめいた。このフラーレンをボーリング球に塗りこむと得点が20、30上がる。それは手を離れた時の速度がピンに衝突する速度とほぼ変わらないため、摩擦損失エネルギーが内部から補われると考える以外にない。その内部からのエネルギー補給に寄与したのが、フラーレンという物質ではないかと考えた。

実体論 なぜゼロ点でニュートリノが生滅するのか

東西両哲学の公理、有は無から生まれ無に死滅するを科学的に証明するには？

現代物理学は、真空中では正反粒子が対発生対消滅していると思われている。正、反粒子は合わせたらゼロになるので、それはゼロから発生する以外にない。

しかし、高尾は、真空条件は不要と考えている。

気の科学でもゼロ磁場の考え方がある

気の実態と量子エネルギーは同じでニュートリノである。

ゼロ場からの対創生、対消滅(式)についてはペンローズも言及している。彼は宇宙創成、ブラックホール、意識エネルギーに言及しているが、残念ながら日本の物理学界ではペンローズのことを研究している学者はいない。

フラレーンの構造

フラレーンは、炭素が60個集まって構成される。すなわち、直径が10のマイナス9乗m相当のナノサイズで、5員環すなわち五角形の形をしたものが12個と6員環すなわち六角形の形をしたものが20

個からなるサッカーボール状の球体をしている。

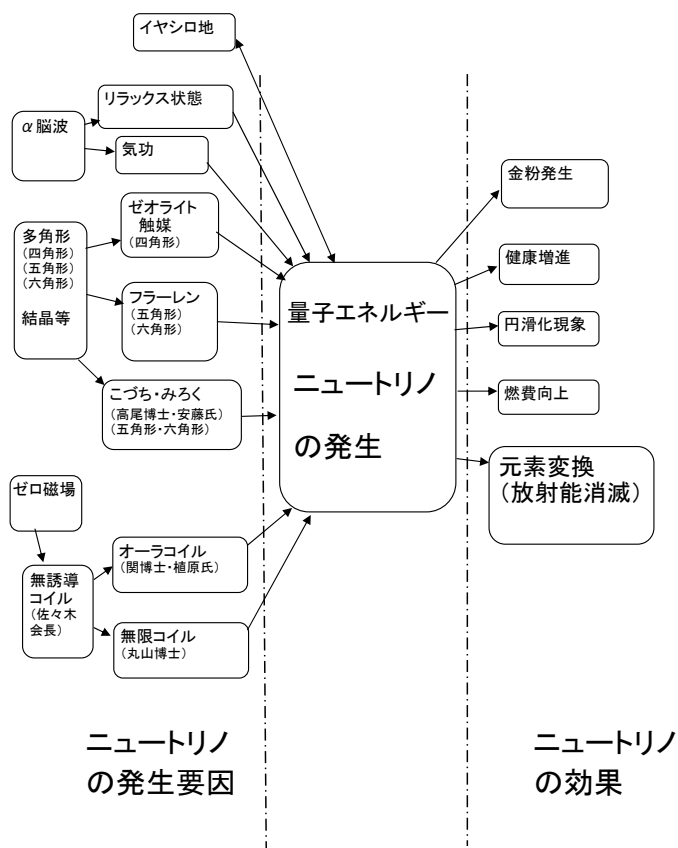
ニュートリノの発生

そこで、ナノサイズ球体の中心から正、反ニュートリノが湧き、五角形には反ニュートリノ、六角形には正ニュートリノが波動共鳴して炭素原子に衝突すると考える。その結果、フラレーンやカーボンナノチューブに関する既知の化学的・電気的機能がまとまって説明できる。

ニュートリノによる原子転換

ニュートリノには正、反2種類ある。反ニュートリノが原子に衝突すると原子核内の陽子が中性子に変換され陽電子が発生する。原子番号は陽子の数で決まっているので、その結果、原子番号が一つ低い原子に転換される。正ニュートリノが原子に衝突すると原子核内の中性子は陽子に変換され電子が発生する。その結果、原子番号が一つ多い原子に転換される。このようにニュートリノにより、原子番号がプラス1・マイナス1だけ変化する原子転換が起きる。

ニュートリノの発生要因と効果



プラトンの五つの立体模型はいろんな分子構造の基礎になっている。

例

正四面体 ゼオライト触媒 SiO₂
正六面体 パラジウム、ゼオライト触媒(珪酸アルミ)に組み込まれている

正八面体 金属ハライドクラスター触媒
正十二面体 準結晶構造体に取り込まれている

正二十面体 ウイルスのキャプシドの構造
正三十二面体 フラレーン構造

既存の酵素・触媒作用を示す物

質のナノ結晶構造やナノ化学構造は、この種のプラトン立体か、その組み合わせになっており、従来科学では仮説扱いの酵素触媒作用のエネルギーの本質が、これら幾何学立体の中心のゼロ点で生滅する情報量子エネルギー(光子、ニュートリノ、電子)であると科学的に説明ができるようになった。

スライドによる説明

正二十面体を上から見ると五角形にも六角形にも見える。

この角頂を切るも準正32面体のフラレン図象ができる。その酵素触媒作用は正20面体とは異なる。水素微泡の中心から水中に向かつて放射されるチェレンコフ光の写真

「こづち」上のマイクロナノ水滴から放射される量子エネルギーの写真

「こづち」でコップの外から触れるだけで酸化還元電位が231mvからマイナス86mvへ激減する。

安藤式波動器具で育成したトマト

トマトの切断面には白い光の粒が映っているが、それは煮ても揚げてでも消えない。それは、量子エ

ネルギーが生滅するゼロ点の証しである。

トマト中の含有成分を比較すると「こづち」で育成したトマトがすべてに勝っている。

折ったキュウリがくつつく。

のりの養殖で最高の収穫

車の燃費節減 「みろく」が車の中にあることにより斥力が働き軽くなるのか。

長年にわたる神業で八大龍王神から黄金の玉を授かった安藤氏であるが故の特別のものかも。

生体治療効果

傷跡の激減、組織が瘡蓋となりガンの転移なし。

「こづち」結界による放射能分解実験

珪酸を入れて組み合わせ使用するのがよいと思われる。

「こづち」と「みろく」を奉納した場所のスライド

宮崎、宮浦、江田社

大阪、磐船、星田妙見

行き先々で不思議な体験

白髭神社で現われた猿田彦大神と天宇受女

平成維新とは

精神世界を科学的に正しく理解し、宗教と科学の融合統一をはかり、物質世界から精神世界への国開きをすることである。

虚・無・実宇宙構図は人体科学会の研究活動を通してまとまったものである。

気と物は情報交換している。発芽するときは発熱があることがひとつの証拠である。

ゼロ磁場と螺動ゼロとは同じものである。

従来科学で言及できていない斥力(=反重力)を含む五つの力が統一されゼロ場が素粒子が質量を獲得するといふヒックス場である。静電気が何故発生するかも解ける。

ナノコロイド粒子でなぜ電気二重層が形成できるのかも解ける。すべての衝突実験の結果をまとめて説明できる。

ニュートリノ公式からのゼロ点導出

ニュートリノのゼロ点經由創生の誘導過程を示す。式(1)から式(4)は、従来物理学のニュートリ

ノが絡む四大公式である。式(1)は中性子のβ崩壊、式(2)は逆β崩壊を表わす。すなわち、中性子(β)は寿命が来ると、式(1)のように自然に陽子(β)、電子(e)反ニュートリノ(ν)に崩壊するとされている。また、陽子は寿命が来ると、式(2)のように中性子、限電子(e+)正ニュートリノ(ν)に崩壊するとされている。ただこれまで、式(2)は観測できていない。

式(3)、(4)は、ニュートリノと原子核内中性子や陽子との相互作用式である。正ニュートリノが原子に衝突すると、式(3)のように原子核内の中性子は陽子に変換され電子が発生する。反ニュートリノが原子に衝突すると、原子核内の陽子が中性子に変換され陽電子が発生する。

ここで、式(1)の左辺に正ニュートリノを加えると、式(3)の左辺と同じになる。式(1)と式(3)の右辺は等しくなるには、式(1)の正、反ニュートリノの和はゼロでなければならぬ。

これを動的にとらえると、正、反ニュートリノがゼロへ対消滅し、ゼロから対発生することを意味す

る。ここでは対発生を考えると、式(5)が成り立つ。その結果、式(5)のように、ゼロ点から正、反ニュートリノが発生するという式が導かれる。

ニュートリノ公式からのゼロ点導出

$$n \rightarrow p + e^- + \bar{\nu} \quad (1)$$

$$p \rightarrow n + e^+ + \nu \quad (2)$$

$$\nu + n \rightarrow p + e^- \quad (3)$$

$$\nu + p \rightarrow n + e^+ \quad (4)$$

$$\text{(式(1) + } \nu \parallel \text{式(3))}$$

$$\therefore \nu + \bar{\nu} \parallel 0$$

$$0 \rightarrow \bar{\nu} + \nu \text{ (発生)} \quad (5)$$

$$\nu + \bar{\nu} \rightarrow 0 \text{ (消滅)} \quad (6)$$

☆ ☆

ニュートリノが多角形状や気から発生し、物質の転換にそのニュートリノが関係することが示された。今回の説明によれば放射性物質を変換して非放射性化するとは当然の技術であろうと思われる。是非実用化を進めて頂きたいものである。

当日の参加者は会員14名、非会員18名、合計32名、手話通訳3名

でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。

ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

第三百六十一回関西日本サイ科学会研究集会報告

未知エネルギーの研究とチャネリング

講師 井出 治氏

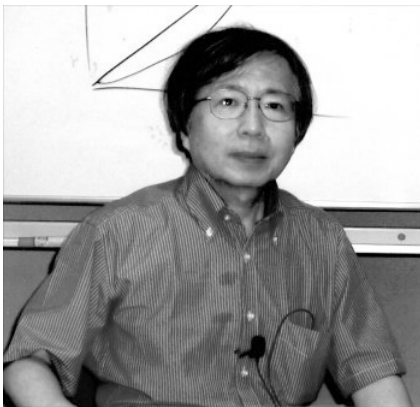
とき 平成23年9月17日(土)
ところ 大阪科学技術センター

井出氏は1949年愛媛県生まれ。立命館大理工学部電気工学科卒。1972年より、未知のエネルギーの研究を開始。1995年、米国物理学会の「応用物理学ジャーナル」に論文掲載。1999年、NASAラングレー研究所主催の国際会議で論文発表。

2010年、上記論文を基に、超効率インバータを試作。2011年、「SPESSIF2011」にて超効率インバータを発表。

今回は「未知のエネルギー・第3起電力とはなにか」および試作「超効率インバータ」について解説して頂き、また本研究とチャネリングの関係についてもお話しされた。著書「パンドーラの遺産」ビジネス社。

近刊「フリーエネルギー、UFO、第3起電力で世界は激変する」ヒカルランド。他共著、雑誌記事多数。



私は、1984年以来、26年間も未知の新電磁エネルギーの追究

をしてきました。実際に研究を開始した1973年からの期間を含めると、ほとんど40年近くこの研究を続けています。おかげで、ほとんど完成直前の段階の新電磁エネルギー装置の試作機を、昨年(2010年)1月中旬に製作することができました。

今回「SPESSIF2011」に論文が受理され、2011年3月16日、無事口頭発表をして、NASAを中心とする米国の科学の中枢部に対し、情報を送り込むことができたわけです。

初日から、私は幹部のメンバーから歓迎されましたが、特に2日目の懇親会のあと、会の議長やエネルギーセッションの座長らに別室に呼ばれて、私の論文について細かい質問を、長時間にわたって受けました。いかに学会幹部が、私の研究論文に、強い関心を示していたか想像できます。

1980年頃モーターの試作機の実験中、偶然に新エネルギーの源となる「未知の起電力」らしき現象を発見しました。

その後、クリーンエネルギー研究所において、それを再現させる

ことに成功し、1995年には、アメリカ物理学会の「応用物理学ジャーナル」にその論文を掲載しました。さらに研究を進め、未知の起電力について詳細な法則を発見しました。それに関する二つ目の論文を仕上げ、1999年12月には、NASAラングレー研究所主の学会で発表をしました。

この段階まで私は、研究開始当初から、常にある共通した方法を踏襲していたことになりました。そしてその方法によれば、ここまで、私にとって大成功でした。なぜなら、このような未知エネルギーの研究者の中で、世界的に権威のある学会誌に、二本の論文を掲載できた人はいないからです。

今回開発した新インバーター

さらに重要なことですが、これらの二本の論文は次の研究の土台となつてゆきました。

2000年になつてから、私は研究対象を大きく転換しました。それまで続けてきたエーテルエンジン、つまりモーターの研究からインバーターへと切り替えました。これは、モーターのように機械的な可動部分、すなわち回転部分が

ある装置から、可動部分のまったくない装置であるインバーターに切り替えました。

2006年頃フライデルファイア実験を思わせるテスラコイルの実験が暴走し、グロー放電が発生して制御不能になったという実験を聞いたことがきっかけで、2009年末、超効率のインバーターが出来ました。

2011年1月5日頃、改造電気回路の実験をすると、エネルギー効率が、120から140%得られることが分かりました。つまり試作したインバーターというこの装置に、100ワットの直流電気を入れると、120から140ワットの交流電気が出力されるのです。

これは、40年近くも新エネルギーの研究を続けてきた私にとつては、長年の夢でした。

幸いにも、新しいインバーターは、再現性を保持できました。

1月16日のことです。実験中、驚くべきことが起こりました。インバーターの出力波形が、急に大きく増大したのです。エネルギー効率を示す数値をみると、140

%から270%まで急上昇しました。一瞬、なにが起こったのかわ解できませんでした。

後日、この現象を「雪崩現象」と名付け理論も仕上がり、技術の特許も出願しました。これが冒頭で述べた、3月16日の米国における「SPESIF2011」での論文発表に繋がり、また論文の重要なポイントになっています。

本インバーターの特徴は高速のスパイク波と反発磁場です。これと通常のインバーターの2倍以上の効率になりました。

フラダーの起電力は磁場の変化の一次微分に比例しますが、今回私が発見した起電力はフラダーの起電力とは独立しており入力電流と同じ方向で磁束変化の二次微分値に比例しておりこれで無限の出力が得られることになりました。

質問 エマモーターは冷たくなるときいているが、この場合はどうか。

A. コアが若干冷え、コイルも冷える。

新電磁エネルギーがつくる未来

現在、新エネルギーで駆動されるインバーターの効率は、400%近くになっています。

これの最も重要な意味は、永久発電器が作れることです。出力されるエネルギーの一部を、入力側に戻せば可能です。こうすれば、あらゆるエネルギー資源から解放された永久発電装置が出来るわけです。我々は、従来のエネルギー保存則に縛られ続けることもありません。

我々は地球の資源である化石燃料、原子力のウランから解放されます。またその代替用といわれる、ソーラー発電や風力発電のような不安定で制御が難しい、自然エネルギーに頼ることもありません。

またこの電磁エネルギーは、新しい宇宙推進の原理に到達できるでしょう。膨大な化石燃料を浪費する、現在のロケットやジェットエンジンとはまったく異なる、ある種の磁場による宇宙航法です。つまり、UFOのことです。

私にとつての「バンドーラの遺産」とは、この技術が確立できる段階まで、研究を続けることです。

本研究とチャネリングについて

20年ほど前から妻がチャネラーの能力を得ました。これはおばあちゃんからの遺伝でした。

上位の霊からのチャネリングはいいが、下位の霊からのチャネリングの場合は重たく感じます。できるならチャネリングはやらない方がいいでしょう。

2007年3月から私にもコンタクトが始まりました。先祖の過去帳をみたことが供養になり、私の周りにあつたヴェールがとれたようです。それから地底人からのコンタクトが始まりました。コンタクトによると別の空間が数多くあるといえます。この会場にも一杯空間があるようです。

彼らの身体は半透明であり、排泄はしないとのこと。

我々の概念を超えた存在が数多くあり、もつと上の空間からきています。

彼らは私・井出を通じて研究しています。彼らによると今までの研究はすべて進歩です。地球では利益がでないと失敗というが彼らは研究に失敗はないといえます。再現性のあるものも、再現性のないものも両方価値があります。ど

の空間のデータも役に立つのです。

イギリスのミステリーサークルはすべてこれらの宇宙人が作っているようです。それを見た地球人がどのように対応するのかを研究しているのです。その宇宙人も別の次元から観測されているのだといえます。

注

※インバーター…直流電力から交流電力を電氣的に生成する(逆変換する)電源回路、またはその回路を持つ電力変換装置のこと

※テストラコイル…高周波・高電圧を発生させる共振変圧器のこと

※フィラデルフィア実験…1994年8月12日、ペンシルバニア州フィラデルフィア沖合で行われたとされる、アメリカ海軍のステルス実験のこと

戦前の1943年に行われた米軍のフィラデルフィア実験は、駆逐艦を透明化しようという実験と言われています。これは、現在のステルス機のように、レーダーの電波を反射しない方法ではなく、強力な磁場で光を曲げて、本当に透明化させようとする試みでした。

この実験に使われた駆逐艦が、エルドリッジ号です。また艦内には、テストラコイルらしきものも使われたようです。

その結果は、青緑色の霧が発生して、なにか制御不能の空間の暴走状態が生じ、エルドリッジ号は、不可視状態になったのではなく、本当に消滅してしまったようです。驚くべきことに、フィラデルフィア港からテレポーションして、320 km離れたノーフォーク港に現れたということです。

☆

☆

いよいよ原子力に代わる宇宙エネルギーの実用化が緒についたようである。

アメリカの学会ではこのような未来の技術を受け入れる姿勢があるようだが、日本の学会はそっぽを向いているのが残念である。

当日の参加者は会員17名、非会員22名、合計39名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。

◆ 注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

平成24年1月21日 檀上洪司氏

「スピリチュアルの世界を探る

潜在意識から宇宙意識へ」

2月18日 徳永康夫氏「宇宙から

見た般若心経」

3月17日 桜井喜美夫氏「出口王

仁三郎の遺言」

4月21日 久保田昌治氏「水のは

なし活性水・機能水とは」

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

◆

◆

サイジャーナルへの
広告ご出稿について

サイジャーナルへの広告出稿を募集致します。掲載料金は、1頁を4段とした場合、1段分が1万円となりますので、ご興味のある会社または個人でも事務局にメールでお問い合わせ願います。

office21@psij.mail-box.ne.jp

◆

◆

故 関英男先生のサイ関係(+ α)の主要な御著書(在庫のあるもの)

| | 定価 | 送料 |
|----------------------------------|-------|--------|
| 加速教育法(1990:加速学園出版部) | 2100円 | (310円) |
| 加速学習法(1995:加速学園出版部) | 2550円 | (210円) |
| サイ科学の全貌(1991:工作舎) | 1995円 | (210円) |
| グラビトニックス(2000:加速学園出版部) | 1000円 | (160円) |
| 念波(1990:加速学園出版部) | 800円 | (160円) |
| CD:生命と宇宙[講演録72分](1998:船井メディア) | 3000円 | (160円) |
| 電気磁気学[加速教育用](1983:加速学園出版部) | 1340円 | (160円) |
| 謎のオズマ計画 - UFOとの関連 - (1976:USL) | 190円 | (120円) |
| FIVE DIMENSIONAL WORLD(1974:英語版) | 1000円 | (160円) |

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

| | | |
|------------------------------|-------|--------|
| 深宇宙探訪記(上)(1991:加速学園出版部) | 2500円 | (210円) |
| 深宇宙探訪記(中)(1992:加速学園出版部) | 1800円 | (210円) |
| 深宇宙探訪記(下)(1992:加速学園出版部) | 2200円 | (210円) |
| VHSビデオ:オスカー・マゴッチ氏の講演(2h40m) | 3000円 | (300円) |
| VHSビデオ:ティモシー・ワイリー氏の講演(2h45m) | 3000円 | (300円) |

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

御注文はそれぞれ定価+送料の合計料金を郵便局にある郵便振替用紙で以下の口座にお振り込み願います。

口座番号 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会

★郵便振替用紙の「通信欄」に書籍名を必ずご記入願います。

★郵便番号、住所、氏名、電話番号は楷書で読みやすくご記入願います。

(特に番地は算用数字でしっかり書いてください。)

※お振り込みから4週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の電話またはFAX、E-mailで確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

度であるが、QEで繋がった後に、測定したときは20～30%にもなることがあります。つぎにQEとは何か?を検討します。

周知のように、QEは現代物理学で広く用いられている言葉であり、「願い事」をする私と、願い事をされる「対象物」の間を、素粒子で絡み合う(結ぶ、繋げる)事を意味しています。この時、両者の間を連絡する搬送波は縦波(音、スカラー波、ゼロの粗密波)ならびに横波(電磁波)であり、その対流が望まれています。伝達の担い手はPSI-pair群であります。つまり、上の2)で述べたASC(1)電子は、ゼロ意識の時に、意念の命令に従ってチャクラから衝撃的に放出され、イマジナル(虚数)の世界等から反粒子(陽電子)を呼び込み。そして、瞬間的に、ASC(1)電子と一対(ペア)を形成し、さらに経穴から放出される微細身素粒子(正)、(負)と結合して、より安定なPSI-pair群を形成することになる、と判断しております。このPSI-pair群はサイ(気)の基盤であり、またQEの基盤でもともとと考えております。

QE形成を説明します。チャクラ等から放出されたPSI-pair群は、搬送波に載せられて目的物(対象物、ゼロ点:負に帯電)に到達し、PSI-pair群のスピンの半分ASC(1)と(負)微細身素粒子ペアがゼロ点に捕まり、残り半分スピンの、陽子と(正)微細身素粒子ペアが身体側に戻される。これが繰り返されて、QEが形成されることになる、と考えております。

6) 心理的な条件(注意事項)

英国のケネス・バチェルダー(1988年死亡)は、心理条件として有名な「とらえにくさ」等を発表しております(笠原敏雄編、超常現象のとらえにくさ、春秋社1993参照)。実験にさいして、(1)現象発生時に厳密性を求めると、総ては無になる。(2)同席者としては、打ち解けた、気の合う仲間が良い。自然な会話や音楽も良

い。顔ぶれが変わると、疑念が起りやすい。(3)意識的な努力はダメである。(4)必ず発生させる、という完全なる信念が必要。(5)予め、潜在意識に埋め込んでおいて、次ぎに、潜在意識が此を実行する。以上が必要となる。さらに「とらえにくさ」として、(6)みられたくない。(7)かくす。(8)人のせいにする。これら(6)～(8)を、予め、考慮しておく。

筆者らは、以上を参考にして実験を行っております。この条件も「願いを叶える」ためには是非必要な注意事項であると考えております。

7) 実施についての注意

「願い事」を叶える過程ならびに実験系に、サイ(気)を呼びこんで、未知現象を発生させる場合を考えてください。この時、「アーチファクト」に関係した知識も大いに参考になります。アーチファクトとは、「願い事」の目的または実験の目的。たとえば、線香の煙を「右に揺らし、つぎに左に揺らす」を未知現象として、意識のみで行う場合を想定します。本当は、上に述べた方法に従って、サイ(気)を用いて行うのですが、たまたま都合良く風が吹いた、とか、誰かのいたずらで、そのようになった、とする。これを見て、本人や同席者が「あー、あー、・・・動いた、動いた」等と、ビックリしたと仮定します。すると、本人はこれに「ダマサレ」で、緊張感が溶けて、大喜びする。まわりの雰囲気喜びの安堵感が行き渡り、結果として、本当にサイ(気)が出現することになる(手押し井戸ポンプの呼び水の様に)。これから後は、送念により、何時でも、何回でも、容易にサイ(気)が出現する事になる。つまり「アーチファクト」とは、通常現象を用いて「ダマス(意識をダマス)」事によって、サイ(気)の出現を促す事を意味しております。これらも「願い事」を叶える為に重要な要素となり得ます。この様に「思い込み」も重要であると判断しております。

パワースポット（聖地）は神社や仏閣、巨岩や霊水、山上や巨木など様々ですが、きっかけは、上記のように、能力のある人（例、開祖）の特種な感覚によって発見されたのではないのでしょうか。

2) 心身の条件を整える

未知現象を発生させる為には、瞑想法や気功法、腹式呼吸や三段式呼吸法、あるいは六字真言をとこなえる等によって、心身を整える必要があります。方法は様々ですが、要するに「リラックス集中」が必要になります。例えば、呼吸を一時的に止めて、変性意識状態（ASC、ゼロ意識）になる。すると、脳波は自然に7～8Hzになります。そして（例えばMK師やHY師は）、両目で脳天を見るようにすると良い状態に集中しやすい、と言われております。この時、意念の命令にしたがって、チャクラ（エネルギーセンター）や経穴（ツボ）などから、ASC (1) {変性意識状態 (1)} 電子（光子）や微細身粒子（オーラ）がラセン状に放出されることとなります。なおASC (1) 電子とは、脳の働き（ニューロン、シナプス）以前に動き出す意識運動の原因の一部であり、反射神経的にすばやく作動する電子（光子）を意味しております。これがPSI-pair形成の基礎を担う事になります。

3) 意識を物に合わせる

意識を変性させた状態となり、無意識層のさらに深いところに到達すると、ミクロの世界（素粒子）のより深い所と同一になる。何れも、極微細な素粒子状態であり、互いに交流している、と判断できます。ここでは、心は物であり、物は心であり、物と心は一体であります。感覚的に物は生きている、そして自己主張している、というような物に対する親近感が必要になります（MK師、HY師）。すると、物は私（心）なので、心で念ずる事は、当然、物にも

通じて、物の変化として現れて来る、とイメージします。この働きがマクロの世界に現れて、奇跡として、未知現象が発生する事になります。つまり、物に心を合わせる。または、相手に自分を合わせる事が必要になる、といえます。

4) ゼロを加算させる

未知現象はエネルギー及びゼロ一定条件で発生しています。つまり、ゼロを加算してパワーを増加し、不安定状態にする事が、始めに、必要になります。「負の要素」と「正の要素」をぶつけて加算するとゼロ（エネルギー）になりますが、これを少しずらして重ねると、ゼロにはならないで、両要素は其の儘の状態で保持されます。しかし、此を幾度も重ねると、全体としては、ほぼゼロになります。願い事には必ず「正」の面（約50%）と「負」の面（約50%）があります。「願い事」を様々に、幾度も重ねると、ゼロはだんだんに累積されます。同じ人が幾度も、幾度も。また様々な多くの人達の「願い」が、幾度も、幾度も、重なると、ゼロが次第に集積されます。ゼロは非エネルギーなので、ゼロ場には、無限に情報が集積されることとなります。これら的大集団がサイ（気）であると判断しております。この集団と私の心が結ばれ、反応すると、未知現象としての奇跡が起きることとなります。なおゼロの集団は、数多く重ねると、遂には、不安定になり、別の現象に移る事になります。この時、カオス現象の分岐が開始されます。

5) 量子絡み合い（QE）の形成

「実験者効果」という言葉があります。未知現象がしめす結果は、極僅かな効果（通常、10%程度）しか生じないが、実験者によっては、此を2～3倍に高めた値、つまり20～30%の効果を出す場合があります。つまり実験者と対象物がQEで繋がらない場合は10～20%程



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

未知現象を発生させる(注意)

佐々木 茂美

パワースポットで「願いを叶える」ためにはどうしたら良いか、については「願いを叶える為の科学(1)、(2)」で記述させて戴きます。しかし、不十分な点があり、より丁寧にお話しした方がよいだろうと思っておりますので、未知現象を発生させる為の「予備・注意事項」として、ここで述べさせていただきます。

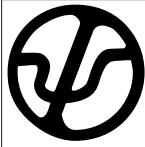
1) 場所の選定

未知現象はゼロ場のなかのゼロ点で発生しております。ゼロ場とはパワースポットのことであり、ゼロ点とは現象の起きる変換点をいいます。パワースポットは意識と無意識、ならびに物質のマクロ世界とミクロ世界に跨って存在しております。呼吸法や瞑想法などを用いて、知性や理性をうすめ、無意識に近づき、変性意識状態(ASC)となり「願い事」を念ずると未知現象が奇跡的におきる、と考えております。

このパワースポット(場所)をどの様を選ぶか、ですが、普通は近くにある「願い事」に合うと思われる社寺仏閣などにお参りする事になります。ここでは、新たに科学的に設定する場合を想定する事にします。結論として、相殺零場そうきいをみつけ、ここに「ゼロ」を積み重ねて、不安定状態を造ることが求められます。相殺ゼロ場とは、二要素間に、双方向から「正

方向」と「負方向」の力がぶつかりあい、静止している状態(バランスの取れた状態)で、たとえば、「甲」と「乙」の両力士が、土俵の中心でぶつかりながら、満身の力を込めて、押し合っているが、動きが無い状態を想像してください。つまり、パワーはあるが、バランスが取れて静止している状態、を意味しております。この状態は日本列島構造線(断層)上の分杭峠などにみられます。

具体的なパワースポット(ゼロ場)の選定は、感覚の鋭い未知能力の保有者(気功師、シャーマン、開祖等)の気感(感覚)によって見つけられる場合が多いといえます。分杭峠は中国、元極学の張志祥師によって発見されました。そこに行くと、パワーを感じる、気持ちが良い、癒される、元気を貰う、等があります。そこは地球表面上の断層で、花崗岩や玄武岩が無いのにガンマー線の高い値の測定値が得られる(普通は $0.04 \mu\text{Sv/hr}$ なのに $0.12 \mu\text{Sv/hr}$ もある)。方向磁針が5~10分程度も狂う場所(局所)がある。また地殻内に存在するヘリウム3が地表上で見られた、さらに山中なのに塩(水)温泉がある、等の異常が認められる、等の話もあります。以上を総合し、地球内部からある種の未知のエネルギー(気)が滲み出てきているのだろう、と推定できます。



サイジャーナル

月刊
24-3・4
第402号

日本サイ科学会 平成24年3月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎(022) 0908-FAX (022) 274) 0097 | 中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎FAX 0584 (91) 1192 | 北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内 佐 藤 禎 花 ☎076 (234) 6634 | 関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎FAX 0797 (22) 6425 | 九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫 |
|---|---|---|---|--|

四月本部例会のお知らせ

オーブ研究その後

講師 ロン薄葉氏
川崎利男氏

2006年10月に開催された日本サイ科学会全国大会での「オーブシンポジウム」から5年半が経ちましたが、それ以降も日本の研究者の皆様の精力的なオーブ研究は進められております。

今回はやはり長年オーブ研究を継続されている二人の先生に御講演いただくことになりました。是非、最近のオーブ研究の進展を皆様も知って頂きたいと思えます。(以下内容)紹介)

日時 平成24年4月14日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室
J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「オーブ現象とこれまでの歩み」

講師 ロン薄葉氏
(日本サイ科学会評議員)

今回は、オーブ現象研究を手掛けて、約8年経過しました現在、また、オーブシンポジウムに始まりました「宇宙生命研究分科会」における、これまでのオーブ現象報告と研究内容の発表を振り返りまして、お話をしたいと考えています。

「オーブ現象とは、いったい何なのか。これまでの研究内容を振り返りまして、何をどう伝えれば良いのか、常に、考慮してきました。しかし、この「目には見えない現象」について、一般の方々からのご意見および見解をもお聞きして参りましたが、残念なことに、著者の力量不足も一因してか、8年経過しました現在も、これといった内容評価や成果も得られていない、その現況に大きな反省も感じています。

現在も私なりに、このオーブ現象を探求していますが、視野を広

◎事務局からのお知らせと
お願い

※3月の本部例会はお休みとなります。

※今回同封致しました別紙でもお願い致しましたが、3月で2011年度が終了し、4月から新年度が始まります。日本サイ科学会は会員の皆様のお力で運営されており、世の中が不景気の時期にご負担をかけて申し訳ありませんが、年会費によるご支援をよろしくお願い致します。

今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ◎ 第15回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 関西サイ科学会三月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会四月例会予告
- ◎ 五月本部例会予告
- ◎ 九月本部例会報告
- ◎ 十一月本部例会報告
- ◎ 第三六二回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三六三回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会春の大会
- ◎ 指尖脈波(カオス解析)法によるパワースポットの計測

める意味から、現在は、海外のインターネットを通して、各国の興味と関心を持つ方々との意見交換を通して、このオーブの観想についてお聞きしているところでもあります。

今回は、そうした海外からのオーブ現象評価を交えながら、この現象の意味合い、また、海外ではどう捉えられている現象なのかをお伝えしたいと考えています。

●ロン薄葉氏プロフィール

英国政府公認 英国心霊協会 準ヒーラー。日本サイ科学会 評議員。オーブ現象研究者、気エネルギー研究者、気功施術師(覇気導引功修得)

栃木県大田原市生まれ。平成2年までは、大手外食産業の会社にサラリーマンとして勤務、主にフード関係の仕事に従事。突然の天命を授けられて神秘なる意識の覚醒が始まる。以後、精神世界へと導かれ、現在も英国の心霊協会との親睦により、国内でヒーラーとしてヒーリング活動と普及推進に力を注ぐ。現在は、オーブ現象研究を手掛けながら、主に気・生体

エネルギー等の未知エネルギーおよび次元問題を研究探索中。地元活動では、高齢者を中心に健康予防法としての気功指導を実践中。

「オーブ観察7年間 その傾向と残された課題」

講師 川崎利男氏
(川崎オーブ研究所)

◎オーブは霊魂か？

私が初めてオーブを撮影したのは7年前、和光市陸上自衛隊体育館で開催された軍歌祭会場でした。英霊の霊魂かと言う疑問が強く湧いてきました。何とか科学的な解明が出来ないか。それには数多くの標本(オーブ写真)を集めて全体像の傾向をつかむことだ。それと、自宅前の十字路での定点観測です。毎夜8時に東西南北そして天頂と合計約50枚撮影。平均的に5%の確率でオーブを撮影出来るようになりました。

その他、安全指導の各企業の職場で、町内会の盆踊りで、カラオケ会場と、出かけた先で撮影を

しました。その結果オーブは賑やかなところで出現する傾向がある事が再現性を持って確認されました。

◎煙状物質はオーブの母体か？

冬期、定点撮影の際、もやもやとした煙状物質が撮影できる時があります。世間では、これはオーブの母体だと言われていますが、未だ誰もその証拠写真は撮影していないようです。この原稿を書いている2月5日、オーブ誕生の瞬間を撮影できました。当日ご覧頂きご批判を仰ぎたいと思います。

●川崎利男氏プロフィール

昭和4年1月生まれ。芝浦高等学校校化学科卒。TDK(株)で研究・製造・安全環境保全を各10年間勤務。定年後、(有)日本VMセンター設立。大小企業の現場安全・VM指導を25年間展開、今日に至る。平成18年4月サイ科学会入会。平成22年7月マジナルサイエンス賞受賞。趣味・家庭菜園。

第15回宇宙生命研究分科会

第4回ヒポクラテス・シンポジウム

ヒポクラテスは西洋医学の祖。品川の桜を眺めながらの、健康シンポジウム！ 激動の2012年で如何に健康を保つか？ 皆さん、健康第一でいきましょう！

日時 平成24年3月31日(土)
午後1時～5時30分

会場 品川健康センター会議室
品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・国際問題研究会会員・国際ヒーリング看護協会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会 三月例会のお知らせ

出口王仁三郎の遺言

講師 桜井喜美夫氏

日時 平成24年3月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会 四月例会のお知らせ

水のはなし ― 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど―

講師 久保田昌治氏

日時 平成24年4月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425
関西日本サイ科学会事務局まで

五月本部例会予告

命とソマチットと般若心経の探検

講師 徳永康夫氏

科学ではまだ正体が掴めていない「命」というものを、宗教的アプローチではなく、難解な哲学的解説でもなく、具体的に分かり易く科学的に皆様と一緒に探検して、解明します。

人間と宇宙はどちらも二重構造になっていたのです。人間は「肉

体」と「本質の生命体」の二重構造。宇宙は「この世」と「あの世」の二重構造。そして「肉体」は「この世」に属し、「本質の生命体」は「あの世」に属していたのです。

何だ、宗教だ、と勘違いしないでください。これらのことは、真実だったのです。最先端の量子力学の一部もほぼ近くまで到達しています。驚くべきことに、2500年前の般若心経はとくにこの事実を知っていたことが分かりました。科学を超えていたのです。そして、この「命」に、不思議な超微小生命体の「ソマチット」が、重要な役割をはたしていると思われるのです。ワクワクするこの情報を皆様にすべて公開します。

●徳永康夫氏プロフィール

1965年九州大学法学部卒。50歳で三菱商事退職後、東洋医学、アーユルベータ、ホメオパシー、物理、生物学、天文学、量子力学、釈迦の経典、新約・旧約聖書の研究、水・波動・気・輪廻転生などを独学。2004年日本ソマチット学会設立に参画、理事に就任。2008年ソマチットの発見者ガストン・ネサンをカナダに訪問。

NPO統合医療臨床情報センター理事。日本サイ科学会理事。(株)恒常 代表取締役。著書に『命の不思議探検』がある。

日時 平成24年5月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

九月本部例会報告

『3・11 新文明の幕開け』
〜日本人の使命〜

講師 鈴木俊輔氏

こちらの映像は2008年制作のハリウッド映画「2012」ですが、今年の「3・11東日本大震災」の津波を暗示する映像が出て来ま

す。

物質文明の崩壊のポイントは2001年の米国「9・11ツインタワーの崩壊」だと思います。

もう一つ新しい文明の幕開けを暗示させるのが、「3・11東日本大震災」なのではないかと思われる。「911+311」の計算をしますと、なぜか「1222」という奇妙な数字が出て来ます。奇妙な数字といえますと、私の生年1947年の下二桁「47」と今年の誕生日の年齢「61」を加えますと、「111」という数字が出ます。これは皆さんの生年の下二桁と今年の年齢を加えても、全員「111」になるのです。今年も1が3つ並び「スタートの年」を暗示しています。

東日本大震災の直後、現地の映像でコンビニに人々が長い列で整然と並んでいました。また余震で揺れた棚から菓子パンが落ちたのを、小さな女の子が拾って元の棚に戻した映像も世界中に放映され、日本人の秩序正しさが感銘を与えました。さらに千葉の田舎では、停電で信号機がつかなくなったときに、地元の爺さん婆さんが物干

し竿に布を巻き付けて、交通整理をしたということも聞いております。

もし日本にこういった地震がなかったらどうでしょう。私達は相変わらず飽食であったに違いありません。地震により一億三千万の人間がこの被災地に向けて、「さあこれからだ、頑張ろうぜ！ 皆手を取り合って行こうぜ！ 立ち上がろうぜ！」こういう誓いの思いを皆さんが集中されたのです。日本人が肅々として、列を乱さず、大声を上げず、略奪もせず、何とか生きていこうという映像が全世界に流れていったのです。もしこの地震が他の国で起こっていたらどうでしょう？ やはり日本で起こる必要があったのです。

大地震、大津波、原発事故のトリプルパンチを受けなければ、相変わらず我々はエネルギーの消費、飽食は変わらなかつたでしょう。不思議なもので日本という国は、広島と長崎の原水爆を人類最初に体験しました。もちろんチェルノブイリがありますけれども、またここで原子力発電の恐ろしさを見せていただきました。何か日本人というのは、どうも先駆けでや

らされている感がしなくてもありません。

この日本というのは、どんな小さな山にでも神社や祠（ほこら）があります。常に感謝する民族であります。2013年には伊勢神宮と出雲大社がそれぞれ同時に遷宮されます。日本列島は世界の雛形であると言われております。

田村珠芳氏の著書によると、富士山の御祭神である木花咲耶姫（コノハナサクヤヒメ）のメッセージとして、「日本は世界を救う担い手でその責任がある。日本人は誠実、勤勉、和の心などの特徴をもつ。神界は困難を体験させ、その目覚めを助ける。数年、地震、洪水が現れ、それが魂の浄化に作用する。人々は愛し合い、富は独占ではなく、分かち合う世の中に変わっていくであろう。物金の世は直に崩壊し、宇宙との交流が始まるが、その前に大きな浄化がある。そして日本の意識と技術が貧しい国々を救う。」と書いております。日本の食卓は季節をいただくのですが、味噌汁、醤油、漬物、納豆、日本酒など発酵食品をよく食しますが、これらは放射能の体内汚染の排出を助けるそうです。

また日本語の清音五十音の言霊は現象をもたらずと言われている。

人とは「霊止」と書いて、「ひと」と読みます。これが古神道上での考え方であります。命と体と心の三位一体があつて初めて「霊止」が形成されるわけです。「命」は周りを照らすので、まさしく「鏡」であり、「体」とは立ち上がって歩き、たち（太刀）さばき判断するので、まさに「剣」であり、「心」とは喜怒哀楽でころころ変わるもので、まるで「勾玉」であります。すなわち私達「ひと」の中には「鏡、剣、勾玉」の三種の神器が収まっているのです。

「はじめに言葉あり、言葉は光なり、光は神なり」という文章が、ヨハネによる福音書第一章一節にあります。この場合の「言葉」は「宇宙創造神」の意識と解釈してよろしいのではないかと思います。ちなみに「言霊（ことだま）」というの、私が今マイクで皆さんに空気振動で耳の鼓膜を揺らすせながら、同時に私の意識を意識波動と一緒に入れています。意識波動と空気振動という物質エネルギー

と一体になっていっている生命現象は「言葉」しかありません。

「宇宙創造神」の最初の意識・思念から生命体が生まれ、同時に万物万象が生まれたのです。ここで重要なことは、私達はこの神様の子供であるということです。自分自身の心に向かって嘘をつける人はいないと思います。それはなぜかということ、私達が神の子であるからです。「宇宙創造神」の思念から万物万象、生命系一切を造りだしたとすれば、その末裔である私達自身が万物万象を造り出す能力があるのだということを最も言いたいのです。実はここが皆さんの研究しておられる「サイ」と関連することだと思えます。

意識とはエネルギー体であります。10のマイナス33乗センチメートルの「プランク長」以下の世界は粒子性はなく、まさしくそこは私達の意識と同じではないでしょうか。意識こそエネルギーではありませんか。私達の意識がこの物理空間に向かって、言葉を発して空気を振動と共に一体になった言葉の発言そのものが現象を造り出すということでもあります。

ニュートリノはついこの間、質

量が若干発見されましたが、光には質量がありません。私達の意識にも重さがありませんが、現象を造り出すことは可能です。私達は目をつぶって情景を思い出すことは可能です。例えば目をつぶって京都の桜をイメージすることは可能であります。それは京都の桜という映像を認識する、つまり光を見ているということですから。それは地球を通さずして、意識で光を造るということが可能であるということです。意識、すなわち光ということでもあります。同時に両方も質量がありません。



「宇宙創造神」というのは、この大宇宙を創った何か見えない神様だと思ふのです。私は「神様」というのは目の前にストーンと出てきたら、神様ではないというふう

に思っております。なぜならば、目に見えるそのまま出てきたとしたら、三次元です。三次元のところに出てきた方は、もう神様ではなく、我々と同体なんです。ですから「神」というのは常に感じる、心の中でもっと高次元存在なので感ずるしかないと思います。とりわけこの大宇宙を創られた方というのは、すべてを超えた非常に素晴らしい方です。

私達はこの地球上に自分自身が存在していることを非常に不思議に思っています。この地球に存在していることすら、奇跡だと思います。地球は365.242日かかって、太陽の周りを廻っています。太陽系の一番外側の方を廻っている冥王星は260年かかって太陽を一周しています。その巨大な太陽系を一円玉の大きさとしてみると、我々の太陽系のある銀河の大きさは日本列島の本州の大きさとなります。

そこから比べると我々自分自身は実にちっぽけな存在であり、また奇跡的な存在でもあります。しかし、厳としてここに生きています。それを我々は宇宙から選ばれ

て存在させられているというふうには認識していただきたいのです。この事実が気がついたときに、自分はどう生きたらいいかを常に考えます。先ほど申しました通り、人間は「宇宙創造神」の末裔です。従って生きる目的は何かということ、「わくわく、生き生き、キラキラと生きる」べきであります。

私達の心がまず現象を造ります。従って環境を変えるのはある意味簡単です。自分の心を変えればいいからです。相手を変えるのだったら、自分を変えればいいからです。悲しい環境というふうには自己認識すれば、環境は悲しくなりません。いや楽しい環境だと意識がシフトしますと、現象が変わります。

想念のエネルギーが物質化するのです。私はアインシュタインの発見した式 $E=mc^2$ の E は意識エネルギーというふうには理解します。それが質量 m を生み出すのだというふうには考えられます。想念エネルギーが宇宙法則に従い調和的建設的に集中固定すると、物質化現象化します。それを私は「言葉量子論（ことだまりようしろん）」と呼んでおります。空海はそれを

「声字即実相(しようじそくじつそ
う)」という表現をしました。

私達は何のために生きているかと申しますと、もちろん「うきうき、わくわく、この人生を楽しむために生きている」わけです。しかしながら必ずそこに落とし穴があります。進化するためには、必ずハードルがあります。それは「執着」であります。「人よりももっと物をもらいたい」、「人よりももっともっと美しくなりたい」、「人よりももっともっと儲けたい」というような執着心が、心のスパイラルアップを押しとどめてしまうのです。

「幸福(しあわせ)」というのは、「喜び」であり、「感動」であり、「心の充実」であり、「感謝」なのです。これらはすべて質量がありません。これら4つを合わせて「四合わせ」幸福」となります。私達は幸福を造り出す義務があります。そのため私達は神様から今存在させられているのです。幸福を造り出すのが「運命」であります。「いのちを運ぶ」と書いて、「運命」となります。運命を良質なものに変えていくのが、「使命」であります。幸

福を造るということが、本来の使命なのです。

私達が味方につけたいのは、家族であり、ソウルメイトであり、会社の社長でもあります。本当に味方につけたいのは大宇宙です。もし大宇宙を味方につければ、一切大丈夫であり、最強です。そのためには、私達は宇宙の心になれないのです。

私達は太陽エネルギーを戴いていますが、太陽から請求書が来ることはありません。空気も水も地球から無料で与えられています。すなわち「光と熱」「空気」「水の命の三要素はすべて無料なのです。すべて見返りがなく与えるのが宇宙の心なのです。

宇宙を肯定する言葉の一つが、「ありがとうございます。」あるいは「ありがとうございます。」という言葉です。「ありがとう」という言葉は、我々が宇宙に存在することの「有り難し」から来ています。従って「ありがとうございます。」という言葉が、宇宙の心と同調します。我々が与えられた環境一切を、受け入れる、あるいは認めるという心の作用は、「愛と感謝」そ

のものであります。

人生に一切無駄なことなど何一つありません。それが進化のハードルとなり、すべてから学ぶということ。愛と感謝があれば、宇宙の法則と共鳴して、生命エネルギーが体内に流入します。生命エネルギーが体内に入りますと、心の充実、喜びがあり、健康そのものになっていきます。健康そのものになってきますと、また「ありがとうございます。」という言葉は大宇宙に発します。そのサイクルが繰り返します。

従って、日本語の最強の祝詞(のりと)は何かと申しますと、「ありがとうございます」の十文字なのです。何か困ったときに、「あまてらすおおみかみ(天照大神)」の十文字でもいいのですが、「ありがとうございます」の方が、もっと最強になります。

幸福になるスパイラルは「感謝の言葉、肯定的な言葉を使う」ですが、その反対の不幸になるスパイラルは簡単です。「汚い言葉を使う」、「一切を否定する」、「目の前の現象を否定する」ことです。

十一月本部例会報告

心霊現象について

講師 小林信正氏

心霊研究の発端は1848年、アメリカの「ハイズヴィル事件」からです。この事件は、ニューヨーク州の一寒村ハイズヴィルの借家に住むようになったフォックス一家が、夜毎ラップ音や家具などが動く。ポルターガイスト現象に悩まされるというものでした。やがて姉のマーガレットと妹のケティが、目に見えない者と交信するようになり、さらに地下室や壁から人骨が発見され、交信相手は靈魂に違いないという噂が拡がり、新聞で大きく報道され、騒ぎが拡がりました。この事件がきっかけとなり、著名な探偵小説家コナン・ドイルや有名な科学者による心霊研究が行われるようになりました。その後イギリスやアメリカでも心霊研究協会が設立されました。

我が国での心霊研究の草分けは、東京帝国大学の福来友吉博士でした。福来博士は人間には科学の常

識を越えた能力があると考え、明治四十年代から透視能力者の御船千鶴子や透視・念写能力をもつ長尾郁子を被験者に研究を続けましたが、二人の不幸な死があり、福来博士も大学を追われる身となりました。

大正時代に心靈科学研究会を発足した浅野和三郎は、多くの傑出した物理霊媒を見だし、物質化現象や霊界交信など数々の実験に挑みましたが、昭和12年志なかなばにして、世を去りました。

背後霊団とは、霊界にいる霊魂達が現世の個人や団体の使命のために護ろうとする意思をもつ霊的な存在で、守護霊（霊界の先祖霊で守護する役の霊魂）、指導霊（職業や趣味の技術面で指導する霊魂）、支配霊（職業上で人を指導した経験のある霊魂）、補助霊（先祖霊で現界と霊界の仲介をする霊魂）があります。我々は背後霊団の高級霊団と通じると運勢が良くなると言われます。

低級霊としての未浄化霊とは、浮遊霊（事故などで死を認めず、幽界でさまよう霊魂）、自縛霊（この世に執着している霊魂）、地縛霊

（特定の場所に執着している霊魂）、憑依霊（人に未浄化霊が憑いたもの）があります。また因縁霊は、土地・家屋、骨董・刀剣・人形等、先祖からの因縁、前世（カルマ）からの因縁から生じるものがあります。怨霊でよく知られているのは、菅原道真の怨霊を鎮めるために、京都に北野天満宮が建てられました。



私はオーブにも非常に興味を持っており、昔から靈魂が玉として見られたりしてきましたが、1996年に私はビデオで、動くオーブを撮影しています。私はアメリカのスタンフォード大学の物理学者、クラウス・ハイネマン博士と仲良くなりましたが、博士はオーブを霊放射の姿で、高度に進化した知性的なものともなっています。

接死体験とは、死期の迫った人が既に亡くなった親族や友人などを、あたかも目の前で見えているかのような意識状態をいいます。体外離脱は魂の緒が切れると亡くなると言われていますが、私の母親の臨終のときに、靈感のある私の娘と家政婦さんが、母の魂が頭から抜けて天井にいることを証言した実例があります。また臨死体験は、安らぎ・幸福感、体外離脱、トンネルに入る、光り輝く世界、過去の思い出し、超越者や死んだ親族との再会があります。

ここから本題に入りますが、過去世というカルマの影響によって今日我々は生きているのですが、因果というようなことをよく言います。霊能者の先生、中にはインチキの方もおりますが、本物の霊能者は、先祖からの因縁なのか、前世からのカルマなのか、死霊による霊障か、生き霊による災いか、神仏の祟りか、土地の因縁か、魂の萎縮（すなわち「霊障だ」と思いつい込み）ですが、これがかなり多く8割くらいです）、自己の所行（自分の蒔いた種）か、を鑑定してアドバイスします。

◎運命を良くするには
神仏に対しては敬う心が大切で、先祖霊に対しては供養が重要です。子孫のためには善行を積み禍根を残さない、「積善の家に必ず余慶（よけい）＝幸福」有り、積悪の家には必ず余殃（よお）＝災難有り。」という中国の故事成語があります。要するに自分が蒔いた種の通りの花が咲く、それは自分自身の行いを正せば、子孫も良くなるし、自分自身の運勢も良くなるということなのです。

生き霊に対しては相手に恨まれても憎まれても自分は無償の愛でもって返す。自分がまた恨めば泥仕合になりますからね。憑依霊に関しては、霊能者などに浄化してもらおう。他者に対しては愛と感謝の心をもつことが大事であることは、超一流の政界・財界人・スポーツ選手がよく言うことです。

宿命というのは定められて、私ほどどここの家に生まれて、そこで修行するんだ、ということでは変えられないことです。しかし、運命というのは自分の努力で変えられるものです。

川端康成は「意味がない運命な

どない。今の運命は自分自身が創造したものである。運不運も自身が行いの積み重ねである。過去現在未来も自分自身で選択したものである。靈魂は生死を繰り返して、この世の人生で何かを学び成長する。」と書いておられます。

この「何かを学ぶ」というところが重要でして、何を学ぶのか、結局何に気づくのかということも大切だということです。なぜなら心霊のことを知るることによって、魂があり、来世があるならば、それぞれの人生で気づきと学びがあり成長することができるわけです。心霊現象を知ることが目的ではなく手段であって、心霊の世界を体験することで、現世の生き方に気づくこととなります。

結局今の世の中は、どちらかというと地位、名譽、財産などすべて欲にからんでいるわけです。お釈迦様ではないけれども、結局人間の煩惱は欲で固まっているので、欲を捨てるのが大切だといいますが、なかなか凡人は欲を捨てられません。でもこういうことを学ぶことによって、靈的というものは本当にそういう靈魂の世界とか神仏の世界があるとなると、やはり

愛とか真心とか寛容の精神というものが、地位、名譽、財産などよりも、靈界へ行くともっと重要だということに気づくでしょう。

自分は天命によって生かされているということを知ること、だから自分で命を絶つことは生かされていることに対する冒瀆である、人のために奉仕することは自分を活かすためである、ということです。以前から私は学生に「情けは人の為ならず」という言葉はどういう意味か知っていますか?と聞きますと、堂々と「情けをかけるのは人のためにならないんだ」という答えが6割から7割返ってきた驚きます。「情けをかけるのは自分のためなんだ」ということを知らないで、結局そういうような世の中になってしまっています。

「人生は自分に与えられた問題集」といえます。お釈迦様は人生における「四苦八苦」を挙げています。「生老病死」の四苦と「愛別離苦(愛する人ともいつかは離別しなければならぬ苦しみ)」、「怨憎会苦(嫌いな人でも会わなくてはならない苦しみ)」、「求不得苦(欲しいものが得られない苦しみ)」、「五蘊盛苦(感覚・心身の乱れから

生ずる苦しみ)」の四苦を加えて八苦となります。

心霊科学協会のある靈能者が「死後の存続や生まれ変わりが事実ならば、不幸や挫折というものは重要な意味をもっている。今不幸だ、今挫折してにっちもさっちもいかない、というのも一つの運命であって、そこで何かを感じなければいけない。ただ苦しい、苦しいではなく、そこに人生の一つの宿題・問題集があつて、それを解くことによって自分の魂が大きくなる。自分が蒔いた種は蒔いた通りの花が咲く。人生の試練というのは、悲しみや苦しみや絶望が大きいほど魂は成長する。よく平々凡々と人生を過ごす、すなわち何の大過もなく過ごせば、一生安楽で良かった、と思うでしょうが、こういう心霊の世界ですと、それはあまり魂の成長にはつながらない。」と言いますね。むしろこういう苦難があつて、特に若いときに苦勞を経験した人は、人に対する情けとか思いやりが養われます。ずっとエリートコースできた人は、「自分さえ良ければ」という輩が多いですね。

だから不幸のときほど、気づき

のチャンスだ、何かを教えているんだよ、と。病氣の時でもそうです。ですから私は、人の喜びが分かる人、人の悲しみが分かる人、人の苦しみが分かる人、人の心が分かる人、こういうような人間になることが理想じゃないかなと思っております。

どんなに苦境にあらうとも、苦しさの中で自らの存在価値を見いだした人は生きていくことができますが、「自分は何の役にも立たない、社会に役に立たない」という意味の喪失を感じた人が、鬱病になって自殺に走ったりします。

結局、自分の生きている価値や意味を感じるとき、自分が人に必要とされている、人のお役に立っていると感じる時、つまり人生において自分の果たすべき役割を自覚するとき、人は生きがいを感じるのです。ということは、世のため人のため、何か人の役に立つことを少しでもすることが生きがいに通じるわけです。

生きがいとは生存の充実感であり、喜び、感動、希望によって生きるということなんです。この中でも感動は非常に重要です。なぜ、この世に生まれてきたのかというと、結

局霊的な魂の進化と向上のために我々は生まれてきたのだ、と心霊の世界ではいいいます。

まず「無償の愛」、「感謝」、「素直」、「反省」の四つの心が大切です。また自分の霊的向上により高級霊とつながると、直感的にいろいろ教えてくれます。自分自身の使命、自分は何のためにこの世に生まれてきたのか、を知ることが重要です。

以前国会議事堂の近くの公園の中に書いてあったのですが、いい言葉なのでメモってきました。

考え方が変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、性格が変わる
性格が変われば、人格が変わる
人格が変われば、人生が変わる

要はまず自分自身の考え方を变えようということ、最終的には人生を変えることができるということです。

先ほどお話ししましたように、人生でどれだけのことを達成したかよりも、どれだけの人々に役に立ったか、どれだけの人々に感動を与えたか、が重要です。人の役

に立つのはどんなささいなことでもいいのです。例えば目の不自由な人が横断歩道で躊躇していたら、ちよつと手を貸してあげるとか、電車の中でお年寄りに席を譲ってあげるとかいうことです。そういう人への思いやりが、今の日本ではまだ欠けていると思います。

最近沖繩のある一人の青年(匿名)の半生を書いた本「目覚め」を読みました。自分で起業し景気が良かった会社が沖繩海洋博後に倒産しました。その正月に、白鷺に誘われるように山の中に入り、寒中なのになぜか滝行をしたくなり、その直後憑き物が落ちたように非常にすがすがしい気持ちになり、まるつきり人生観が変わったということ、当時全国的に荒れていた学校を鎮めたいということ、ざりざりの生活費以外はすべて、仏の教えを描いた絵本や花の種を購入し沖繩や九州の多数の小中学校に配りました。彼の愛に満ちた無私の行が多くの人々に感動を与え、その後海外も巡礼し、現代の求道者のように、多くの人々の「目覚め」を導いています。

第三百六十二回関西日本サイ科学会研究集会報告

2012年問題とサイ科学的進化

“PSIentific Evolution & 2012”

講師 阿久津淳氏

とき 平成23年10月15日(土)
ところ 大阪科学技術センター

阿久津淳(あくつ・じゅん)氏は、日本サイ科学会 宇宙生命研究分科会世話人、著書「未知現象学入門…スピリトスフィア序説として」、他に「マージナル・サイエントイスト…異能科学者列伝」「医聖…異能医学者列伝」など。

人工地震、エレニン彗星の地球衝突、第三次世界大戦などを回避し、この激動の時代を如何に生きるべきか? ホモ・サピエンスからサイ科学的進化を遂げて、ホモ・コスミクスに至るにはどうしたらよいか? 2012年を直前にして「2012年問題の核心」に迫って頂いた。

2012年は「相転移の年」になる!

2012年問題というのが浮上してきました。これはマヤのカレンダー(長期暦)が2012年12月21日で終わってしまったことに、世界各国の知識人がそのわけを考え始めたのですね。「何故2012年12月21日でマヤのカレンダーは終わってしまうの?」「世界あるいは人類はそこでタイムアウトなの?」「人類は滅亡してしまうのか?」等々、いろんな疑問が湧いてきます。

本屋に行きますと、2012年関連の本が幾つか並び始めていることに気がつくでしょう。そこで私は仲間と一緒にまさに5年前に当たる2007年12月22日に「第一回アセンションシンポジウム」を開いてみたのです。その時、不思議大好き人間たちのいう2012年にまつわる「アセンション」の意味を考えてみました。一体全体、このアセンションという言葉の意味するところは何か?と、日夜悩んでみました。そして、しばらく時間はかかりましたが、ようやく私なりに答えができました。

解答はズバリ「相転移」でした。相転移とは大雑把に言えば、水から水蒸気に、水蒸気から水に、水から水に変化する、固体・液体・気体の相の転移のことです。わかりやすく箇条書きにしてみました。



1. 次元上昇 3・4次元から4・5次元へ
2. 空中携拳 地上から空中へ
3. ニビル接近 安定した地球から変化する地球へ
4. フォトンベルト 地球発想から銀河発想へ
5. メタモルフォーゼ 常態から変態へ
6. 進化 ホモサピエンスからホ

- モコスミクスへ
7. ウチュウジン 地球人からウチュウジンへ
8. 地球温暖化 環境破壊から環境浄化へ
9. 5次元 物質次元から精神次元へ
10. カタストロフ 定常位相から相転移へ
11. 仙人 俗人から仙人へ
12. 宇宙政治 派閥政治から宇宙政治へ
13. パラダイム SCIENCEからPSIenceへ
14. 物質エネルギー観 物質エネルギーからダークマター・ダークエネルギーへ
15. チャクラ 7つのチャクラから無限チャクラ(カラチャクラ)へ
16. 脳科学 ニューロンからグリア細胞へ
17. メヴィウス メヴィウスの帯からクラインの壺へ
18. アクエリアス 魚座から水瓶座へ
19. 食生活 ジャンクフードから自然食へ
20. 物質と霊 物質か霊か? から半霊半物質へ

21. 因果 アルパからオメガへからアルパIIオメガへ

以上

つまり2012年は「相転移」があらゆる領域で起きるのではないかと!?ということが、「アセンションシンポジウム」を4回開催してみても、感じた率直な印象なのでした。2012年問題は若いみなさんにはなかなか難解な問題かもわかりません。というのも現代社会が抱えている数多くの矛盾や政治経済的なものから人類・生命進化の問題まで生物・社会・宇宙領域に及ぶ幅広い問題だからです。

より具体的な2012年予測!

UFO…UFOフリートの地球行脚もそろそろ終焉し、誰にでもわかる形でUFOがより積極的に出現! クジラのファフロツキー現象のようなアンビリーバボーな、地球外知性の関与としか考えられない現象が起きるのだろう。

経済…米国、ヨーロッパ、中国の経済破綻から世界恐慌になってしまふ。ドイツとニッポンだけがか

ろうじて生き延びるが、自給自足時代に突入する。資本主義も共産主義も崩壊! 宇宙情報自由主義に移行する!

政治…イスラエル・米国に対する中東の反発が限界を超え、第3次世界大戦が始まる。

人口…超70億人時代で各国の人口アンバランスが問題化!

地球…ポールシフトが進行し、地質学的変化が起こり、ムーやアトランティスの証拠も出現する。

ニッポンでは東京湾直下型関東大地震と富士山噴火の予兆が発生!

人類進化…俯瞰的あるいは鳥瞰的な5次元人間がぞくぞく出現! これまでは個人主義的なエゴイストが跋扈してきたが、2012年以降は利他主義的な正直者が先頭に立つ。

第3の眼が開眼され、チャクラ・クンダリーニに自由な者が表に出てくる。

☆

☆

今回は「2012年問題の核心」に迫って頂いた。

当日の参加者は会員10名、非会員18名、合計28名でした。今回のカセットテープは2000円（送料込み）です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村（電話0797・22・6425）まで。
（関西日本サイ科学会会長

河野 明夫）

◆ ◆

第三百六十三回関西日本サイ科学会研究集会報告

菅原道真公の知られざる秘話、篆書（てんしよ）の持つパワー、たつ（龍・竜・辰）の字の不思議

講師 塩小路光孚氏

とき 平成23年11月12日（土）

ところ 大阪科学技術センター

塩小路光孚氏は菅原道真の38代目の直系の子孫である。現在菅家塩小路篆刻道、菅家塩小路流書

道、菅家塩小路流文道の家元として日本、海外で活躍。日本ペンクラブ会員、日本徐福会常任理事、NHK文化センター講師、読売文化センター講師、生涯教育連盟顧問、三三會会長。

著書「菅家文章、古銅印、印の押し方」、「氣を呼ぶ字」、「恋を呼ぶ字」ほか多数。最新著書・随筆「東風吹かばー神聖文字・篆刻と書を家業として」。



古代から篆書は神聖文字（ヒエログリフ）として神と人とのあいだを繋ぐ大切な文字であった。このため、神を祭り、お願いごとや占を行う場合、篆書を用いること

は最も大切なこととされてきた。祭りや占いの家としても良く知られていた塩小路家の先祖「土師」氏一族には、祭り、祈り、占いに用いる篆書や篆刻の具体的な用例、用法が伝承されており、各種の行事や儀式にもこの方法が用いられてきた。

平安の初期、これらのいろいろな方法をまとめ整理したのが、菅原清公卿、菅原是善卿、菅原道真卿の三代のときである。

菅原清公卿は遣唐使として唐に渡った。唐に渡った菅原清公卿は早速唐の朝廷に伝わる伝統行事、儀式法制などの収集を積極的に行った。

この中で特に重要視したことは篆書、篆刻と、儀式の関係、及び土木建築の設計である。

儀式・篆書・呪願文の整備には中国の様式を取り入れる必要のあることを清公卿は痛感していたためである。

中国の儀式は、佛教的なもの、道教的なもの、古来からの自然崇拜、星占いその他いろいろなもの

が渾然一体となった、非常に複雑なものである。

この複雑な儀式を、苦心の末、学び取って、我が国へ持ち帰り、古来からの儀式と融合させ菅原家三代の努力によって、我が国独自のものとして完成させたのが「節」の儀式と「篆書」の基本となるものである。

菅原氏の始祖は、天穂日命（あめのほのみこと）である。天穂日命は天穂火命とも天菩此命とも書く。

天穂日命とは、「稲穂が太陽の光によって美しく輝く」という意味の内容を持つ。

日本人の文化の基本は、稲作文化であるが、この日本人の最も大切にしている「稲穂」が日本民族・日本という国の象徴でもある太陽によって美しく輝いているありさまをそのまま名前にしたものが天穂日命なのである。

天穂日命の一七世の孫の野見宿禰命（のみのすくねのみこと）はふたつの大きな仕事を残した。

そのひとつは、初めて埴輪を作ったことである。当時、有力な人

が亡くなると、大きな墓が作られた。その墓には多くの殉死者が生きたが埋められたという。野見宿禰命は、埋められた殉死者の縁者が泣き悲しむ姿を見て、時の天皇、垂仁天皇に家伝の「命の」火を用いて焼き物を焼き、これを墓に埋めることによって殉死にかえることを提案した。

これが、受け入れられて、垂仁天皇の皇后日葉酢媛命（ひはすひめのみこと）が亡くなった時、殉死にかえて埴輪が墓に埋められた。この功績によって天皇から土師臣（はじのおみ）の名をいただき、焼き物の家となった。

同じ頃、大和地方の当麻蹴速（たいまのけはや）という者が、暴れまわっていた。それが天皇の耳に聞こえ、野見宿禰命が召された。野見宿禰命は、この命がけの相撲で勝ち、奈良中部の地に平和をもたらしたのである。これが相撲の始まりで、野見宿禰命は相撲の祖と呼ばれ、後、神聖な行事として相撲の行われた七月七日に相撲の節会が設けられた。

これまで墓は大事に保存され気が保たれていたが、今は不用意に

墓が開かれるので気（その中のエネルギー状態）が変化し結果的に破壊されている。

道真はその父、祖父と同様詩に長じていた。

塩小路家では二歳から詩を教え、字を書かせる。二歳で座る練習をすることで人は落ち着いた人になつていく。

詩をどう解釈するか。月夜に梅花を見るという詩がある。これをどう解釈するか。などから学ぶのである。

塩小路家では西側の窓はよくないとする。

篆書で書いた文字を西側に貼っておけば、いろんな悪いものがよきになる。

これらは明治維新までは日常のことであった。

今科学は科学教とでもいうべき状況で、一方的に科学によりかかっておりこのようなことをとりあげないが、実際に西に窓があつて不幸な人は多い。関東では窓から富士山が見える家のことである。

愛という字は中心に心があり、回りは足でゆつくりとぐるぐる回

る。これは他人をおもいやることを表す。現代では愛という字は一つしかないが、篆書には色んな状況に相当する愛という字がある。人の心を傷つけぬようそつと歩くことを表している。

あるイベントで券は売れたが入場者は少ないとの話があり、入り口に愛の篆字を大きく飾りそれから入場が多くなったという。

篆書の文字数は多いのであとで述べるように180歳位まで生きないと覚えられない。月の篆字でも満月の月と新月の月では異なる。篆書は完成された字であり、誰でも書くものではない。面白おかしく書くものでもない。神と繋ぐものでありヒエログリフである。

恋を呼ぶ字は人に好かれる。「好き」という字を練習すれば美しくなり好きになる。

天の気、地の気、人の気が和して一带に満ちると豊穰の時を迎える。

気には、真気、正気、邪気の三種類がある。

真気は人の身体の中に蓄積されて行く気で、良い気の根本となる。この気が増えれば健康になり寿命

も伸びる。正気は良い気であるがあまり永い間身体の中に留まっていることができない。正気は真気のエネルギートもなる。邪気はまやかしの気、嘘の気で虚風ともい、人を傷つける気である。

邪気はいったん身体の中に入れば体の中に深くしみ込み、しかも自然に排出することがないという厄介な気である。

真気は邪気が増えると減る。正気は気が動く。展覧会に貼つてある字は気を吸い込む。

真のある字は真気を吸い込み、邪のある字は邪を吸い込む。

印鑑の枠は○より四角がよい。その枠が方角を表すからである。方向が違つて違つた形の気となる。なくなる訳ではない。

篆書は神と結ぶから特別な力がある。いい加減な文字の篆書はよくない。

篆書はよい気であること。よいイメージを持つて書くときよくなり、悪いイメージを持つて書くとき悪くなる。

文字について、最近の字引は悪

いもの不吉なものが多い。それを見る子供は悪いイメージが多くなる。

十干、十二支について、干は天、支は地を意味する、十干十二支で一巡りすると60年であり、この60年を一元という。本来人間は上元、中元、下元の三つの元を180年生きることで、十分な経験ができるのである。

「龍」は二枚貝である。龍は沢山いてそれが力を持っている。沢山のものがあることがめでたい。

「みずのえ」は一定のものがどんどん増えることを意味している。文字は気と形からなっている。水の中に沢山の龍がいる図を現している。

文字(篆字)を分解してその字の持つ意味を探る。

一つの文字を沢山書いていと文字の持つ意味が分ってくる。

「えと」は篆書を辿ることの意味がはつきりする。

寿の文字は10000字くらいある。長生の字である。

古人の遊びは篆書から始まった。「己」の字を土地に掘り水を流す。これに気を集めてその形の気を流

し調和する。

文字を書いていると分ってくる。

☆ ☆

今回は篆書が神と繋がる文字であること、現代我々が一つの文字しか当てていない文字に概念ごとに異なる文字が創られていたという。興味深い話であった。

当日の参加者は会員13名、非会員12名、合計25名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

3月17日(土) 桜井喜美夫氏「出口 王仁三郎の遺言」

4月21日(土) 久保田昌治氏「水のはなし ― 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど―」

5月19日(土) 上森三郎氏
(関西日本サイ科学会会長)

河野 明夫



<サトルエネルギー学会主催 '12春の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ>

春の大会テーマ いよいよやってきた2012年 これからどうなる日本!

(大会委員長 井筒 貴康)

講演・実演者 松尾 みどり、鈴木 眞之、和 真音、佐藤 清、藤原 和晃、竹本 良
(敬称略)

日時：平成24年4月15日(日) 開場9:45 開演10:15 終演18:30

会場：(財)修養団SYDホール JR「代々木駅」徒歩5分(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み要領】 FAX 03-5730-6451 サトルエネルギー学会 シンポ大会係

FAX記載項目：氏名・住所・TEL・チケット枚数・合計金額

料金：予約料金：サイ科学会員・サトル会員価格同一 ￥5,000 (一般予約￥7,000)

【振込先】 お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込み先：00170-1-196569 サトルエネルギー学会 (※3/1より受け付け開始)

主催：お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450 E-mail information@subtle-eng.com

HFとLF、RR間隔のパワースペクトル解析等は指尖脈波測定器 (BACS) から画像出力されてくる。他方、鹿児島大 (医) の実験解析・研究結果等を見ると、脈診と指尖脈波のカオス解析結果との間に有意性のあることが報告されている。次に、著者らの実測結果をみる。

測定は2012年1月28～29日の2日間、パイロット実験を行った。場所は駒ヶ根市の大御食神社と分杭峠 (入野谷、瞑想室) の2箇所、被験者はKH、YO、SJ、KN、SG、TMの6名 (神社3名、入野谷3名) で行われた。詳細は論文報告する予定なので、本稿では略述する。神社測定は28日 (土)、14:00～15:30、晴れであるが微風があった。深い杉木立の下で、残雪 (約5cm) のある境内なので、気温約5℃と極寒く、悪条件であった。瞑想室測定は29日 (日)、11:00～12:00、晴れ、室温は約7℃、終了時には約10℃ (ストーブ点火) となる。底冷えがあり、肌寒く、好条件とは言いがたい。被験者は、初めに家庭用の血圧計で、血圧測定2回、次ぎBACS測定1回を行う。神社では散歩やお参りをして、約30分間滞在する。瞑想室では瞑想をして、約30分間それぞれの場所に滞在する。その後、血圧2回、BACS1回を行う。今回は、紙数の都合から1名の場合について述べる。

SGの場合 (入野谷、瞑想室)。血圧をみると、滞在前 (前と略記) は182/84、170/81であるが、30分の滞在后 (後と略記) は160/77、160/74。全体として寒さの為に高めではあるが、入野谷瞑想室の滞在によりリラックス傾向になったといえる。左手中指の指尖脈波をBACSで測定する。加速度脈波 (表示) の特徴として、前に比べ、後では波形パターンと波形指数 (血管の硬化と循環度指数) a、b、c、d、e、並びに血管硬化度 (SDPTGAI) が極度に乱れている。SDPTGAI変化の平均値でみると、前は微変動で平均値は (約-0.2) なのに、後では変動が大となり (約+0.4) となっている。つまり、滞在により血管は弾力を失い、硬化している。気場の効果は陰に出たと判断できる。

自律神経調整機能をみる。心拍数は、前と後で、平均値と変動とも、ほとんど変化していない。心拍変動解析 (パワースペクトル密度) から求められる変化傾向を見る。前では緊張 (LF/HF) とリラックス (HF) 変化が大で不安定であるが、後ではそれらの変化は小になり落ち着く。この傾向はパワースペクトル密度表示の図にも現れている。つぎに周波数領域の数字で見る。前に比べ、後ではHF、VLF、TPの数値が小になっている。これはリラックスと緊張が共に減少し、身体全体のパワーが小になる事を意味している。

アトラクタ表示をみる。図示 (6個) されたアトラクタは、入野谷瞑想室の滞在前と後では、明らかに変化している。気場の気 (サイ) が身体に作用して、変化を与えた (気の「証」変換か) のであろう。変化傾向をグラフ表示でみる。リアプノフ指数の変化は、前と後とも、変動は同程度であるが平均値は前が約0.2、後では1.4となり大きな値がえられた。エントロピー変化は、前は変動が小であり、後は変動が大で、平均値は前が約7.9、後は約7.4となった。エントロピーの数値でみると、前が0.2、後が1.1で、より複雑化している。つまりカオス変化が大であり、柔軟性 (生命力) が大となる事を意味している。これらは陽である。

以上、陰と陽があること、内容が複雑である事は、今後の気制御に関して有意義であるといえよう。他の5名の場合は、複雑ではあるが様々な陽 (或場合は陽陰) の結果が得られている。

以上、BACSによる指尖脈波の測定により、人体と気場の関係を観測・判断する事ができた。また駒ヶ根、伊那・長谷の気場としての効果も有望であることが推定出来、それらの最適活用方法も設計が可能である事が判明した。つぎの目標は「願い事を叶える」方法をどの様に計画・設定するかであるが、これについては別に述べる予定にしている。お世話になり、ご指導戴いた長野県会議員佐々木祥二先生に御礼申し上げます。

の量を受光ダイオードで計測して(毛細血管内の血流を受光して)血流変化を記録している。つまり、血流内のヘモグロビンが近赤外線を吸収するために、透過する光の量が血液の増減に従って増減する性質を用いている。脈診の代わりに光電式センサーを用いる事により、生体内を流れる気血(気、サイ)の状況が推定出来るとされている。

他方、パワースポットと呼ばれる気場(聖地、気の集積地)には、気(サイ)などのエネルギーが潜在しており、このエネルギーが気場を訪れる人達に作用して、気(サイ)を流動させる事により、結果として「願い事」を叶えさせたり、癒しを与えたり、元気づけている。例えば、長野県の伊那市長谷の分杭峠には、狭い山道や斜面に大勢の人達が押しかけている(一日に、300~1200名)。多数の人達(約70%)には効果が無く、僅かな人達のみには効果があり、「願い事」が叶えられる様子である。推定すると、或条件を満たした場合にのみ、パワースポット(気場)の気(サイ)と体内の気(サイ)が作用しあって、体調を整え、「願いが叶う」という効果が得られる様子である。本稿では、第一段階として、効果が得られるか得られないかを判断する前提として、パワースポット(気場)に参加(滞在)する事により、体内の気(サイ)がどの様に変化するかについて、検討する。

2) 指尖脈波測定器による測定

パワースポット(聖地)が生体に与える影響を知る為に、気場に入る直前に指尖脈波を測定し、気場に30分以上滞在して呼吸法、瞑想、気功、祈り、真言、CDを聞く等を行い、気場から帰る時に、また、指尖脈波を測定する。気場に参入(滞在、訓練)する事による効果としては、「陽」の面と「陰」の面の両方が期待出来る。風にゆれる木の葉、空気の動きなど、自然界の多くの物は揺れている。シューマン・レゾナンス(7-8Hz)と言われるように、地球自体も揺らいでいる。揺らぎとカオスは、身近なところで数多く見られる普遍的な現象であ

る。他方、カオスは混沌とも言う。一見、ランダムに揺らいでいるように見える場合でも、実は、簡単な数式が基礎にあり、カオスが成立する条件に従って、カオス・アトラクタとして、揺らいだ状態で、存在している場合が多い。

測定にはBACSアドバンス(Bio-Activity Check System advance Version, CCI社製)を使用した。指尖脈波の時系列変化を得る為に連続測定し(波形の画像出力表示あり)、カオス解析を行い(アトラクタの画像表示あり)、カオス指数としてのリアプノフ指数 λ (揺らぎ指数、複雑度合い)、エントロピー(自己組織化の度合い指数)等を算出する(変化表示あり)。脈波を2回微分して加速度脈波を求め(画像表示、SDPTGAI変化表示あり)、その波形についての波形指数(血管の硬化と循環度指数)a、b、c、d、eとパターンを算出して表示する。測定された脈波の山峰の位置(R)を読み取る事から、間隔RRとそれぞれの振幅が求められ、RR間隔から心拍数(変化表示あり)が求められる。さらにRRのパワースペクトル解析(振幅の2乗と周波数の関係、グラフ表示あり)を用いる事により、自律神経活動を記述する指数HFとLFが求められ、HFと(LF/HF)の時間変化が表示される。

3) パワースポットの測定結果

一例を解説する。揺らいでいる現象がカオスかどうかを決める方法の一つにリアプノフ指数 λ の計算がある。求められた λ が正(0より大)で、大きい程、カオス性は大きであり(アトラクタはどんどん拡大する)、生命力が大きい事を意味している。この時、自律神経調節能力は増加し、全体的な活動状態TP(表示あり)は増加する事になる。画像表示されているカオス・アトラクタを見る。アトラクタのサイズが大である程、血管が拡張し、脈波の振幅が大になり、リラックスする事を意味している。エントロピー値はカオスの軌跡の複雑さを示すもので、大になるほど、より複雑になる事を意味している。なお、リアプノフ指数 λ 、エントロピー、加速度脈波指数、自律神経指数



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

指尖脈波(カオス解析)法によるパワースポットの計測

佐々木 茂美 苗 鉄軍

東洋の伝統医学(漢方)では、身体内の「気、血、水」の巡りを「気血の循環」と呼び、これが心身の健康の基であり「やる気」や「元気」の源泉になっていると称している。また「本当の意味での健康」は、体の内外からどんな刺激(例、急激なインパクト)が与えられたとしても、滑らかに速やかに対処できる能力や機能を持つことにある、と主張している。本報は、パワースポット(気場)を訪ねること、ならびに滞在(参入)する事によって、気血水の循環や心身の健康にどのような変化が与えられたかについて、指尖脈波のカオス解析法を用いて検討することにした。

1) 研究の意義と目的

伝統医学は、両手の手首の寸口と呼ばれる動脈の拍動部変化(血流の変動)を、3本の指の触覚(尺、聞、寸)に分けてキャッチし、この非線形的で主観的な情報を「脈診」と言い、生体内の気(サイ)の流れの状態を判断・解釈している。日本では、中世から江戸時代までは、四診(望、聞、問、切)を用いて診断や治療が行われてきた。例えば、切診とは医師の手を直接患者に触れて診察するもので、脈の状態から診断する脈診と、腹の状態から判断する腹診がある。本稿は、生体エネルギーを問題にしているので、脈診に限定して検討する。

明治時代になると、現代科学としての西洋医の手法が導入されて、様々に進歩して、現代医療の主流になっている。西洋医の特徴は、主として患部の修復と回復を問題にする点にあるが、手法は局所対症的であり、近代科学としての因果律や再現性を基礎においている。これに対して漢方医は、定性的・総括的ならびに感覚的、暗黙知の面が強く、生命エネルギーのバランスと気血の滞りの消去を治療目的にしている。つまり気血のバランスと滞りが病気の原因であると考えている。

脈診は、患者の両手首の3ヶ所ずつを中指、示指、薬指の3本の指で、1ヶ所の脈を3段階に分けて、左右の合計18種類の脈情報から病気の現状を診断するものである。両手の尺、聞、寸の3つの部分の脈位を陰陽、12経の変動、虚実等から判定する診断法であり、これにより、治療方法を決定し、経穴からの気(サイ)の補、しゃ(補給する、排除する)を行っている(例、Wikipedia等参照)。

複雑系科学のカオス解析法を漢方の脈診(診断法)に適用して、脈診結果の計数化と定量化を求める試みが鹿児島大学(医)の「重要課題解決型推進」研究で実施された(文献参照)。手首の代わりに、指尖部分の末梢血液の循環状況を対象にし、3本指の代わりに、発光ダイオードが発する近赤外線を人差し指の爪の部分(指尖部)にあて、指を貫通してくる光